

令和7年度 Well-Beingアンケート調査結果

—「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」のための地域幸福度調査—

本取組について

- 石川県成長戦略で目指す「**幸福度日本一に向けた石川の未来の創造**」に向け、地域の幸福度を測るため、『※地域幸福度（Well-Being）指標』を活用する。客観的に測定できるデータと県民の主観によるアンケートデータの両方を活用する。
- 取り組む施策は「手段」であり、Well-Being指標を活用し、※アウトプット（活動）指標 及び そこから導かれるアウトカム（成果）指標から、施策の効果を測定する。

デジタル化やデータ活用は手段であり、県民の幸福感（Well-being）の向上に向けた取り組み、地域づくりを始める。

※県民視点で「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化する指標

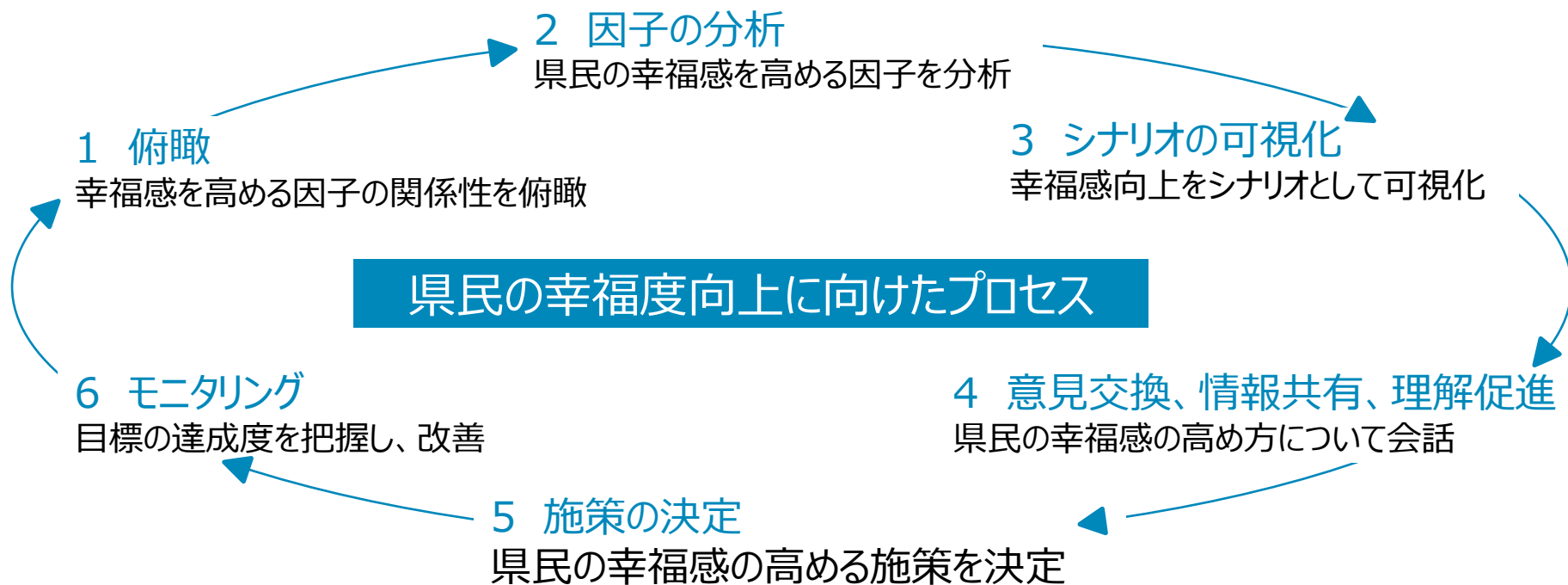
WHO等の国際的な基準と整合させた枠組みであり、データ(根拠)に基づいた政策立案・検証や、政策効果が乏しい歳出から政策効果の高い歳出への転換に活用する。

※アウトプット指標：活動の実行状況や成果の数量を測定する指標

アウトカム指標：活動の影響や地域の変化やもたらした効果を評価する指標

施策が意味のある結果をもたらしているかの判断する上で重要

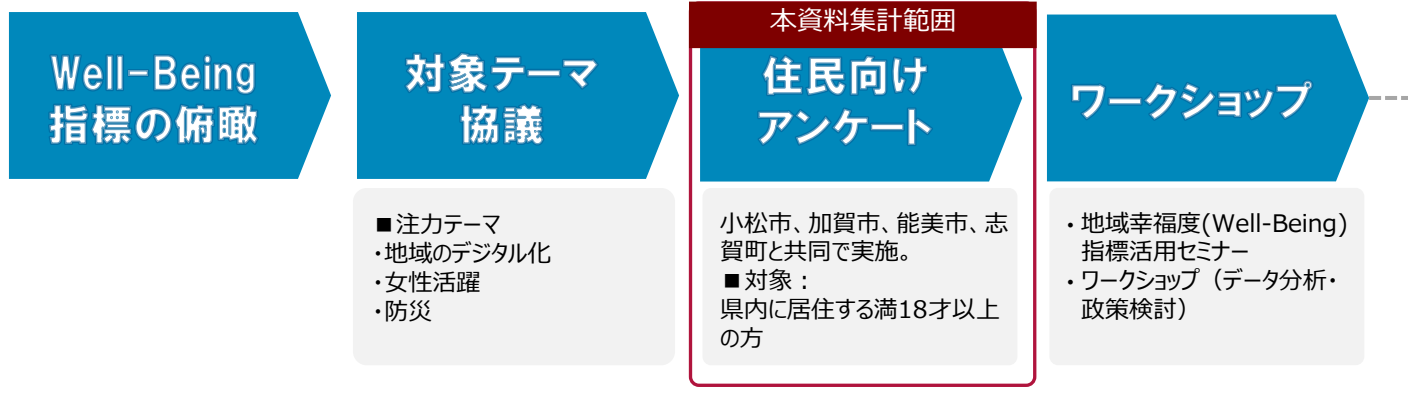
幸福度日本一の石川県に向け、県民の意見とデータを活用して、県民の幸福度を高める因子を分析し、因子に関連する施策を整理、シナリオとして可視化することで、県民の幸福感（Well-being）の向上に向けた取組み、地域づくりを始める。



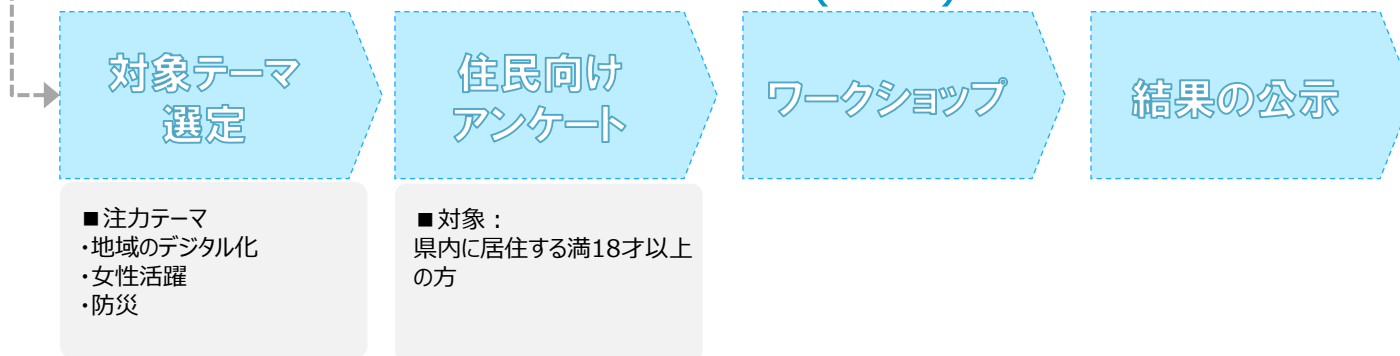
- ・小松市、加賀市、能美市、志賀町と連携して実施。
- ・石川県はデジタル庁のLWCI活用の注力自治体に選定。

※LWCI：Liveable Well-Being City指標

令和 7 年度



令和 8 年度(予定)



アンケート設問

アンケート設問（基本属性、LWCI設問）



属性設問

1	性別をご回答ください	男性,女性,回答しない
2	年代をご回答ください	10代,20代,30代,40代,50代,60代,70代,80代,90代以上
3	お住まいの地域をご回答ください	県：1.金沢市,2.七尾市,3.小松市,4.輪島市,5.珠洲市,6.加賀市,7.羽咋市,8.かほく市,9.白山市,10.能美市,11.野々市市,12.川北町,13.津幡町,14.内灘町,15.志賀町,16.宝達志水町,17.中能登町,18.穴水町,19.能登町 加賀市：大聖寺,山代,別所,庄,勅使,東谷口,片山津,作見,金明,湖北,動橋,分校,橋立,三木,三谷,南郷,塩屋,山中温泉,河南,西谷,東谷
4	職業をご回答ください	会社員,公務員,自営業/個人事業,会社役員,自由業,専業主婦・主夫,学生,アルバイト/パート,無職,その他
5	業種をご回答ください	農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）、その他

LWCI設問（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）

地域における幸福度・満足度（1因子、5問）			地域の人間関係（2因子、10問）		
因子	設問		因子	設問	
1 幸福度・満足度	現在、あなたはどの程度幸せですか。 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。		33 地域とのつながり	私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	
2 幸福度・満足度	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。 「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。		34 地域とのつながり	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	
3 幸福度・満足度	あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。		35 地域とのつながり	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	
4 幸福度・満足度	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。		36 地域とのつながり	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	
5 幸福度・満足度	今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。		37 地域とのつながり	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	
			38 多様性と寛容性	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	
			39 多様性と寛容性	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	
			40 多様性と寛容性	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	
			41 多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	
			42 多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	

生活環境（16因子、27問）		
因子	設問	
6 医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している	
7 医療・福祉	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	
8 買物・飲食	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	
9 買物・飲食	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	
10 住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある	
11 住宅環境	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている	
12 住宅環境	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	
13 移動・交通	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	
14 遊び・娯楽	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	
15 子育て	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	
16 子育て	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	
17 初等・中等教育	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	
18 初等・中等教育	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	
19 地域行政	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	
20 地域行政	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	
21 デジタル生活	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	
22 デジタル生活	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	
23 公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	
24 公共空間	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	
25 都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	
26 自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	
27 自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	
28 自然の恵み	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	
29 環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	
30 自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている（災害に関する安全・安心に関する満足度）	
31 事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	
32 事故・犯罪	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	

自分らしい生き方（6因子、9問）		
因子	設問	
43 自己効力感	自分のことを好ましく感じる	
44 健康状態	私は、身体的に健康な状態である	
45 健康状態	私は、精神的に健康な状態である	
46 文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	
47 文化・芸術	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	
48 教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	
49 雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	
50 雇用・所得	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	
51 事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	

アンケート設問（男女の家事・育児・介護分担）



独自設問：男女の家事・育児・介護分担に関する設問

52	家庭での男女の家事分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が分担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
	女性の方が分担が少ないように感じる
53	家庭での男女の育児分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が分担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
	女性の方が分担が少ないように感じる
54	家庭での男女の介護分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が分担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
	女性の方が分担が少ないように感じる
55	男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）
選択肢	男性が家事・育児・介護などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
	男性が家事・育児・介護などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
	夫婦や家族間で家事・育児・介護などの分担について、十分に話し合うこと
	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
	男性が家事・育児・介護などを行うことについて、社会的に高く評価すること
	育児・介護のための休暇を取得しやすい職場環境が整備されること
	労働時間の短縮や休暇制度により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
	在宅勤務やフレックスタイム制度により、柔軟な働き方が可能となること
	男性の家事・育児・介護などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
	男性が家事・育児・介護などを行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
	その他（自由記載）
	特に必要なことはない

アンケート設問（社会のデジタル化）



独自設問：社会のデジタル化に関する設問

56	デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください
選択肢	怖いからとても否定的
	怖いから否定的
	面倒くさいからとても否定的
	面倒くさいから否定的
	どちらでもない
	肯定的
	とても肯定的
57	設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	セキュリティ（パスワード流出による不正利用等）が不安だから
	スマートフォン、パソコン等が故障した時に利用できなくなるから
	システム障害や大規模な通信障害が起こった時に利用できなくなるから
	デジタル化することのデメリット面まで政府や自治体は正確に説明してくれないから
	その他（自由記載）
58	設問56について「めんどくさいから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	使える場面や機会が少ないから
	IDやパスワードが管理しにくいから
	複数のデジタルサービスが存在していて煩雑だから
	アプリ等をインストールするのが手間だから
	使いづらいから
	やり方がわからないから
	スマートフォン、パソコン等を持っていないから
	デジタルに苦手意識を持っているから
	対面や電話の方が便利だから
	周囲の人（高齢の家族等）が使えない可能性があるから
	その他（自由記載）

59	設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	現状に不便を感じていないから
	メリットデメリットの両方を感じるから
	その他（自由記載）
60	あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	行政サービス（オンライン申請、リモートでの窓口対応、コンビニ交付（複合機での証明書発行）など）
	住民サービス（電子回覧板、住民向けポータルアプリ、公共施設のオンライン予約など）
	教育（AIドリル等の個別最適化学習、オンライン授業など）
	文化・スポーツ（電子図書館（電子書籍の貸出）、デジタルミュージアムなど）
	医療・福祉（健康管理アプリ、オンライン診療など）
	子育て（母子健康手帳アプリ、保護者連絡システム、通学路アプリなど）
	交通・物流（オンデマンド交通システム、ドローンやロボットを活用した物流配送など）
	農林水産（環境モニタリングシステム、鳥獣捕獲確認・通知システムなど）
	防災・インフラメンテナンス（道路修理・補修伝達（住民投稿）システム、除雪状況の見える化など）
	産業振興（地域通貨、地域ポイント、地域クーポンなど）
	観光（VRコンテンツ、観光周遊ポータル・アプリなど）
防犯（防犯ポータル・アプリ、カメラ・タグ等を活用した見守りサービスなど）	
その他（自由記載）	

アンケート設問（防災対策）



独自設問：防災対策に関する設問

61	災害に向けて日頃心掛けていることや準備していることを教えてください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	非常食や飲料水を常備している
	防災アプリを入れている（「Yahoo防災」などの民間アプリ）
	自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている（県や市町の公式LINEなど）
	風呂に水をためている
	家具の固定や家の耐震補強を行っている
	ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認している
	緊急連絡先を家族や友人と共有している
	災害時の持ち出し品リストを作成している
	災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えている
	家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしている
	災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意している
	災害時の家族の連絡方法を確認している（SNS、メール、電話など）
	災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考えている
	災害時の家族の安否確認方法を決めている（避難所での登録、連絡カードなど）
	地域の自主防災活動や消防団へ参加している
積極的な近所づきあいをしている	
マイナンバーカードを携帯している	
特に何もしていない	
その他（自由記載）	
62	これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	非常食や飲料水を常備したい
	防災アプリを入れておきたい（「Yahoo防災」などの民間アプリ）
	自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えておきたい（県や市町の公式LINEなど）
	風呂に水をためておきたい
	家具の固定や家の耐震補強を行いたい
	ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認しておきたい
	緊急連絡先を家族や友人と共有したい
	災害時の持ち出し品リストを作成したい
	災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えておきたい
	家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしたい
	災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意したい
	災害時の家族の連絡方法を確認したい（SNS、メール、電話など）
	災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考えておきたい
	災害時の家族の安否確認方法を決めたい（避難所での登録、連絡カードなど）
	地域の自主防災活動や消防団へ参加したい
積極的な近所づきあいをしておきたい	
マイナンバーカードを携帯したい	
特に何もする予定はない	
その他（自由記載）	

63	あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）
選択肢	個人や地域で行うべき防災対策（防災訓練や講習会など）
	地震や津波などの災害に備えた建物や住宅の耐震性に関する情報
	避難所の場所や設備に関する情報
	避難所や避難経路のバリアフリー化に関する情報
	災害時のペットや家畜の避難や保護に関する情報
	雨水の利用や節水に関する情報（水害対策）
	災害時の心のケアやストレス対策に関する情報
	災害ボランティアについて
	災害支援制度、法制度
	避難所生活で気を付けること
避難所運営のポイント	
災害時の情報収集方法（LINE、X、ホームページなどの手段）	
その他（自由記載）	
64	あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	自分の暮らす地域は災害に強い地域だ
	自治体の防災・減災への取組みに安心感がある
	災害が起きても自分の地域は協力し合えると思う
	自分は物資や食料の備蓄ができています
	自分は災害時に必要な情報を受け取ることができる
	発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい
どれもあてはまらない	
65	地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）
選択肢	防災教育の充実化
	避難所や避難経路の整備
	防災訓練や演習の実施
	平時からの県・市町・自治会・世帯・個人間の情報連携・共有の検討
	防災情報の迅速な伝達体制の確立
	地域住民の協力体制の構築（自治会・町内会などでの自主防災）
	防災施設や設備の充実化
	地域の特性やリスクの分析と対策の立案
	防災関連法律や規制の見直し
	情報通信技術の活用
予算や資金の適切な配分	
その他（自由記載）	
66	石川県がおこなう災害関連情報ダッシュボード（防災ポータル、いしかわポータル（LINE）、みち情報ネット、河川総合情報システム、土砂災害情報システムなど）にどの程度満足していますか
選択肢	満足
	やや満足
	どちらともいえない
	やや不満足
不満足	

結果概要

令和7年度のWell-Being指標



令和7年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物																																																																								
<div>■ アンケート</div> <div><div>・ 実施期間：令和7年度8月22日～9月21日</div><div>・ 対象者　：県内に居住する満18才以上の方</div><div>・ 実施方法：WEBアンケート</div><div>（設問数　LWCI標準51問＋独自設問15問）</div></div>	<div>カテゴリー別</div> <div><table border="1"><caption>Well-Being 個別調査結果の傾向</caption><thead><tr><th>カテゴリー</th><th>主観データ (オレンジ)</th><th>客観データ (青点線)</th></tr></thead><tbody><tr><td>事業創造</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>医療・福祉</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>買物・飲食</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>住宅環境</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>移動・交通</td><td>高</td><td>中</td></tr><tr><td>遊び・娯楽</td><td>高</td><td>中</td></tr><tr><td>子育て</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>初等・中等教育</td><td>中</td><td>高</td></tr><tr><td>地域行政</td><td>中</td><td>高</td></tr><tr><td>デジタル生活</td><td>中</td><td>高</td></tr><tr><td>公共空間</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>都市景観</td><td>中</td><td>高</td></tr><tr><td>事故・犯罪</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>自然景観</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>自然の恵み</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>環境共生</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>自然災害</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>多様性と寛容性</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>自己効力感</td><td>高</td><td>中</td></tr><tr><td>健康状態</td><td>中</td><td>中</td></tr><tr><td>文化・芸術</td><td>高</td><td>中</td></tr><tr><td>教育機会の豊かさ</td><td>中</td><td>高</td></tr><tr><td>雇用・所得</td><td>高</td><td>中</td></tr></tbody></table></div>	カテゴリー	主観データ (オレンジ)	客観データ (青点線)	事業創造	中	中	医療・福祉	中	中	買物・飲食	中	中	住宅環境	中	中	移動・交通	高	中	遊び・娯楽	高	中	子育て	中	中	初等・中等教育	中	高	地域行政	中	高	デジタル生活	中	高	公共空間	中	中	都市景観	中	高	事故・犯罪	中	中	自然景観	中	中	自然の恵み	中	中	環境共生	中	中	自然災害	中	中	多様性と寛容性	中	中	自己効力感	高	中	健康状態	中	中	文化・芸術	高	中	教育機会の豊かさ	中	高	雇用・所得	高	中
カテゴリー	主観データ (オレンジ)	客観データ (青点線)																																																																							
事業創造	中	中																																																																							
医療・福祉	中	中																																																																							
買物・飲食	中	中																																																																							
住宅環境	中	中																																																																							
移動・交通	高	中																																																																							
遊び・娯楽	高	中																																																																							
子育て	中	中																																																																							
初等・中等教育	中	高																																																																							
地域行政	中	高																																																																							
デジタル生活	中	高																																																																							
公共空間	中	中																																																																							
都市景観	中	高																																																																							
事故・犯罪	中	中																																																																							
自然景観	中	中																																																																							
自然の恵み	中	中																																																																							
環境共生	中	中																																																																							
自然災害	中	中																																																																							
多様性と寛容性	中	中																																																																							
自己効力感	高	中																																																																							
健康状態	中	中																																																																							
文化・芸術	高	中																																																																							
教育機会の豊かさ	中	高																																																																							
雇用・所得	高	中																																																																							
調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果																																																																									
<div>・ 全体：昨年度に続き文化・芸術の主観指標が高く、<u>地域とのつながり</u>、<u>自己効力感</u>の主観指標も上がっている。一方で、移動・交通、雇用・所得の主観が客観指標よりも低い傾向にある。</div> <div>・ 注力指標（女性活躍・デジタル化・防災）： 女性活躍は、<u>男女の家事分担・育児分担</u>について男女間で平等と感じる人の割合の差が小さくなった。<u>一方で介護に対しては差が開き、今後課題になってくる可能性がある。</u>デジタル化は昨年度と同様に肯定派の割合が高く、否定派は「怖いから」よりも「面倒くさいから」と回答した人が多い。防災については県民が取り組みたいと考える対策、取得したい防災関連情報が明らかとなった。</div> <div>・ 客観＞主観 因子： ギャップが大きい移動・交通、雇用・所得、遊び・娯楽因子は特に居住エリアによる差異が大きいことが明確になった。住みやすさにつながる指標であるため、今後も注視および深掘りを検討する。</div>	<div>【出典】2025年度版(令和7年度版) Well-Being 個別調査</div> <div>主観指標と客観指標の上位・下位3因子、および主観客観ギャップの上位3因子</div> <table><tr><th>No</th><th>主観上位</th><th>主観下位</th><th>客観上位</th><th>客観下位</th><th>客観 > 主観</th><th>主観 > 客観</th></tr><tr><td>1</td><td>文化・芸術</td><td>遊び・娯楽</td><td>地域行政</td><td>事業創造</td><td>移動・交通</td><td>文化・芸術</td></tr><tr><td>2</td><td>地域とのつながり</td><td>移動・交通</td><td>デジタル生活</td><td>買物・飲食</td><td>遊び・娯楽</td><td>地域とのつながり</td></tr><tr><td>3</td><td>自己効力感</td><td>雇用・所得</td><td>健康状態</td><td>地域とのつながり</td><td>雇用・所得</td><td>自己効力感</td></tr></table> <div>※客観指標は2024年12月公開のデータ</div>	No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観	1	文化・芸術	遊び・娯楽	地域行政	事業創造	移動・交通	文化・芸術	2	地域とのつながり	移動・交通	デジタル生活	買物・飲食	遊び・娯楽	地域とのつながり	3	自己効力感	雇用・所得	健康状態	地域とのつながり	雇用・所得	自己効力感																																												
No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観																																																																			
1	文化・芸術	遊び・娯楽	地域行政	事業創造	移動・交通	文化・芸術																																																																			
2	地域とのつながり	移動・交通	デジタル生活	買物・飲食	遊び・娯楽	地域とのつながり																																																																			
3	自己効力感	雇用・所得	健康状態	地域とのつながり	雇用・所得	自己効力感																																																																			

令和6年度のWell-Being指標

参考



令和6年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法

■ アンケート

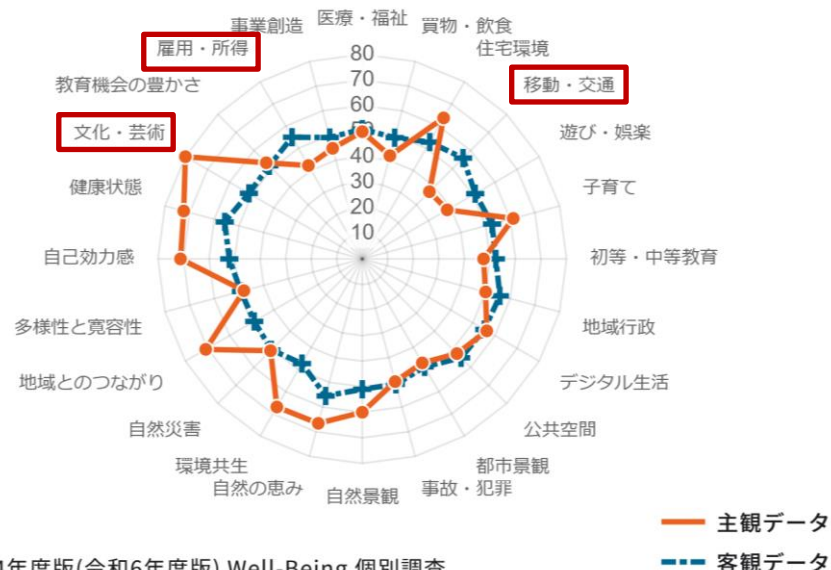
- 実施期間：令和6年度8月13日～9月12日
- 対象者：県内に居住する満18才以上の方
- 実施方法：WEBアンケート
(設問数 LWCI標準51問+独自設問14問)

調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果

- 全体**：昨年度に続き文化・芸術、健康状態の主観指標が高い一方で、移動・交通、雇用・所得の主観が客観指標よりも低い傾向にある。
- 注力指標（女性活躍・デジタル化・防災）**：
女性活躍については昨年度に引き続き男女の家事・育児・介護に対する認識差異が大きく、環境整備だけではなく全世代の意識改革も含めて改善が必要ながかった。デジタル化は昨年度と同様に肯定派の割合が多いものの、否定派が増加。また、年代により求められるデジタルサービスにおいても違いがみられた。防災については県民が取り組みたいと考える対策、取得したい防災関連情報が明らかとなった。
- 客観＞主観 因子**：
ギャップが大きい移動・交通、雇用・所得因子は特に居住エリアによる差異が大きいことが明確になった。住みやすさにつながる指標であるため、今後も注視および深掘りを検討する。

成果物

カテゴリー別

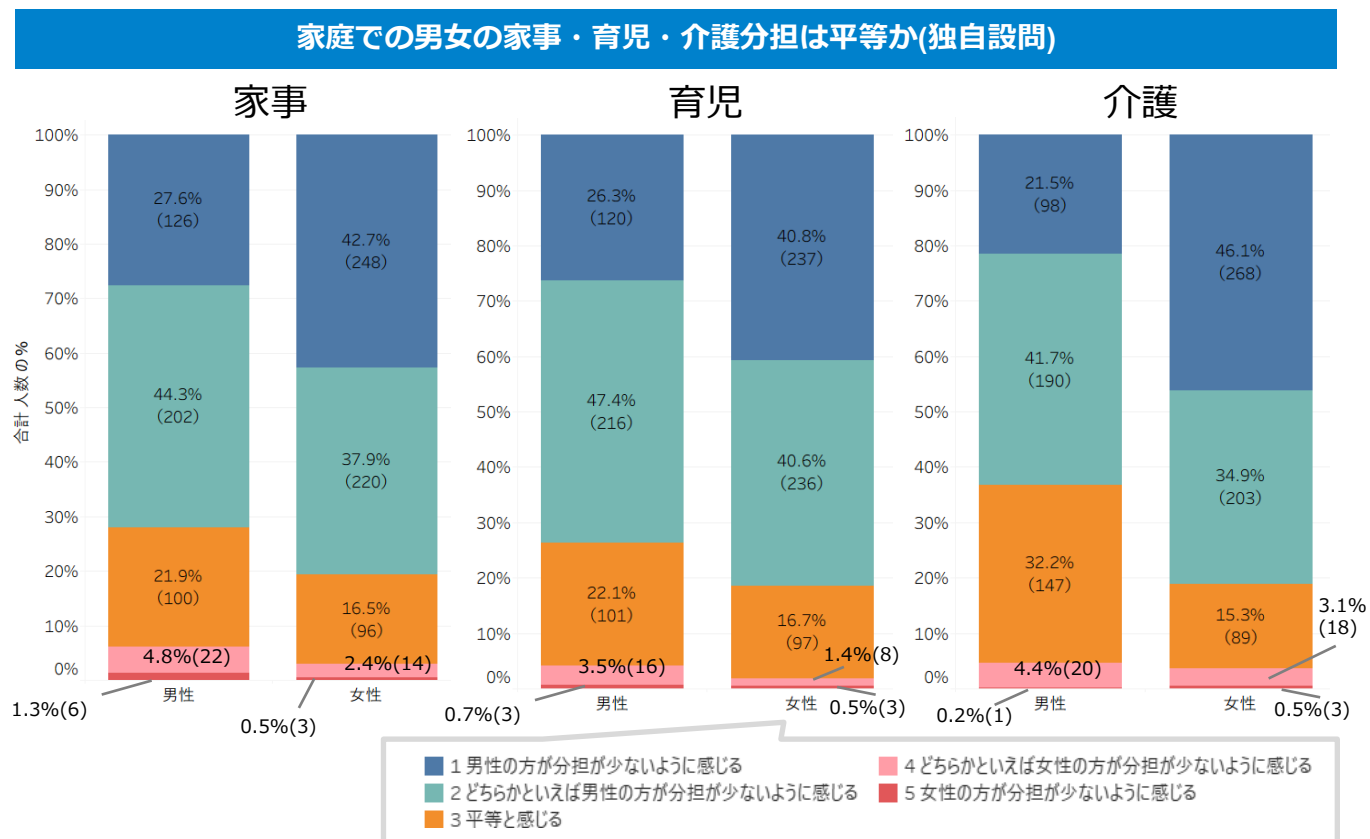
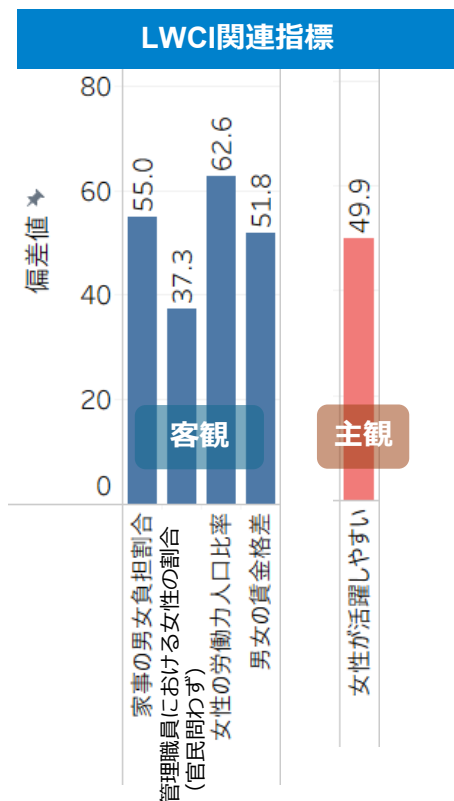


主観指標と客観指標の上位・下位3因子、および主観客観ギャップの上位3因子

No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観
1	文化・芸術	移動・交通	健康状態	環境共生	移動・交通	文化・芸術
2	健康状態	遊び・娯楽	移動・交通	都市景観	雇用・所得	地域とのつながり
3	自己効力感	買物・飲食	地域行政	地域とのつながり	遊び・娯楽	環境共生

※客観指標は2024年12月公開のデータ

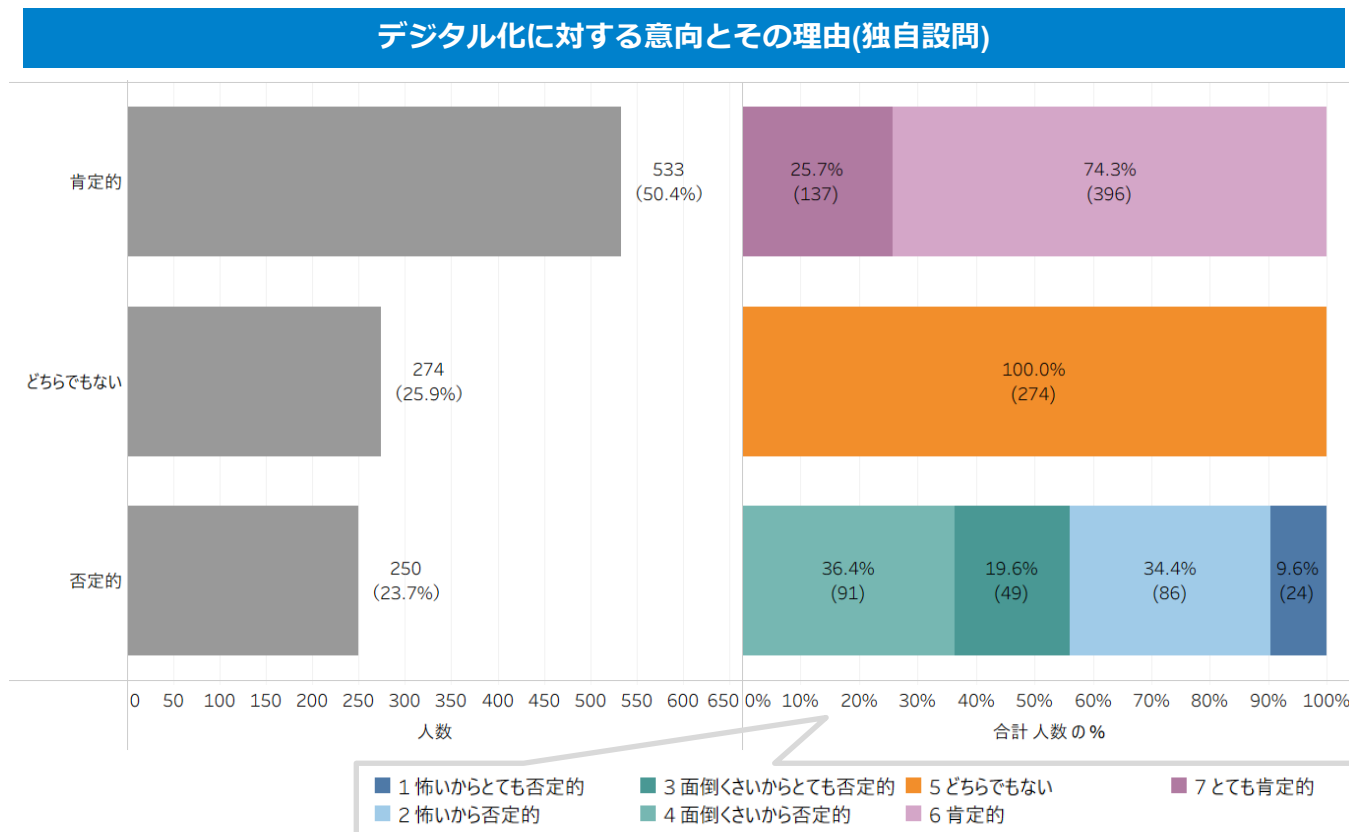
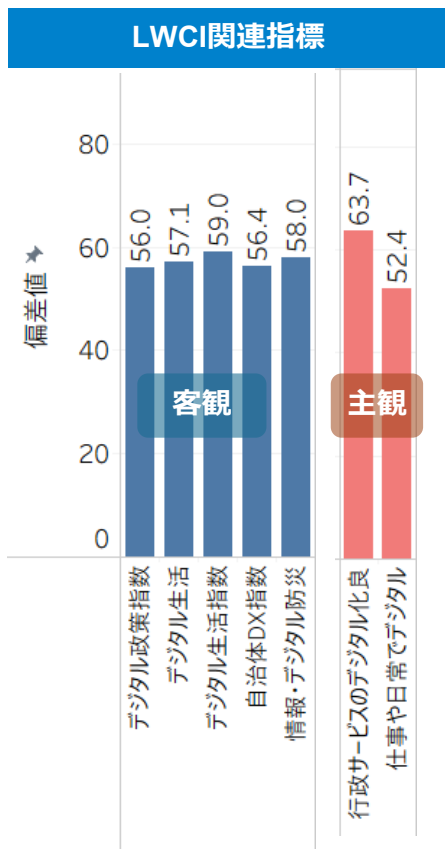
● 分析ツール等を活用した結果（女性活躍）



上記結果に対する分析・コメント

- 家庭での男女の家事・育児・家事分担は平等かどうかについて、男女間で「平等と感じる」割合には差があり、いずれも「男性の方が負担が少ない」と感じている女性の割合が多い。
- 家事、育児に比べて介護は「平等と感じる」割合の男女差が大きい。
- 調査全体を通して、男性が家事・育児に積極的に参加するために、夫婦間での話し合いと、職場環境の整備がより必要と考える人が多いことも分かった。さらに、作られた制度を利用しやすい職場環境の実現のためには、全世代の意識改革を同時に促していく必要性が見えてきた。

● 分析ツール等を活用した結果（デジタル化）

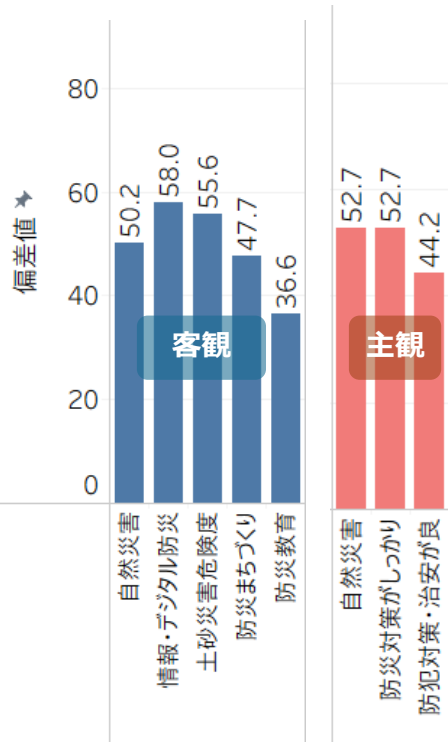


上記結果に に対する分析・ コメント

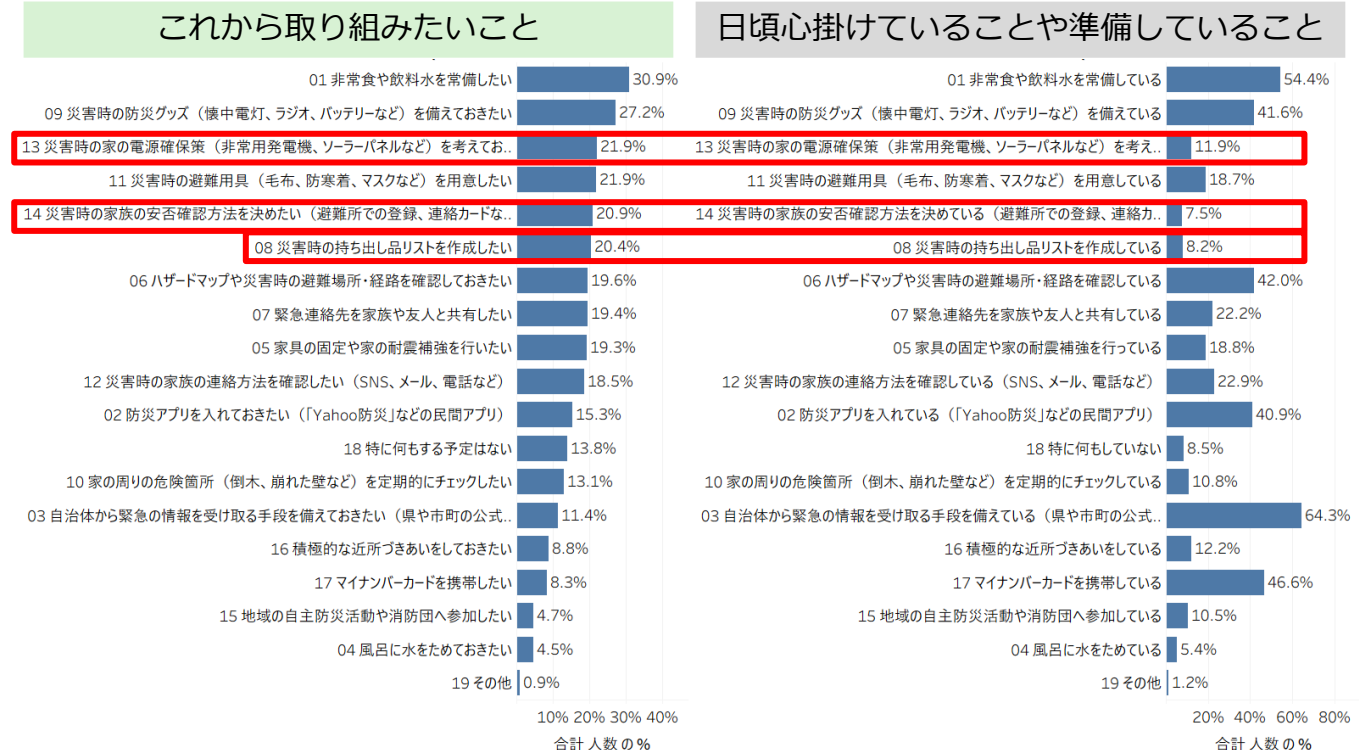
- デジタル化に「肯定的」「とても肯定的」を合わせた、肯定派の人は全体の50%であり、デジタル化についておよそ半数の人が前向きに捉えていると言える。
- 否定的な人の理由は「怖いから」より「面倒くさいから」がやや上回る。「面倒くさいから」を理由とする人たちに対しては、デジタルサービス利用にあたっての煩雑さを減らす工夫等で否定的なイメージを減らすことができる可能性がある。

● 分析ツール等を活用した結果（防災）

LWCI関連指標



災害に向けて準備していることとこれから取り組みたいこと (独自設問)



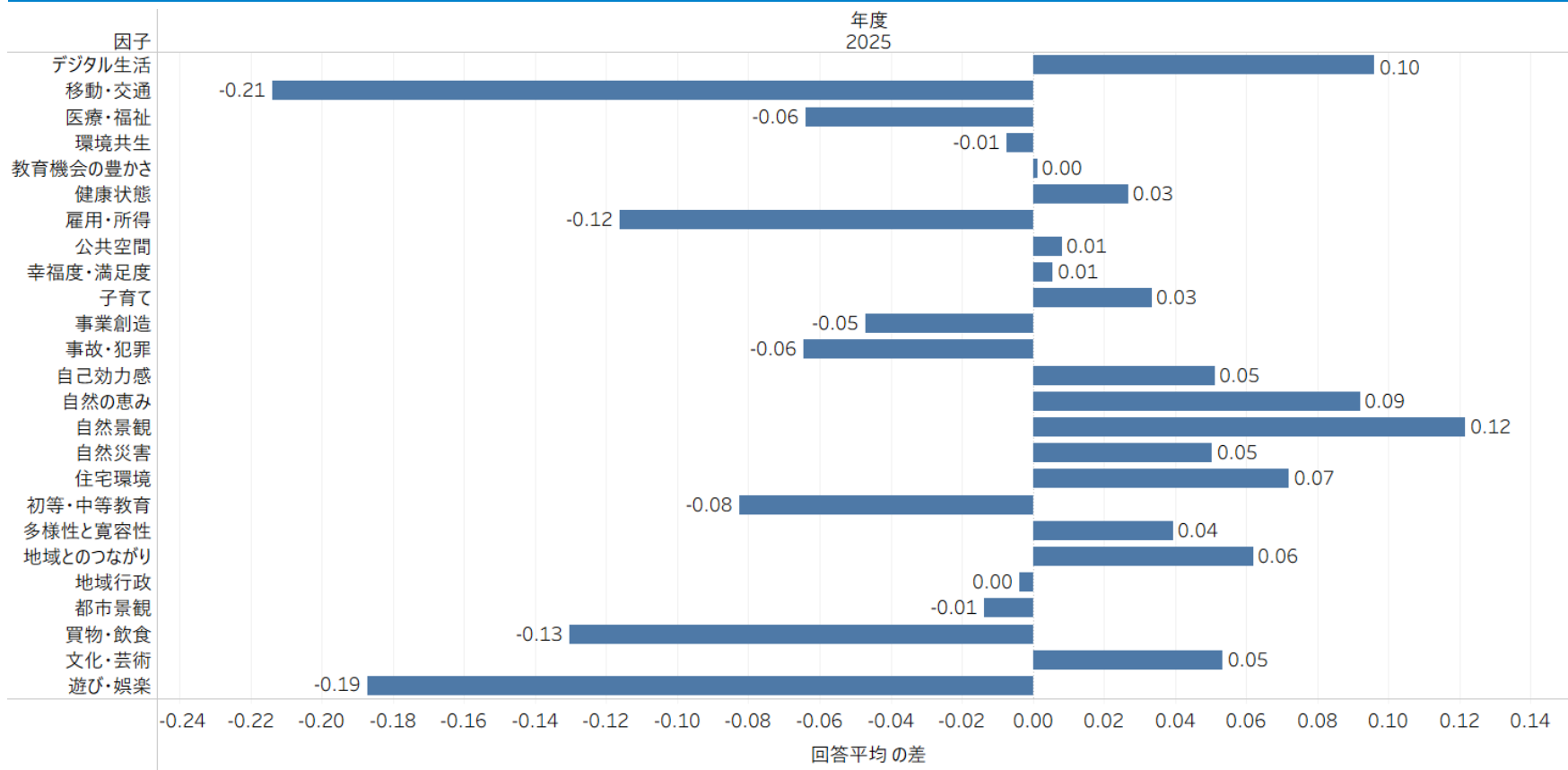
上記結果に
対する分析・
コメント

- ・ 取り組みたいと思っているが準備している人の割合が低いものは、「災害時の家の電源確保策を考えておく」「災害時の安否確認方法を決める」「災害時の持ち出し品リストの作成」である。
- ・ 非常食や防災グッズなど最低限の備えをしている人は多いが、それらに加えて多少手間やお金がかかる備えには踏み切れていない人が多いのではないかと推測される。「災害時の安否確認方法を決める」「災害時の持ち出し品リストの作成」は各自が自宅で取り組むことができるため、情報を整理するためのフォーマット等を広めていくことができると取り組むきっかけになる可能性がある。

Well-Being指標昨年度比較



2024年度の平均に対する2025年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）



上記結果に
に対する分析・
コメント

- 昨年度の平均に対して「自然景観」「デジタル生活」がプラス、「移動・交通」「遊び・娯楽」が大きくマイナスとなった
- 自然景観や住宅環境などは良いものの、移動のしやすさや娯楽に対して不便さを感じている人もいるということがうかがえる

結果詳細

- 本アンケート実施後、以下の観点による分析を行った。

1 石川県民の幸福感（Well-being）の状況を把握

LWCI設問の結果集計および可視化

2 注指標（女性活躍・デジタル化・防災）に関する県民の声把握

独自設問の結果から、県民のリアルな思いを収集および分析し、施策検討のための示唆を得る

3 幸福感（Well-being）の昨年度比較

LWCI設問の昨年度と今年度結果を比較し、県民の幸福感（Well-being）の変化を見る

4 幸福感（Well-being）の主観・客観のギャップが大きい因子の把握

Well-Being指標において「客観＞主観」のギャップが大きい因子を特定し、該当因子の特徴を様々な視点から分析・把握する

4-1 移動・交通因子の分析

移動・交通因子のLWCI設問結果分析

4-2 雇用・所得因子の分析

雇用・所得因子のLWCI設問結果分析

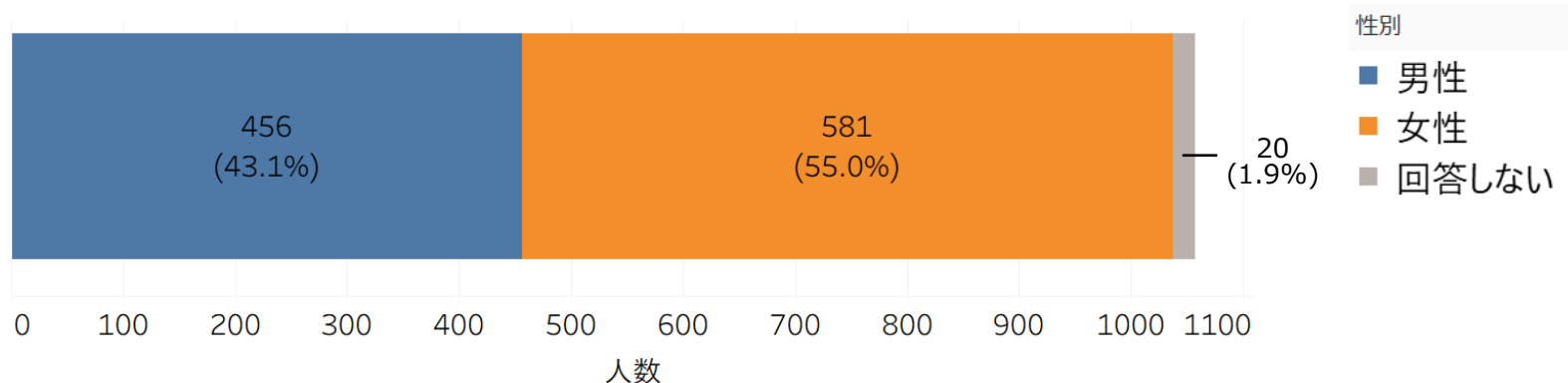
1. 石川県民の幸福感（Well-being）の状況を把握

アンケート回答者の基本属性

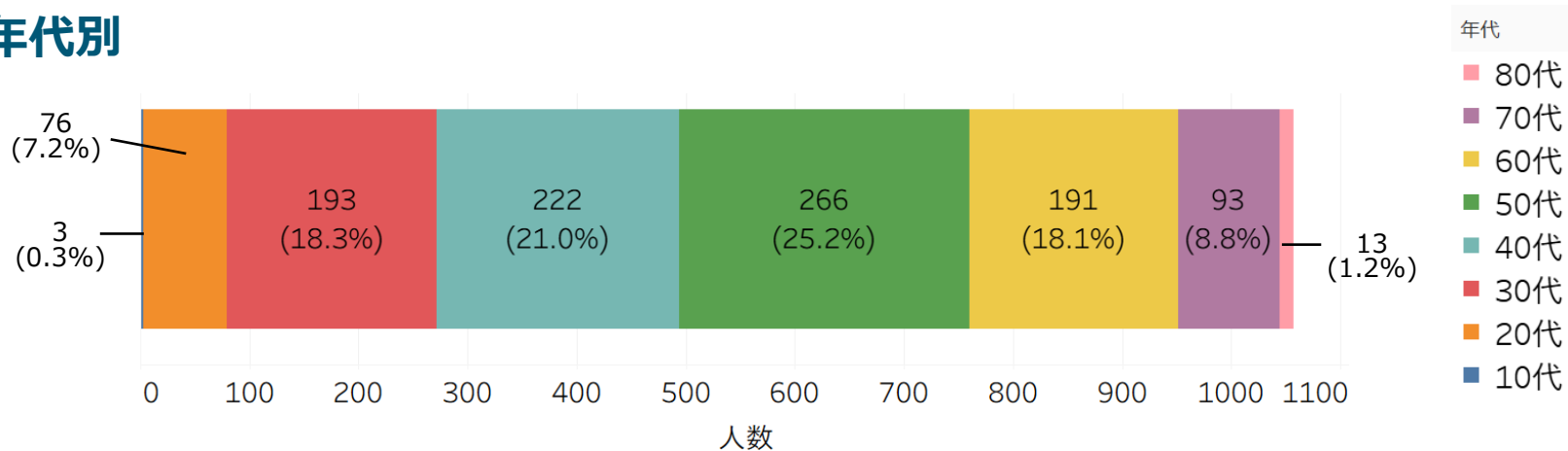


【回答者】 全体1057人

性別



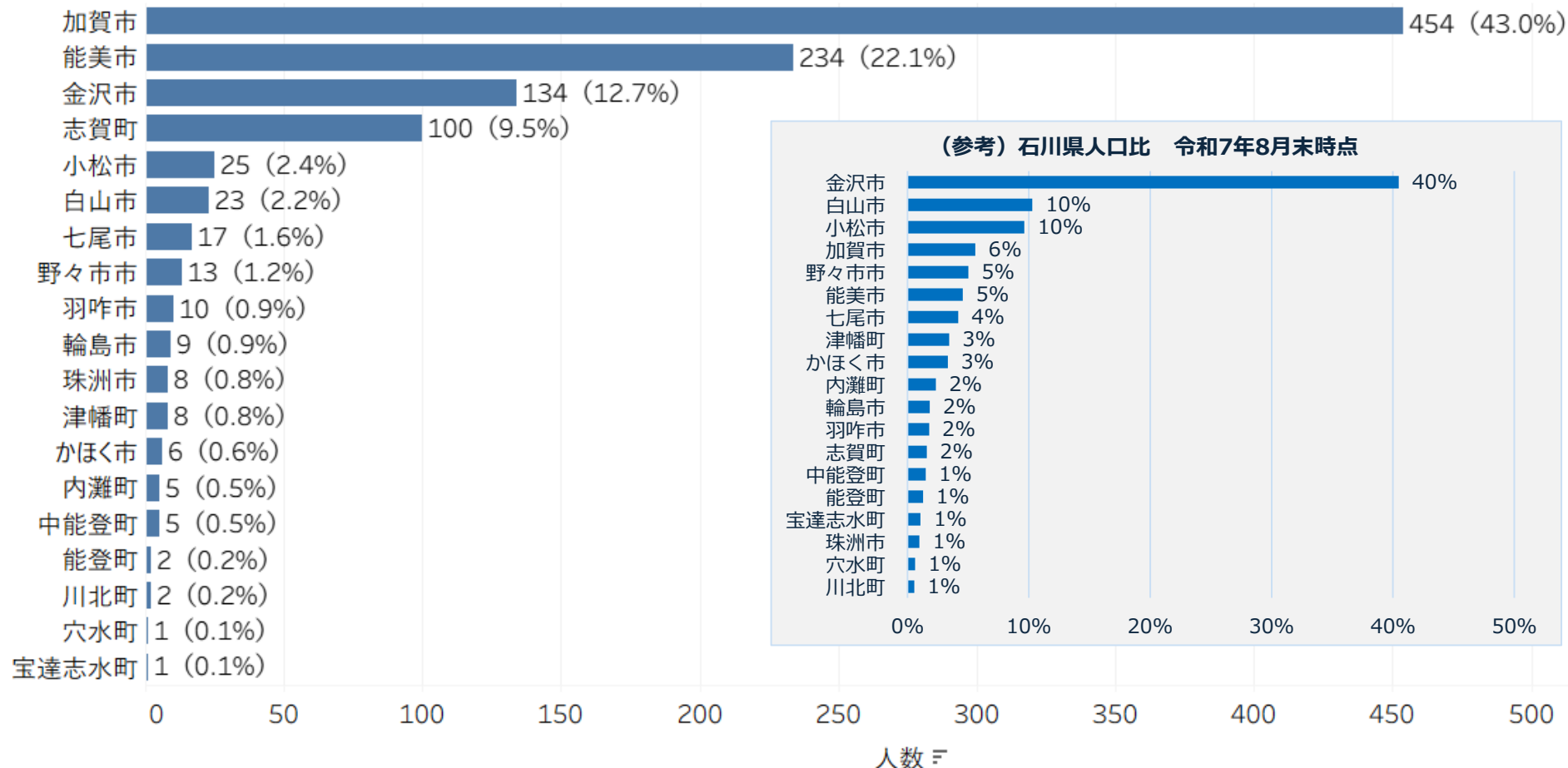
年代別



アンケート回答者の基本属性



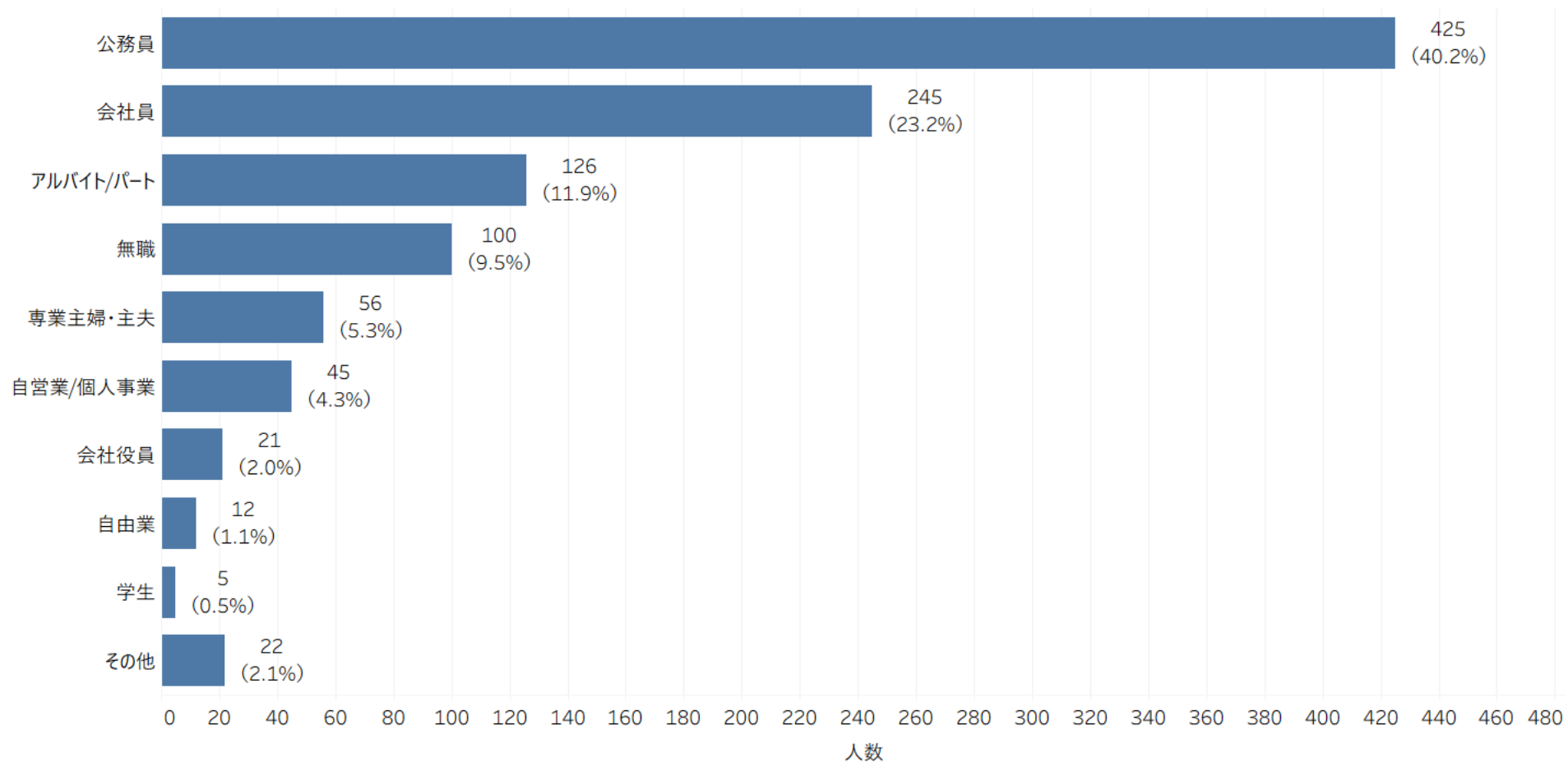
お住いの地域



アンケート回答者の基本属性



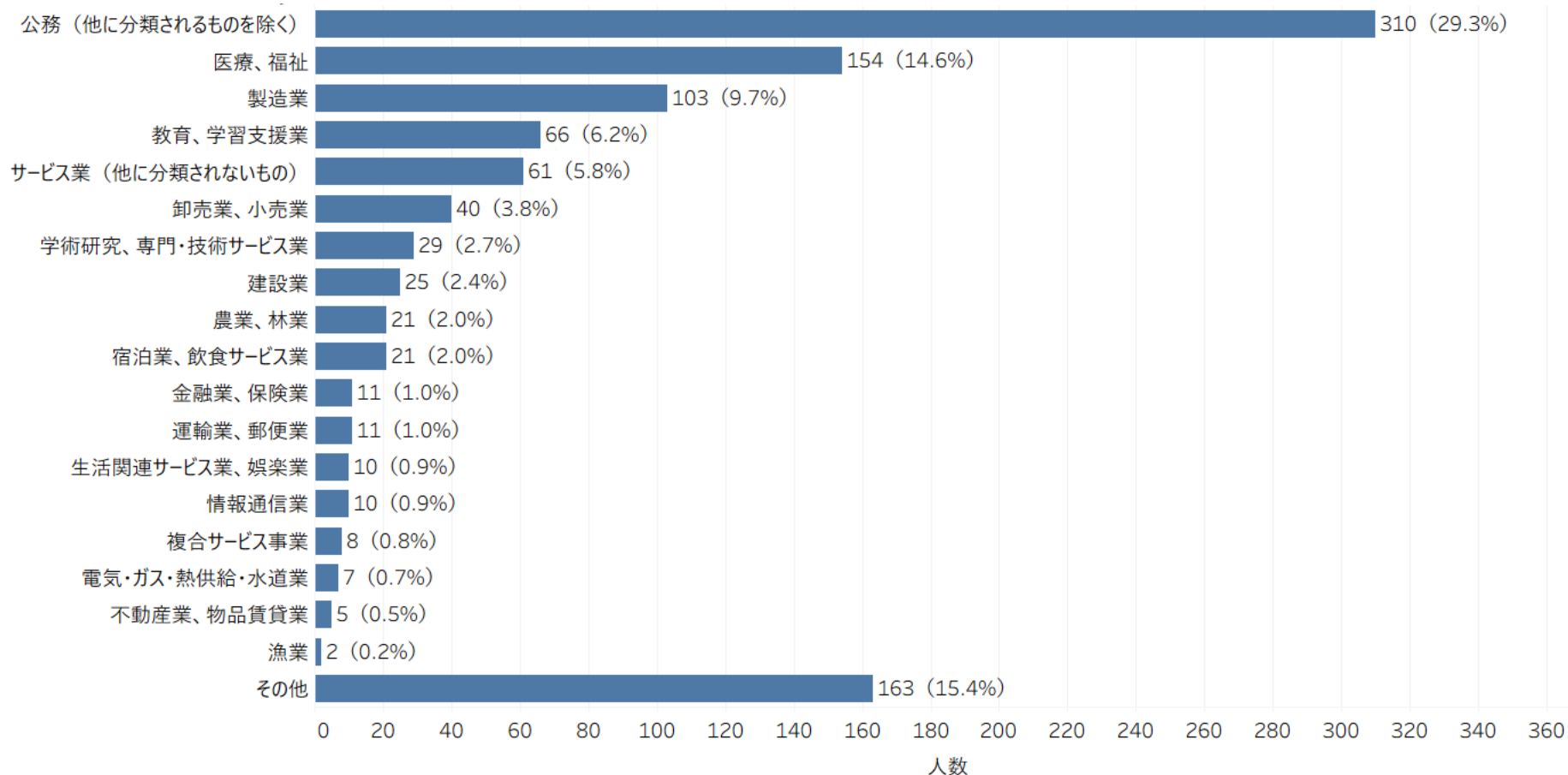
職業



アンケート回答者の基本属性



業種



1. 現在、あなたはどの程度幸せですか。

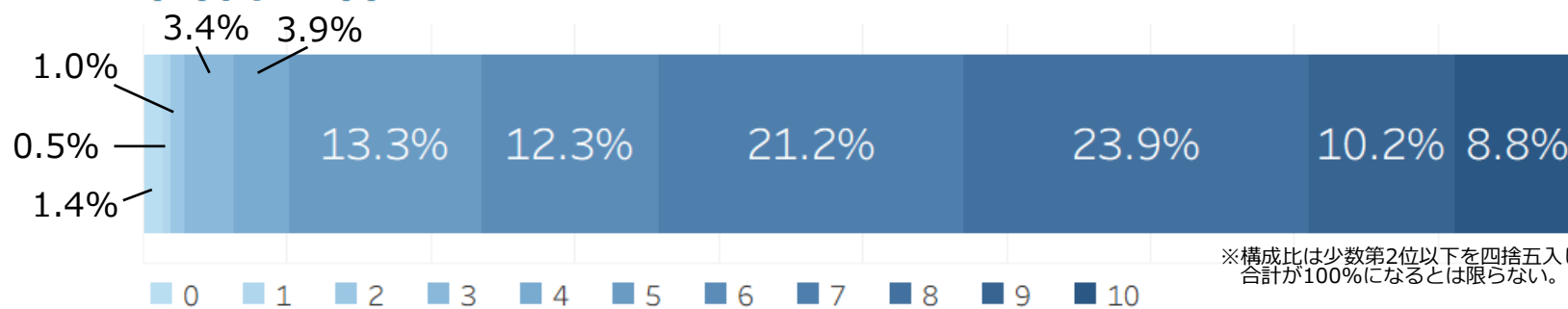
「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

全体では「8点」が最も多く23.9%、次いで「7点」が21.2%

平均値



回答全体



※構成比は少数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%になるとは限らない。以降のグラフも同様。

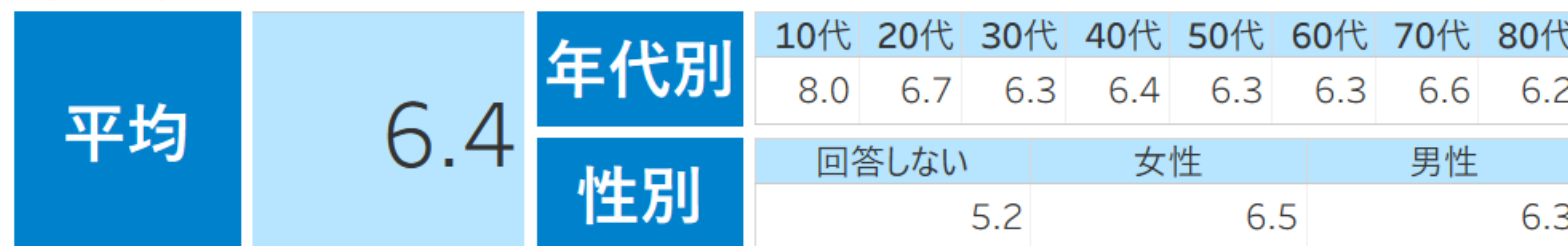
回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	15	5	11	36	41	141	130	224	253	108	93

2. 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

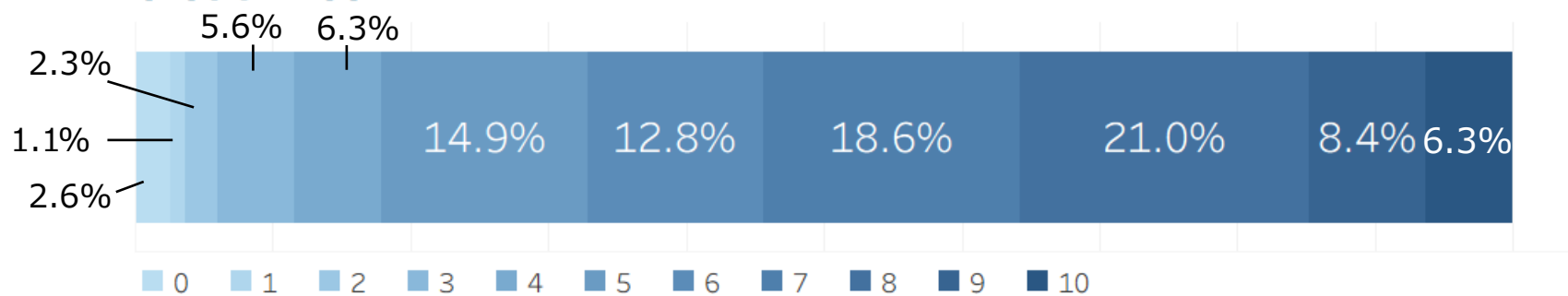
「とても満足」を 10 点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

全体では「8点」が最も多く21.0%、次いで「7点」が18.6%

平均値



回答全体



回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	27	12	24	59	67	158	135	197	222	89	67

3. あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。

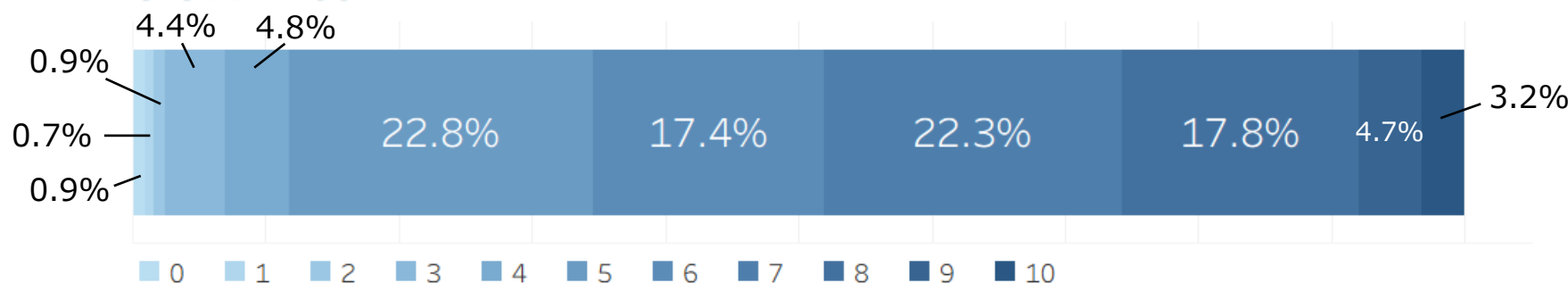
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。

全体では「5点」が最も多く22.8%、次いで「7点」が22.3%

平均値



回答全体



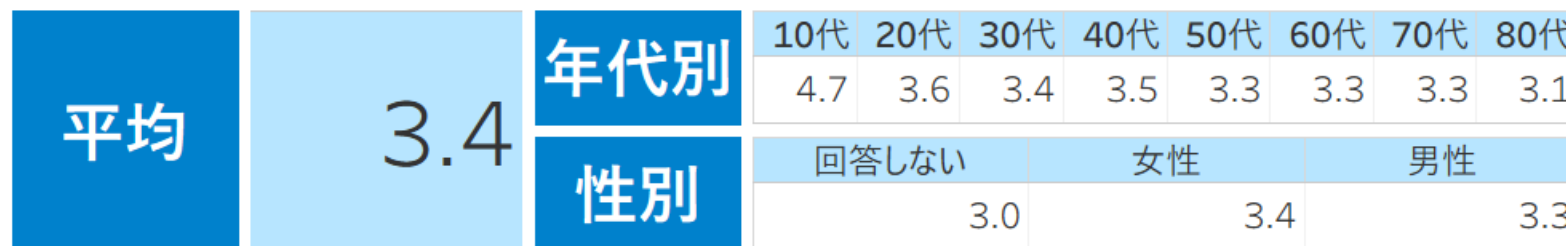
回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	10	7	9	47	51	241	184	236	188	50	34

4. 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う

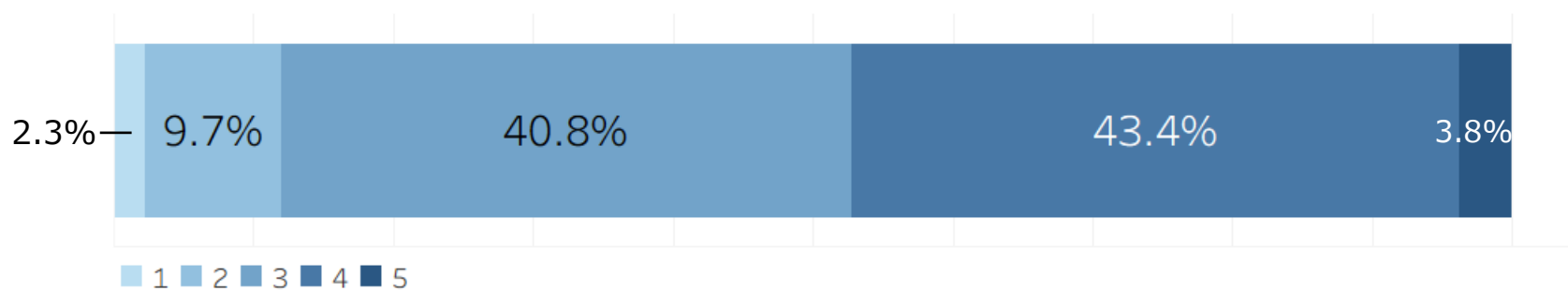
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く43.4%、次いで「どちらとも言えない=3」が40.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	24	103	431	459	40

5. 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

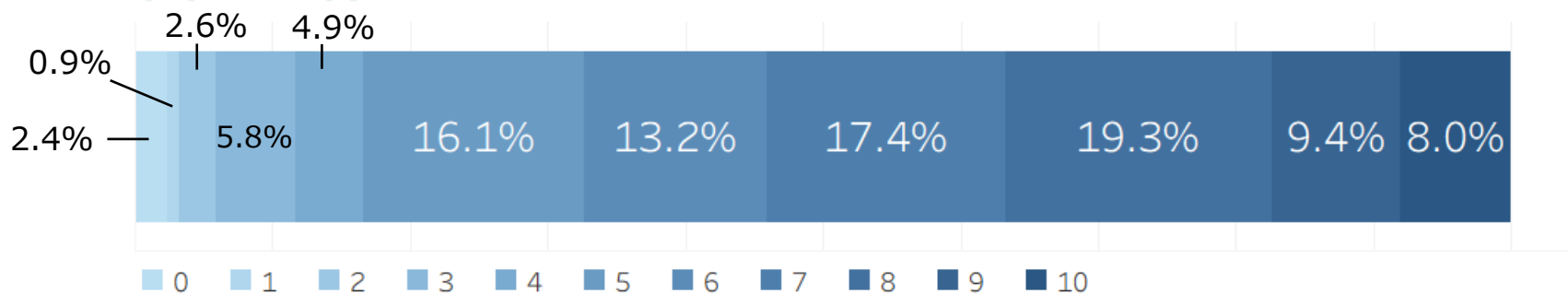
「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

全体では「8点」が最も多く19.3%、次いで「7点」が17.4%

平均値



回答全体



回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	25	9	28	61	52	170	140	184	204	99	85

6. 暮らしている地域は、医療機関が充実している

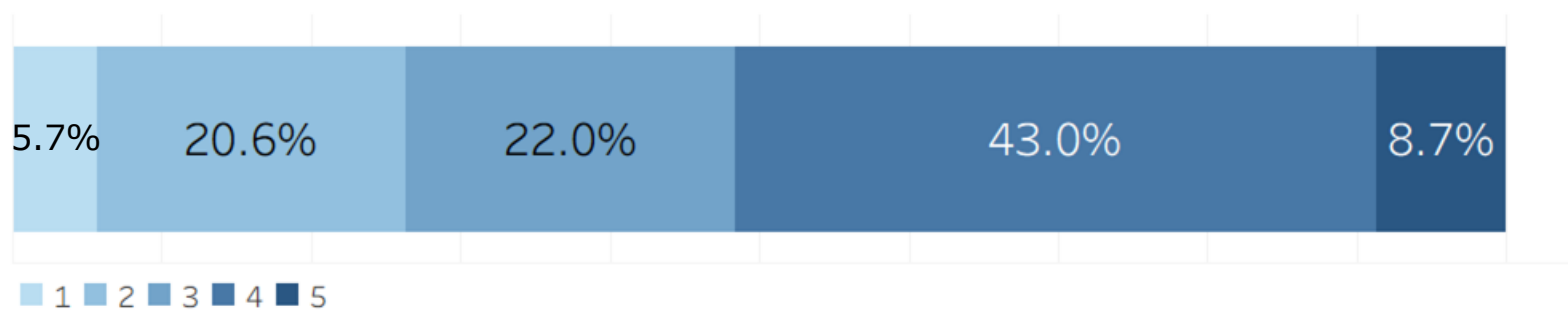
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く43.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が22.0%

平均値



回答全体



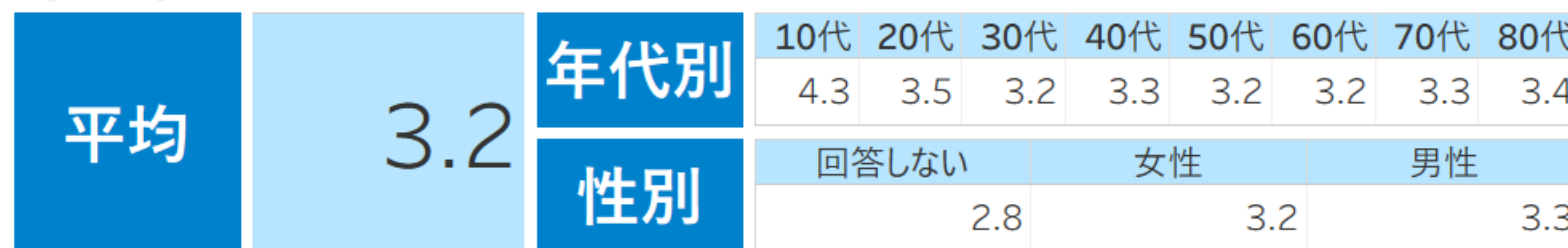
回答	1	2	3	4	5
回答数	60	218	233	454	92

7. 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい

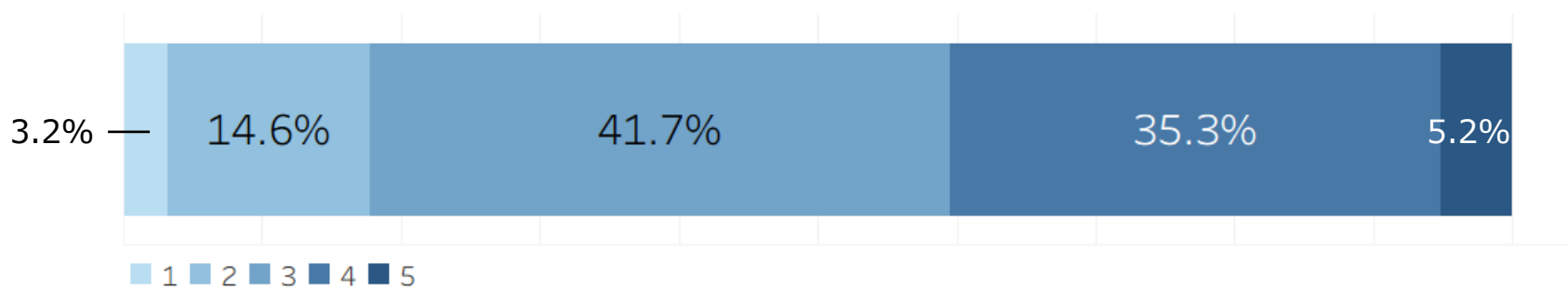
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く41.7%、次いで「ある程度あてはまる=4」が35.3%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	34	154	441	373	55

8. 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない

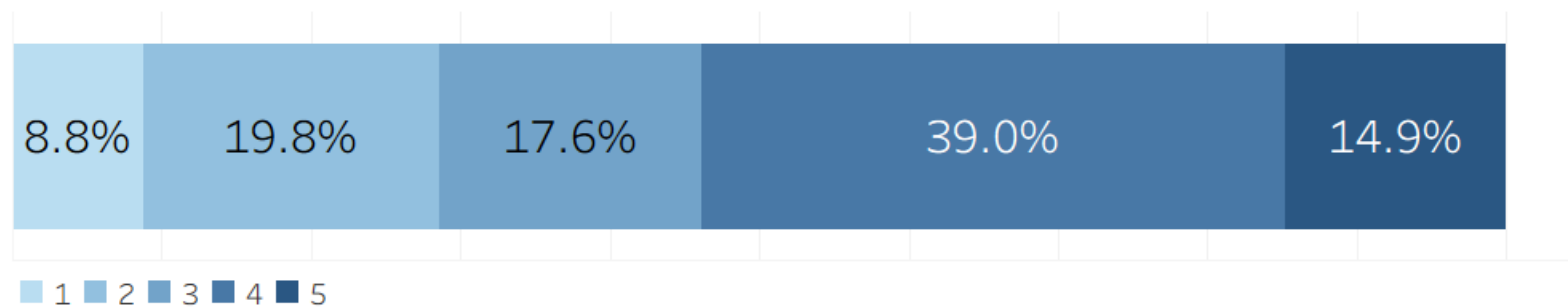
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.0%、次いで「あまりあてはまらない=2」が19.8%

平均値



回答全体



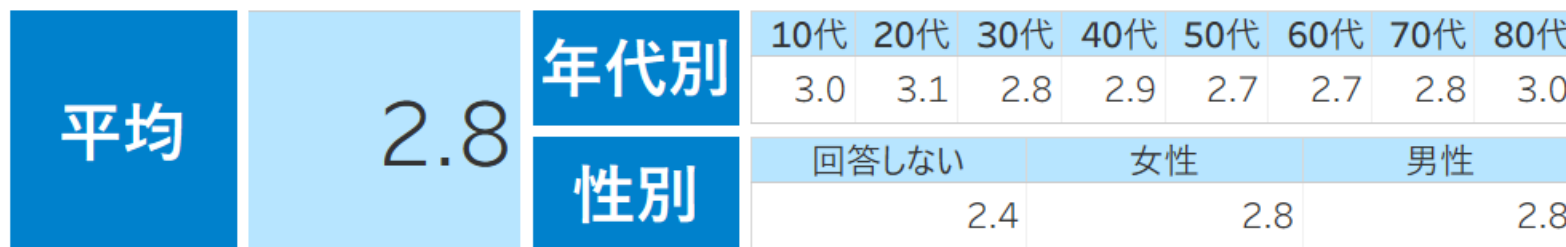
回答	1	2	3	4	5
回答数	93	209	186	412	157

9. 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している

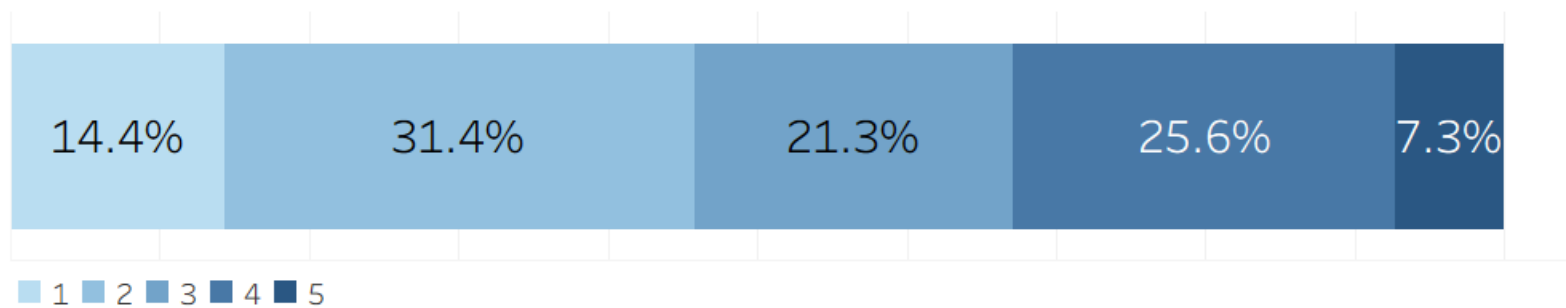
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- ・全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く31.4%、次いで「ある程度あてはまる=4」が25.6%
- ・2と4に回答が分かれていることから、充実している場所とそうでない場所が県内に混在することが伺える

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	152	332	225	271	77

10. 自宅には、心地のいい居場所がある

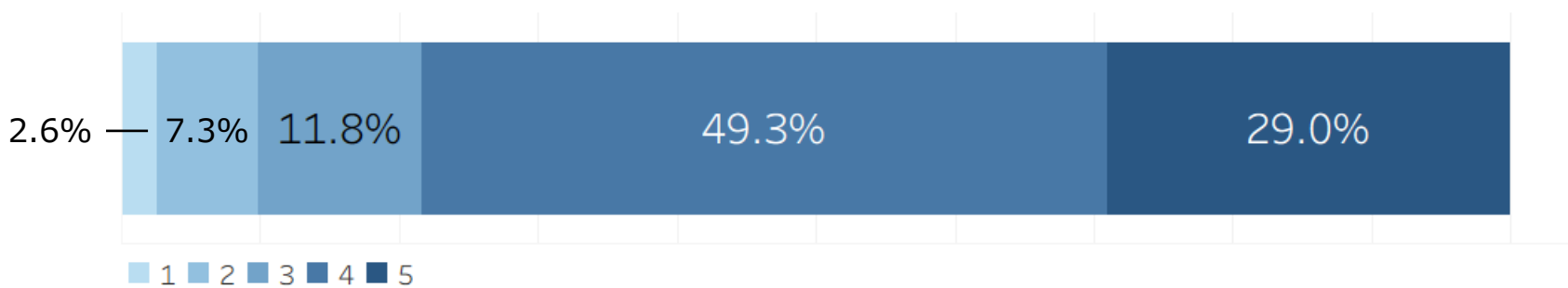
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く49.3%、次いで「非常にあてはまる=5」が29.0%

平均値



回答全体



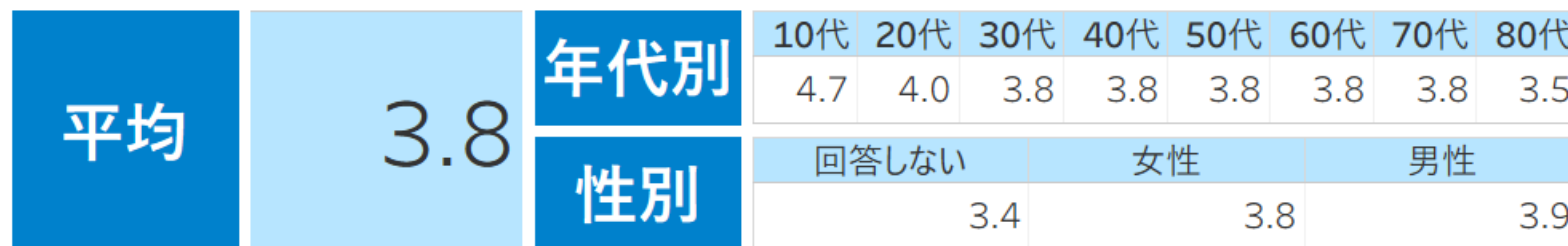
回答	1	2	3	4	5
回答数	27	77	125	521	307

11. 【数逆転設問】 自宅の近辺では、騒音に悩まされている

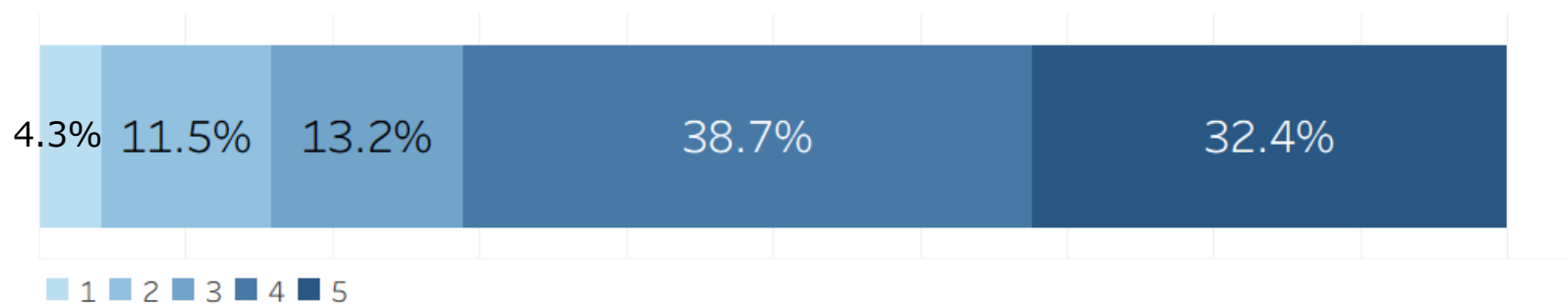
非常にあてはまる=1、ある程度あてはまる=2、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=4、全くあてはまらない=5

全体では「あまりあてはまらない=4」が最も多く38.7%、次いで「全くあてはまらない=5」が32.4%

平均値



回答全体



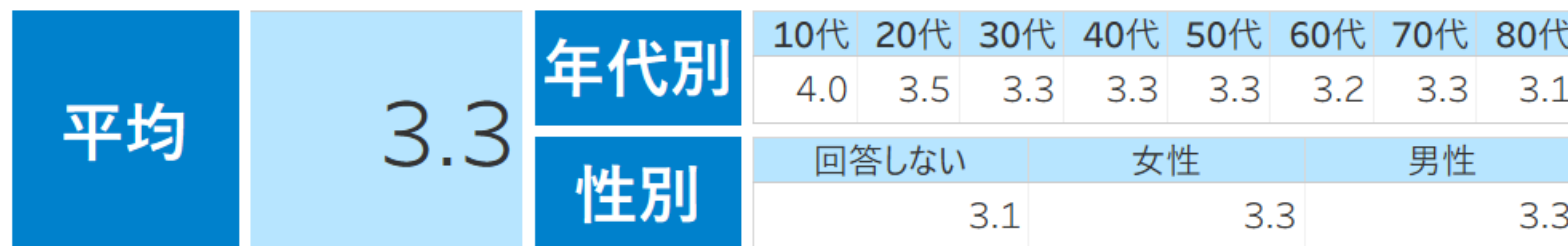
回答	1	2	3	4	5
回答数	45	122	139	409	342

12. 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる

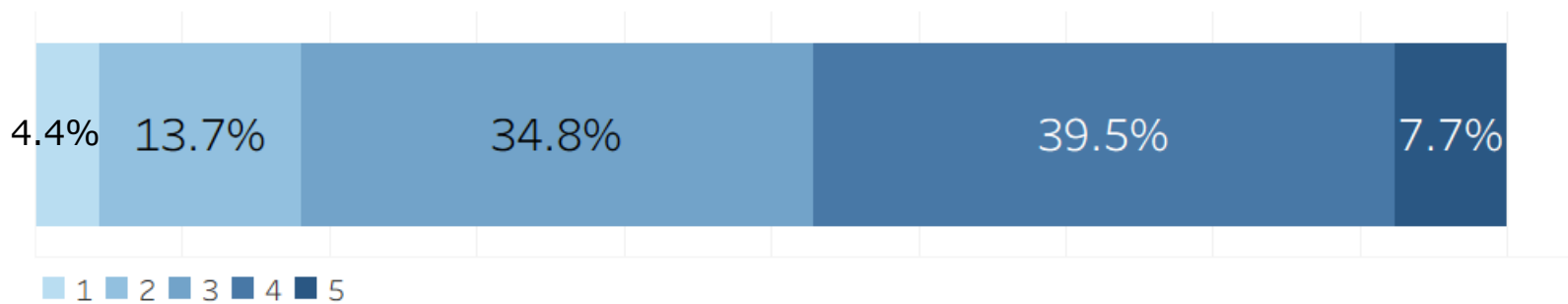
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が34.8%

平均値



回答全体



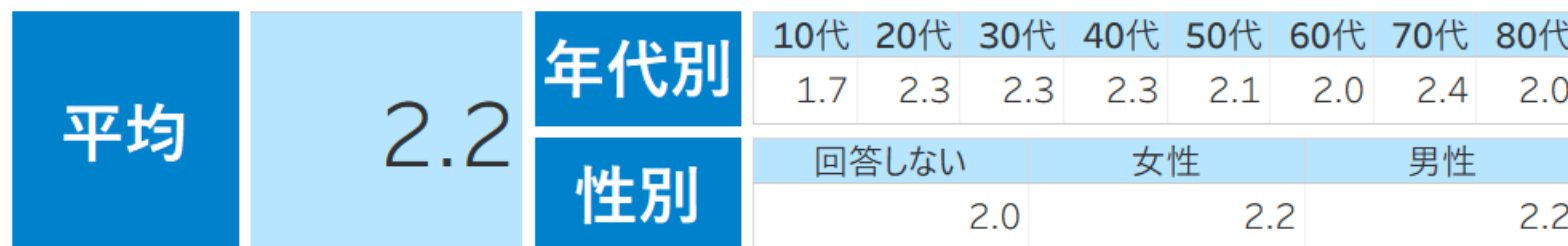
回答	1	2	3	4	5
回答数	46	145	368	417	81

13. 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる

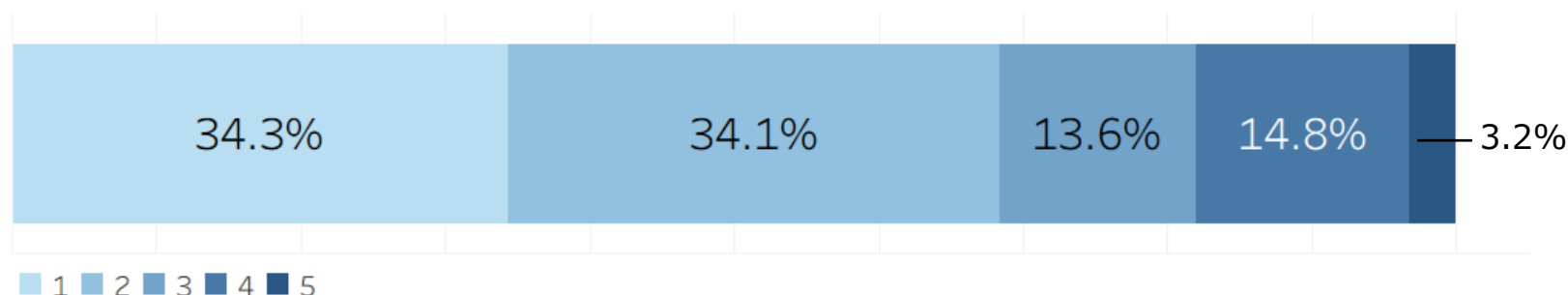
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「全くあてはまらない=1」が最も多く34.3%、次いで「あまりあてはまらない=2」が34.1%

平均値



回答全体



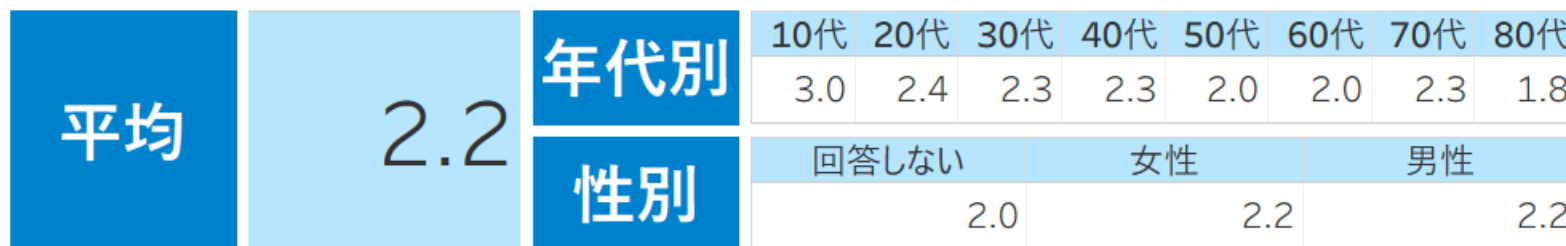
回答	1	2	3	4	5
回答数	363	360	144	156	34

14. 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

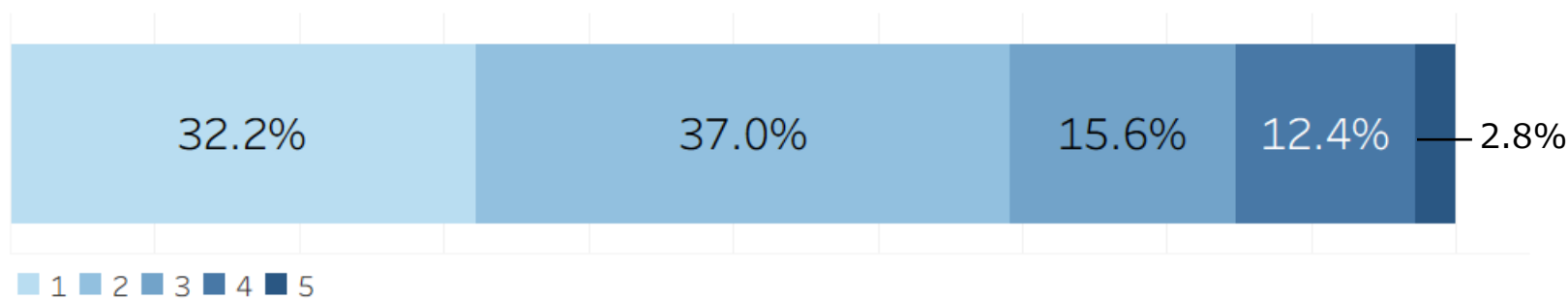
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く37.0%、次いで「全くあてはまらない=1」が32.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	340	391	165	131	30

15. 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い

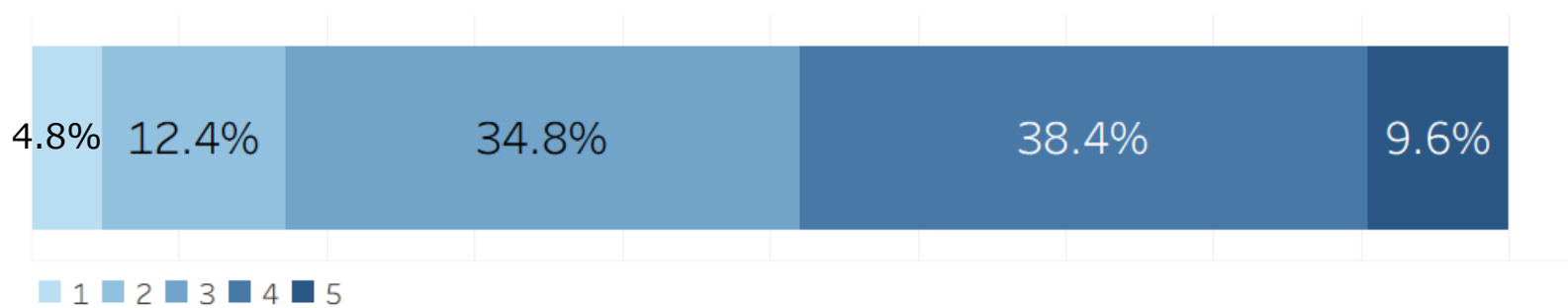
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く38.4%、次いで「どちらとも言えない=3」が34.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	51	131	368	406	101

16. 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる

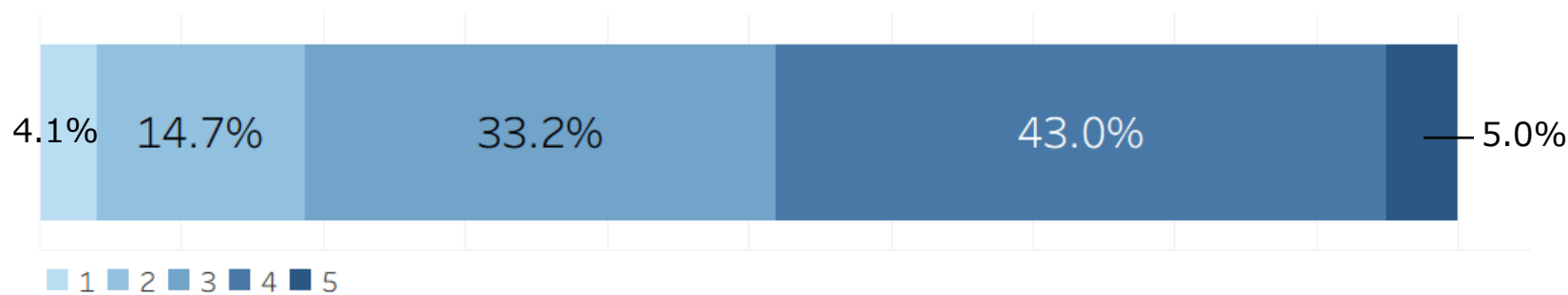
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く43.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が33.2%

平均値



回答全体



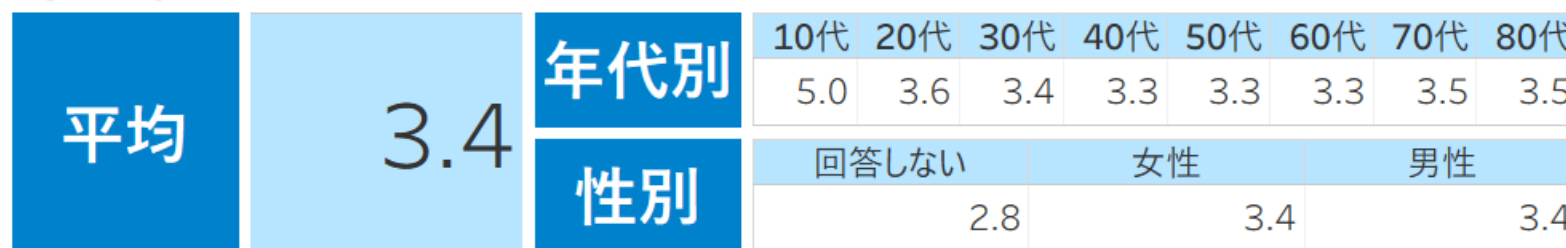
回答	1	2	3	4	5
回答数	43	155	351	455	53

17. 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている

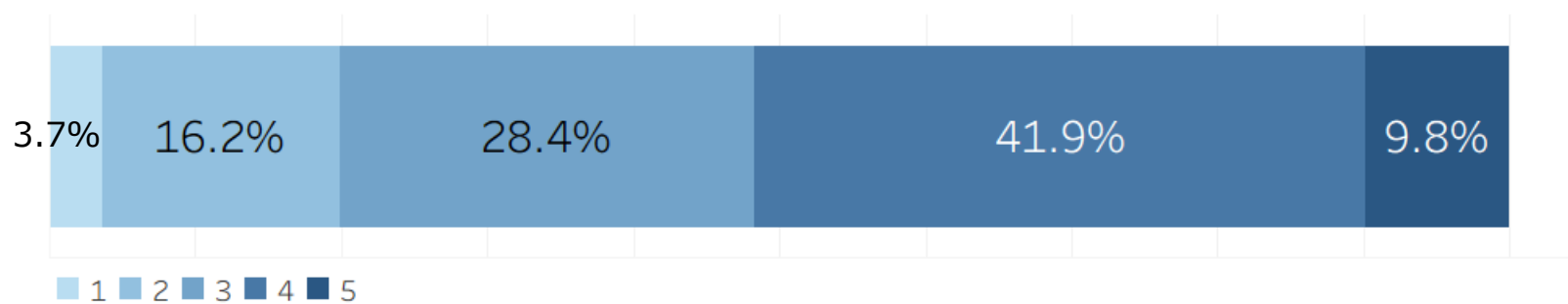
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く41.9%、次いで「どちらとも言えない=3」が28.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	39	171	300	443	104

18. 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある

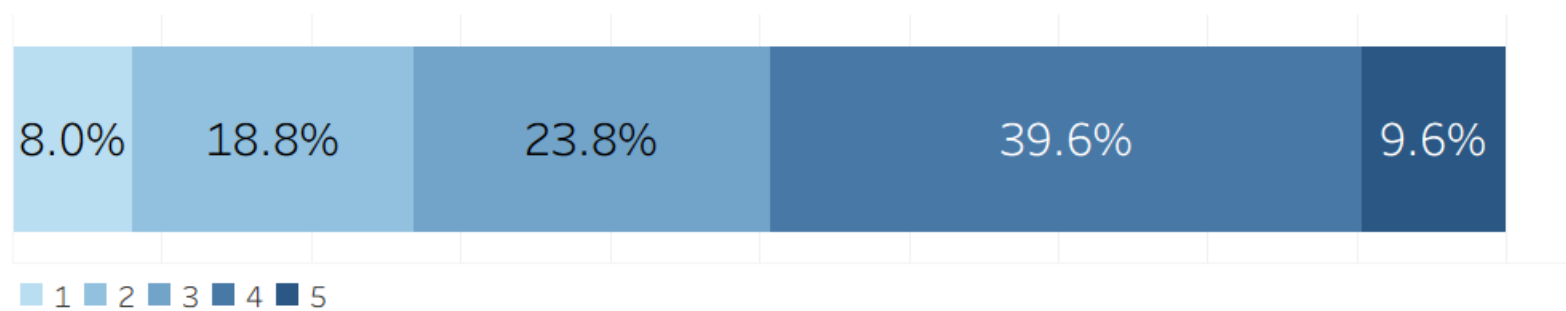
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が23.8%

平均値



回答全体



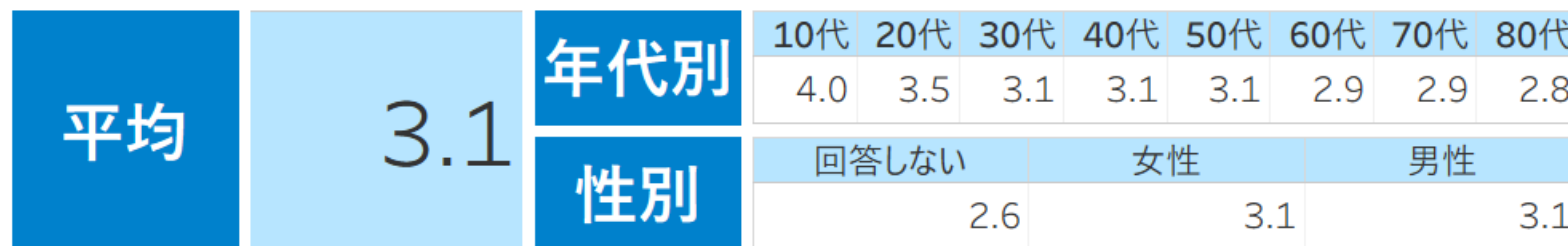
回答	1	2	3	4	5
回答数	85	199	252	419	102

19. 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う

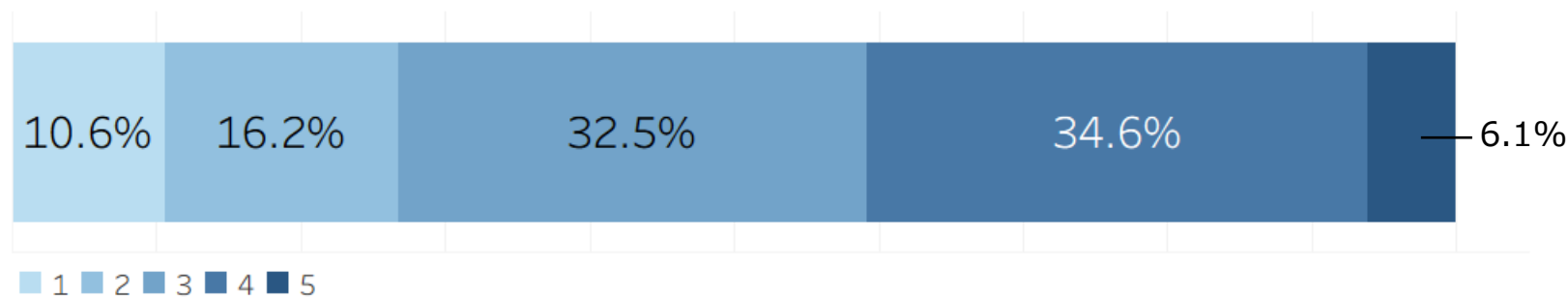
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- ・全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く34.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が32.5%
- ・年代別では20代以下の平均が高い傾向

平均値



回答全体



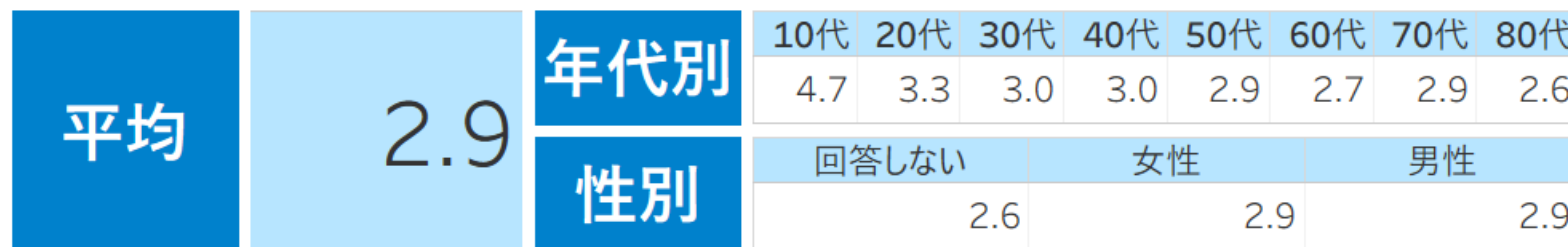
回答	1	2	3	4	5
回答数	112	171	343	366	65

20. 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である

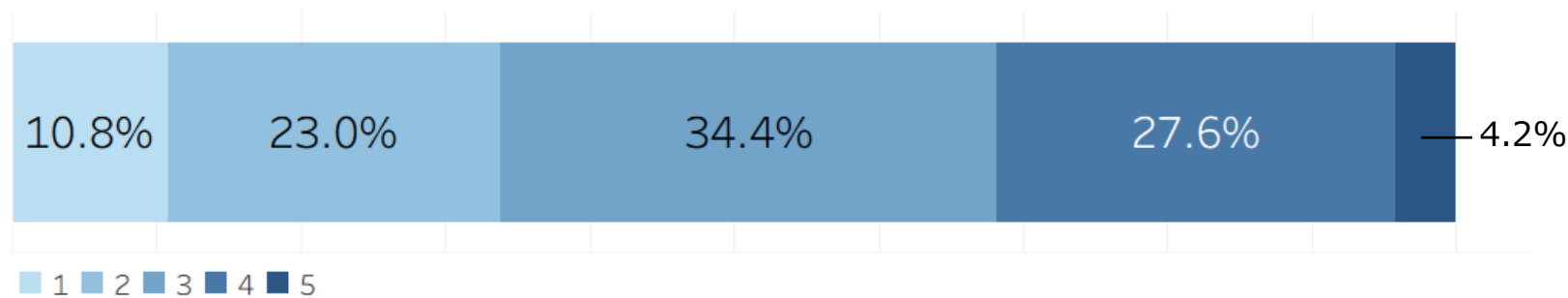
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く34.4%、次いで「ある程度あてはまる=4」が27.6%

平均値



回答全体



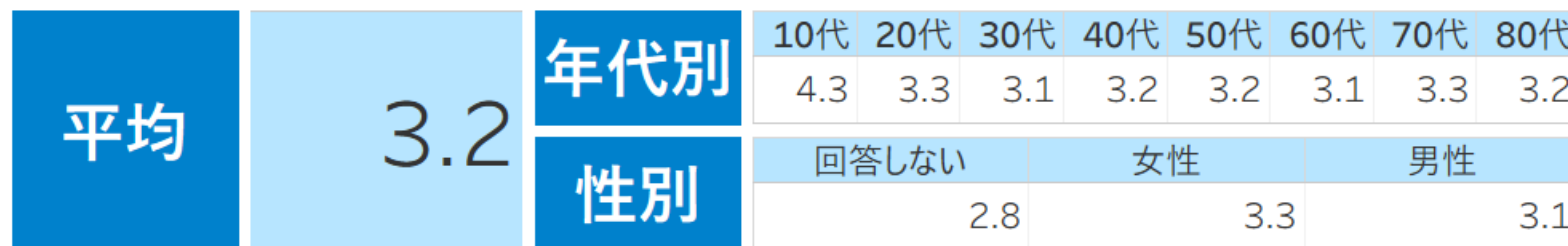
回答	1	2	3	4	5
回答数	114	243	364	292	44

21. 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる

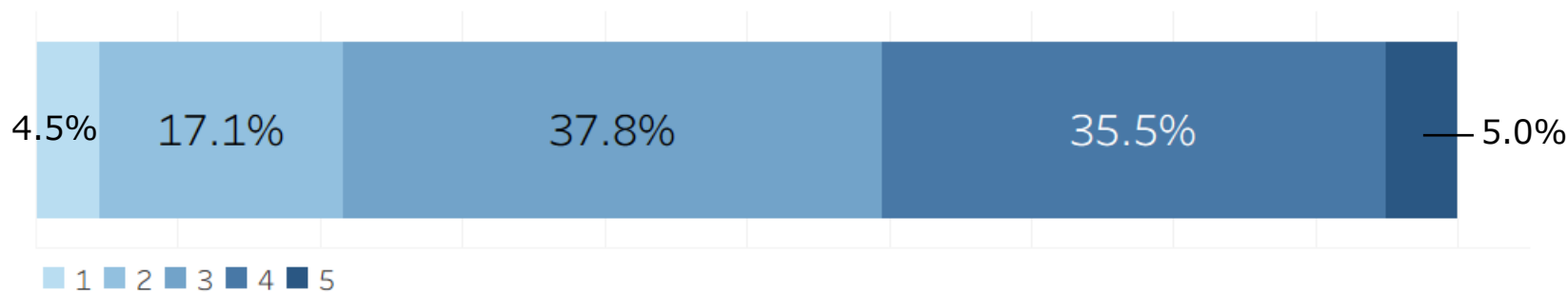
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く37.8%、次いで「ある程度あてはまる=4」が35.5%

平均値



回答全体



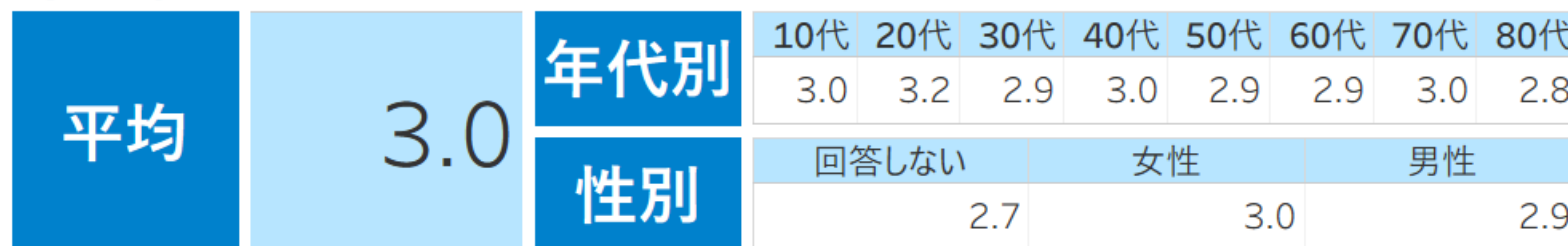
回答	1	2	3	4	5
回答数	48	181	400	375	53

22. 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

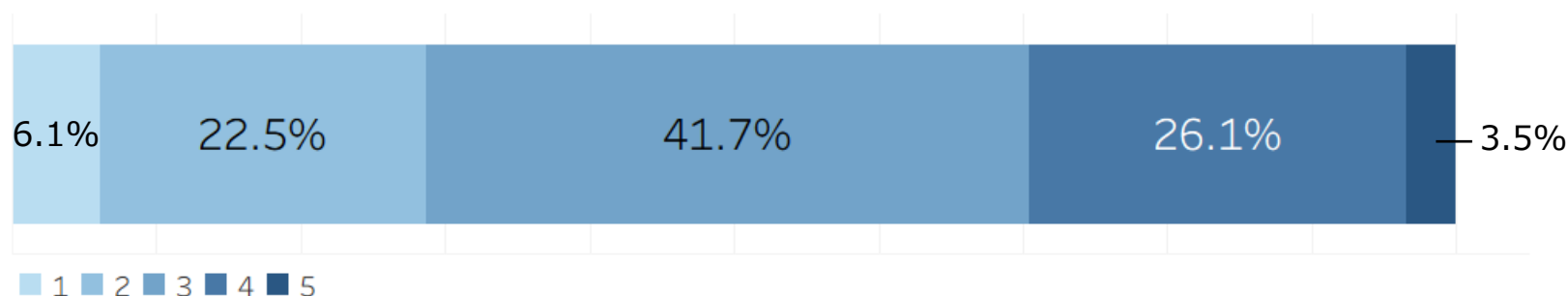
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く41.7%、次いで「ある程度あてはまる=4」が26.1%

平均値



回答全体



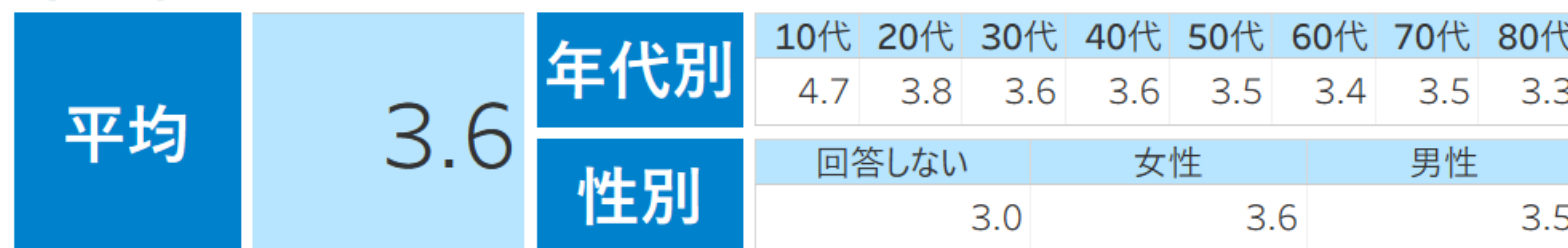
回答	1	2	3	4	5
回答数	65	238	441	276	37

23. 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい

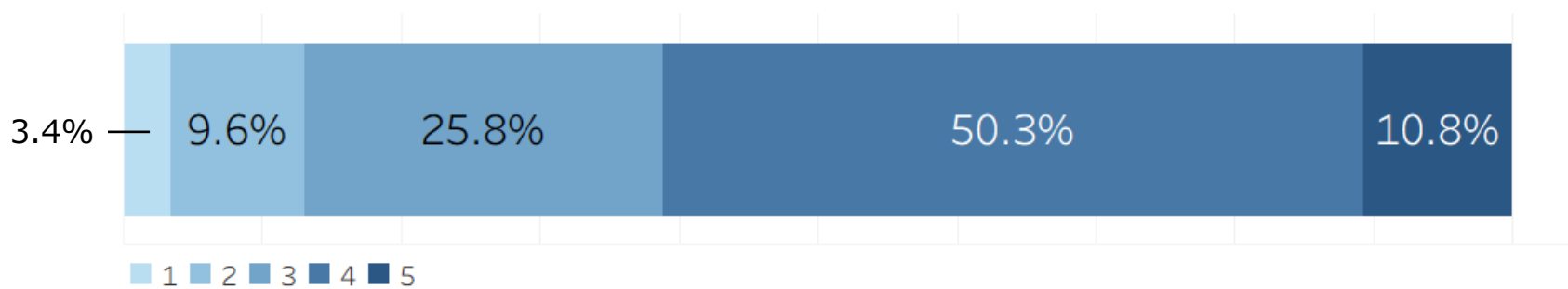
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く50.3%、次いで「どちらとも言えない=3」が25.8%

平均値



回答全体



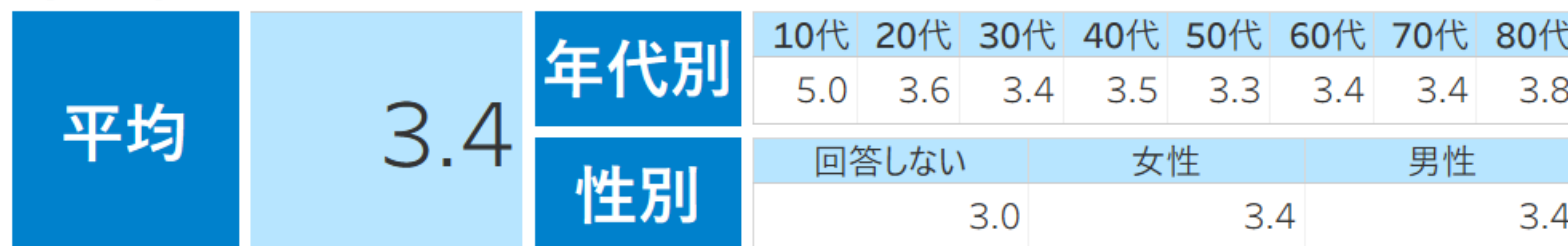
回答	1	2	3	4	5
回答数	36	102	273	532	114

24. 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

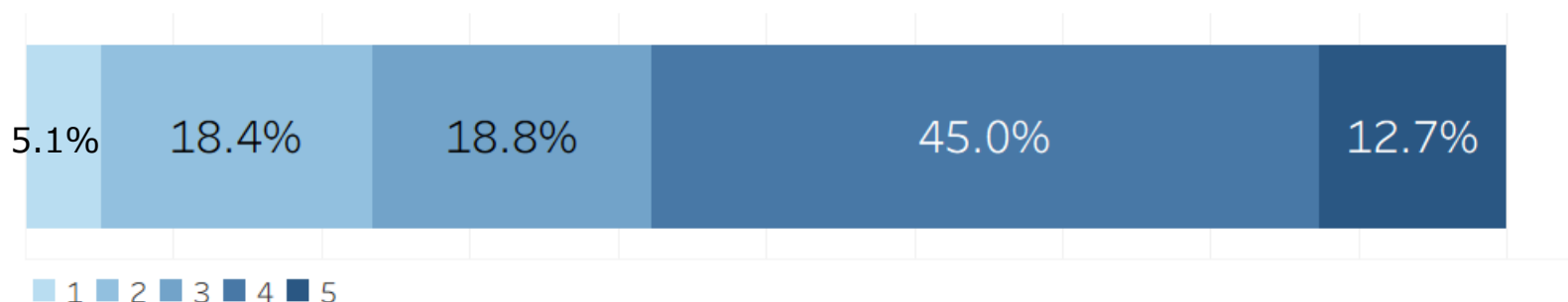
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が18.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	54	194	199	476	134

25. 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある

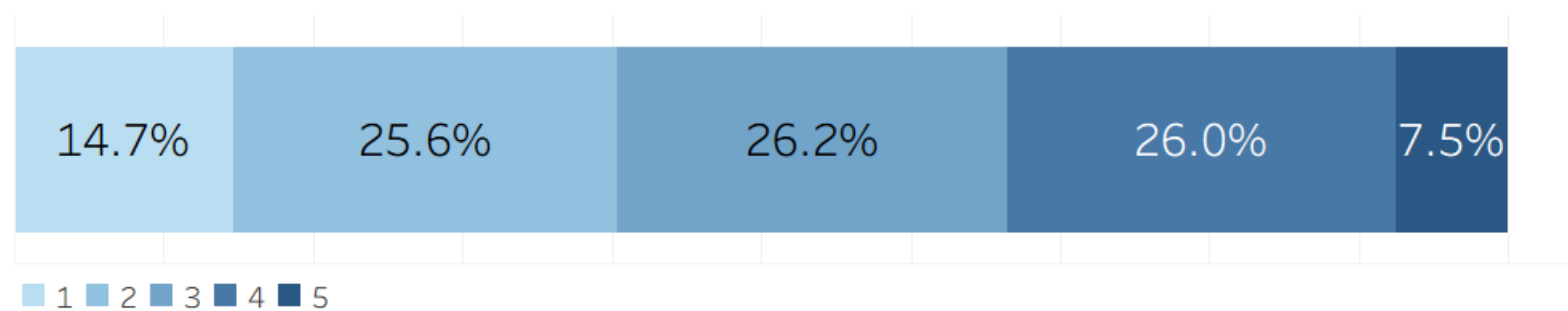
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- ・全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く26.2%、次いで「ある程度あてはまる=4」が26.0%
- ・回答が2~4に分散していることから、自慢できる都市景観がある都市とそうでない都市が県内に混在することが伺える

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	155	271	277	275	79

26. 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある

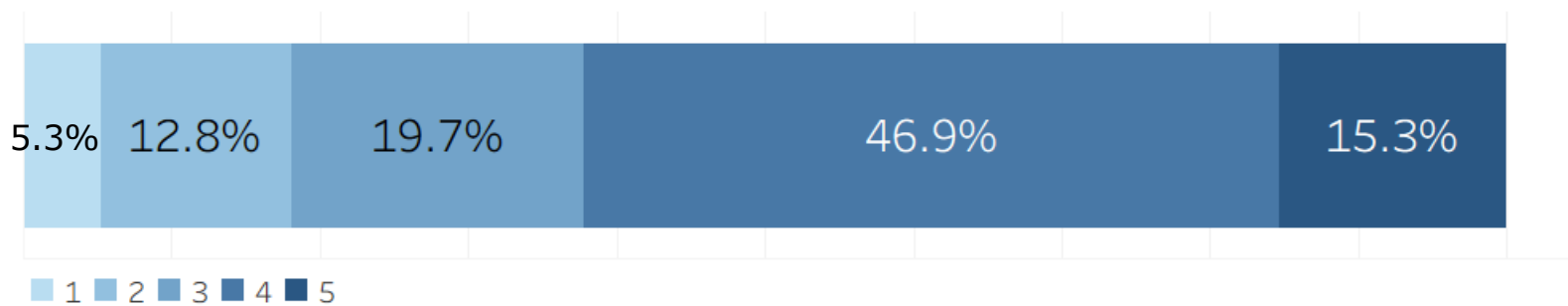
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く46.9%、次いで「どちらとも言えない=3」が19.7%

平均値



回答全体



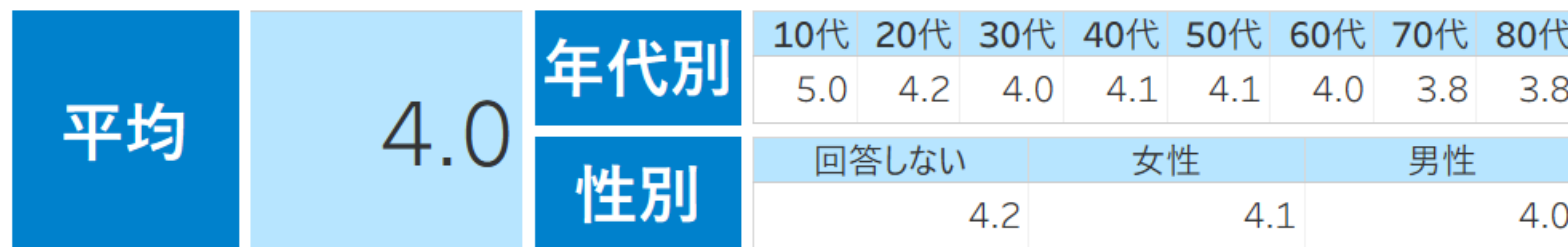
回答	1	2	3	4	5
回答数	56	135	208	496	162

27. 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる

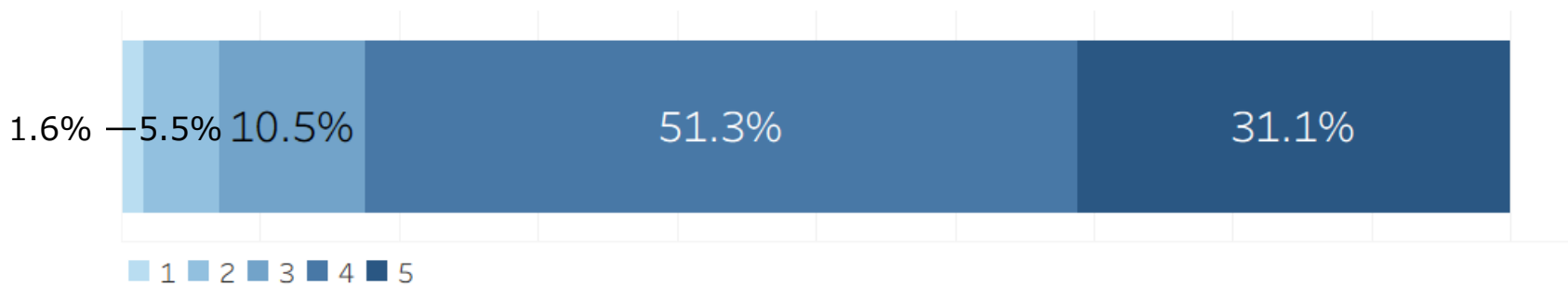
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く51.3%、次いで「非常にあてはまる」が31.1%

平均値



回答全体



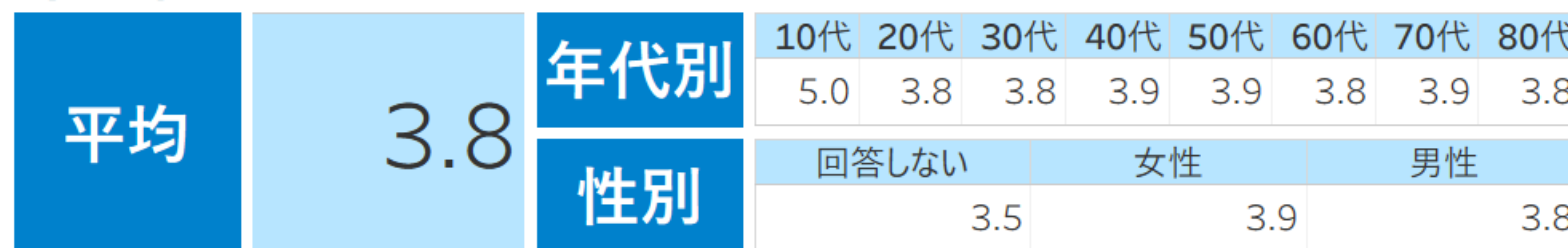
回答	1	2	3	4	5
回答数	17	58	111	542	329

28. 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

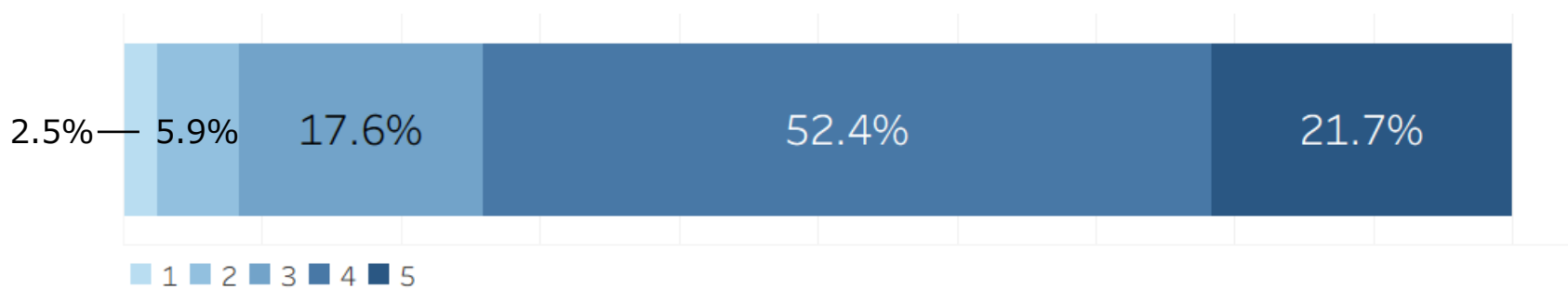
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く52.4%、次いで「非常にあてはまる=5」が21.7%

平均値



回答全体



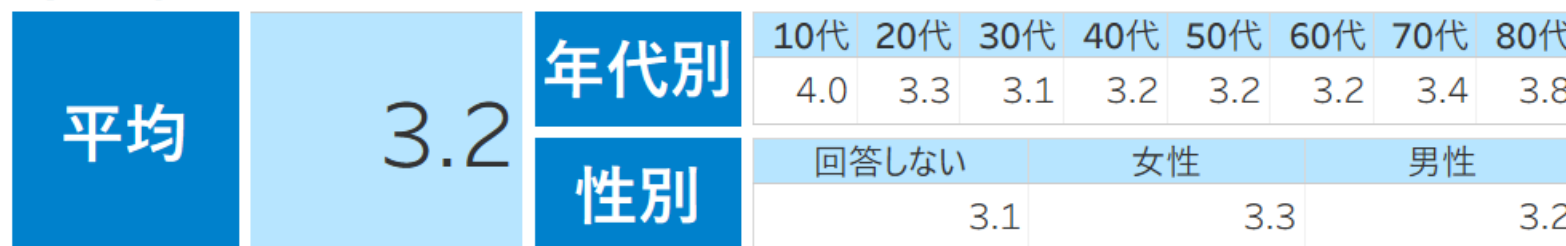
回答	1	2	3	4	5
回答数	26	62	186	554	229

29. 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである

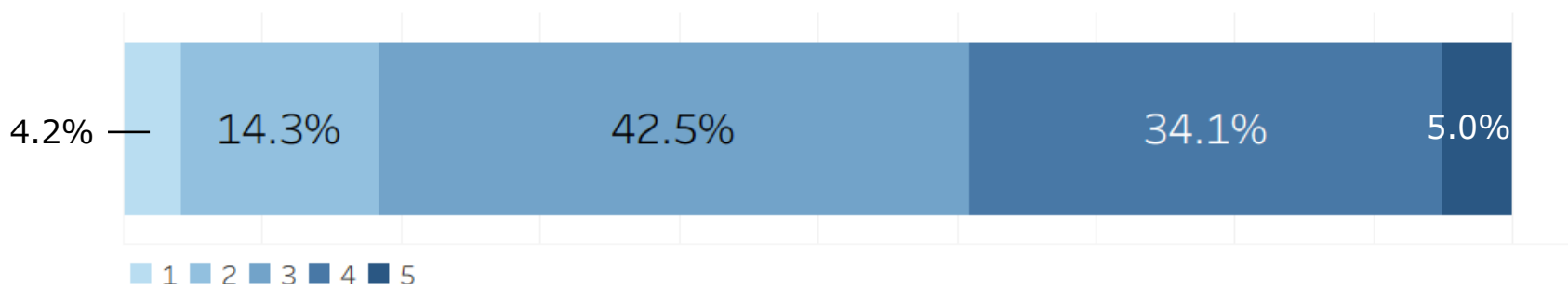
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く42.5%、次いで「ある程度あてはまる=4」が34.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	44	151	449	360	53

30. 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている（災害に関する安全・安心に関する満足度）

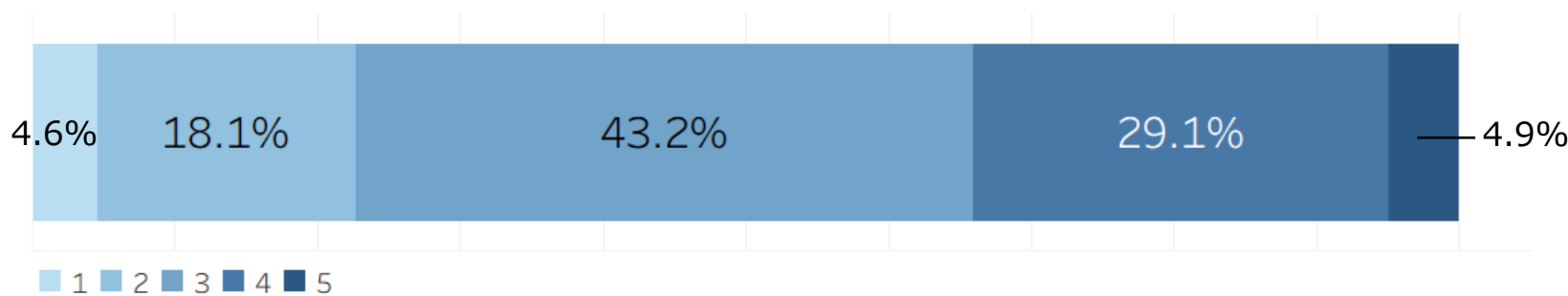
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く43.2%、次いで「ある程度あてはまる=4」が29.1%

平均値



回答全体



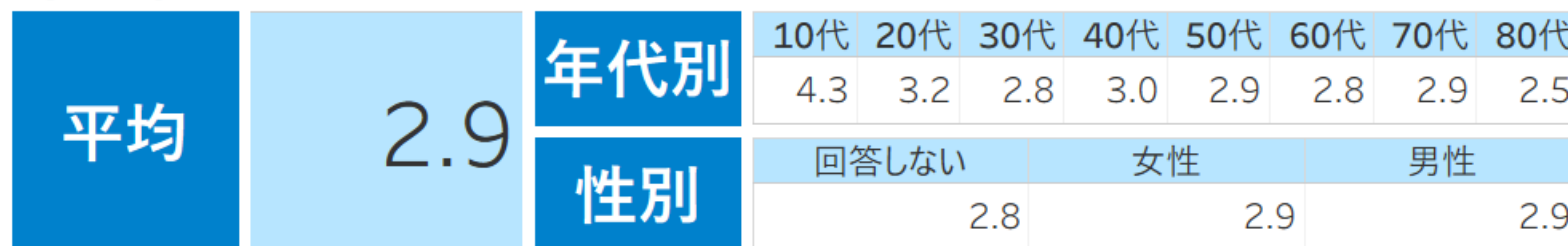
回答	1	2	3	4	5
回答数	49	191	457	308	52

31. 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい

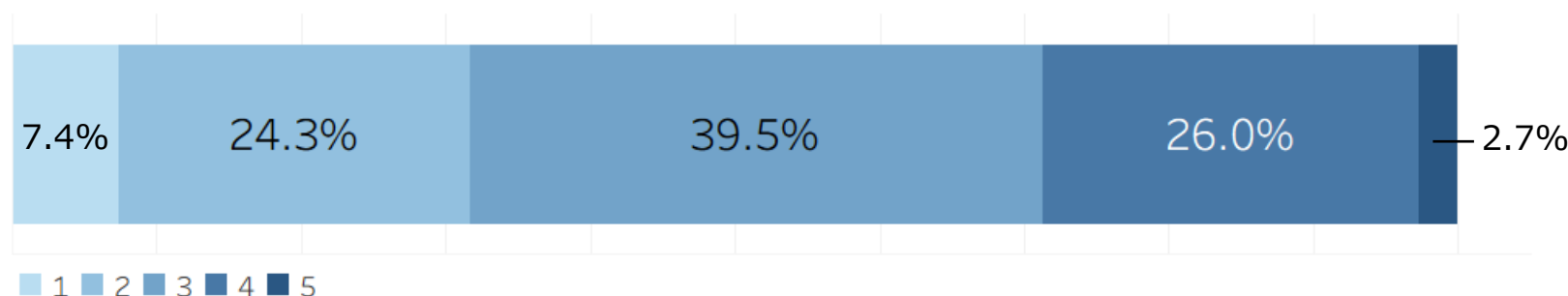
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く39.5%、次いで「ある程度あてはまる=4」が26.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	78	257	418	275	29

32. 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である

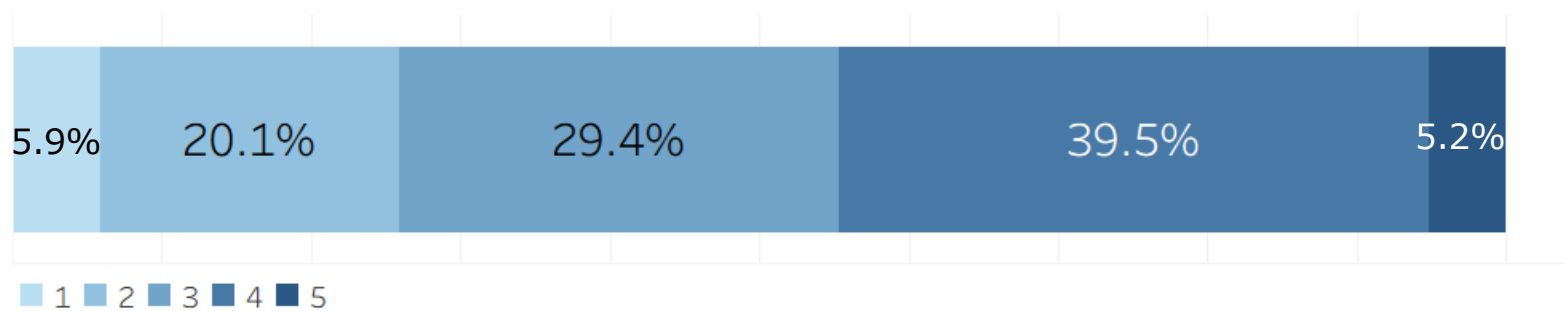
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	62	212	311	417	55

33. 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している

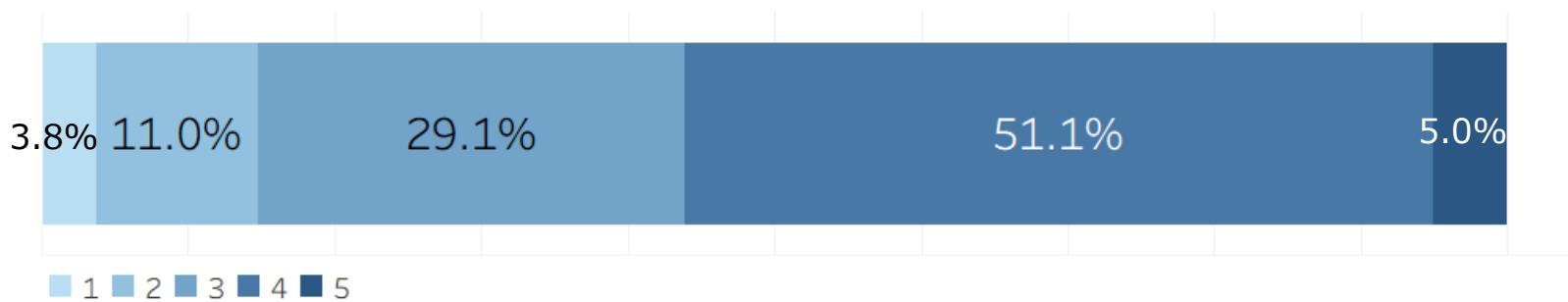
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く51.1%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	40	116	308	540	53

34. 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである

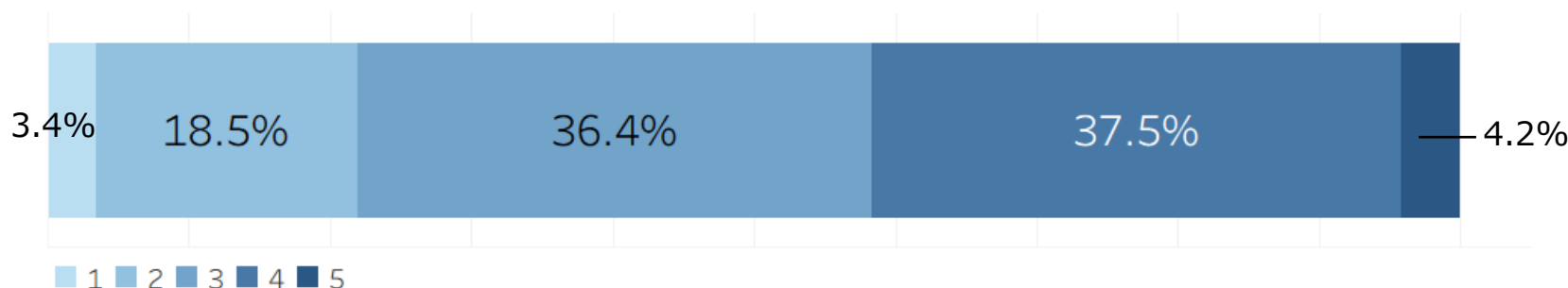
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く37.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が36.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	36	196	385	396	44

35. 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる

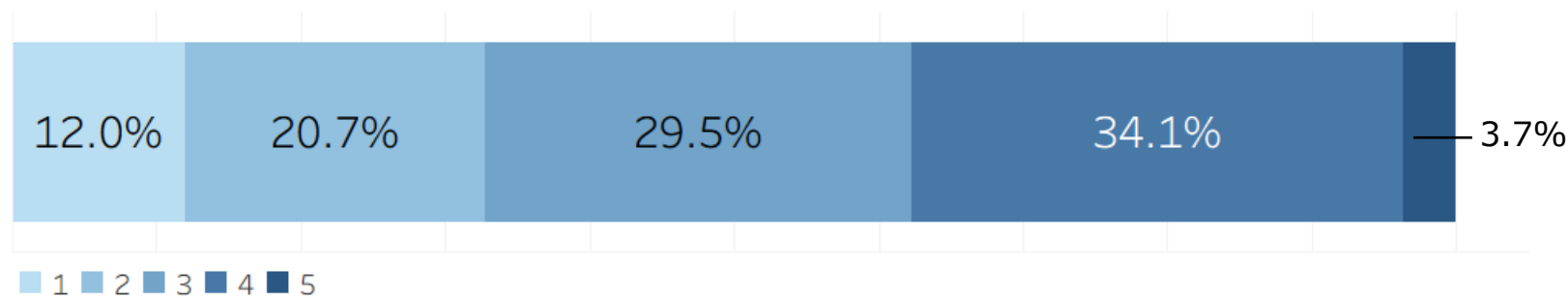
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く34.1%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.5 %

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	127	219	312	360	39

36. 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする

非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く55.3%、次いで「どちらとも言えない=3」が26.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	33	83	279	584	78

37. 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている

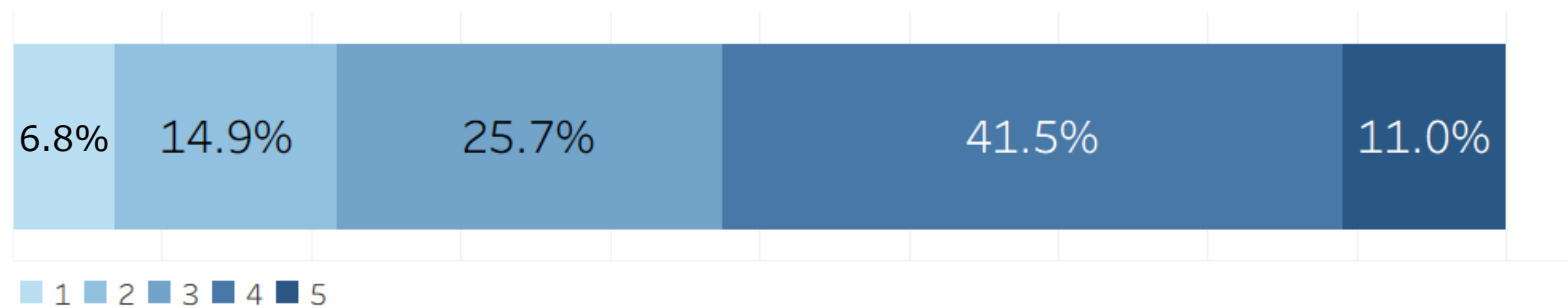
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- ・全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く41.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が25.7%
- ・年代別では20,30代よりも70代以降の平均が高い傾向

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	72	158	272	439	116

38. この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

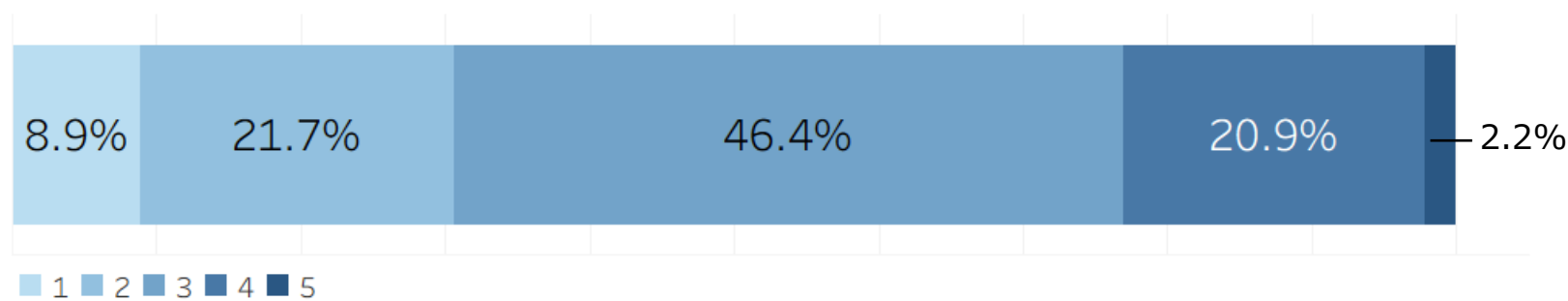
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く46.4%、次いで「あまりあてはまらない=2」が21.7%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	94	229	490	221	23

39. 私は、見知らぬ他者であっても信頼する

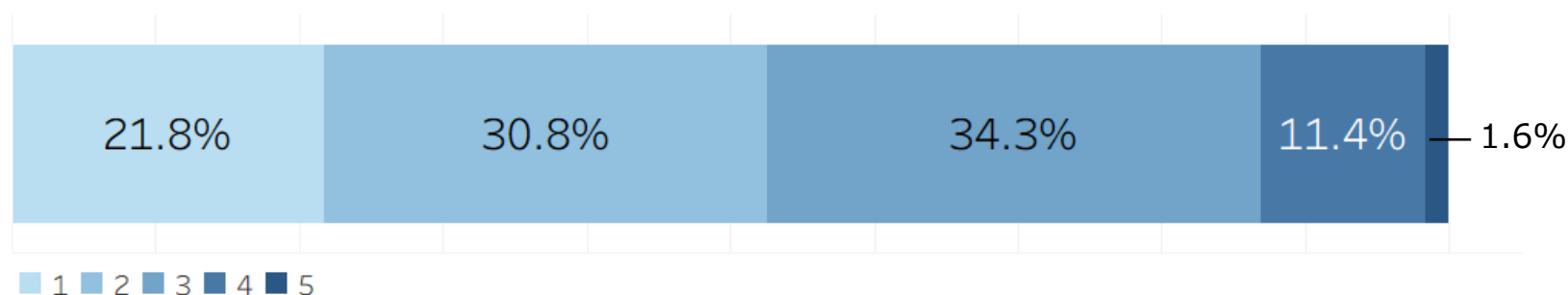
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く34.3%、次いで「あまりあてはまらない=2」が30.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	230	326	363	121	17

40. 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる

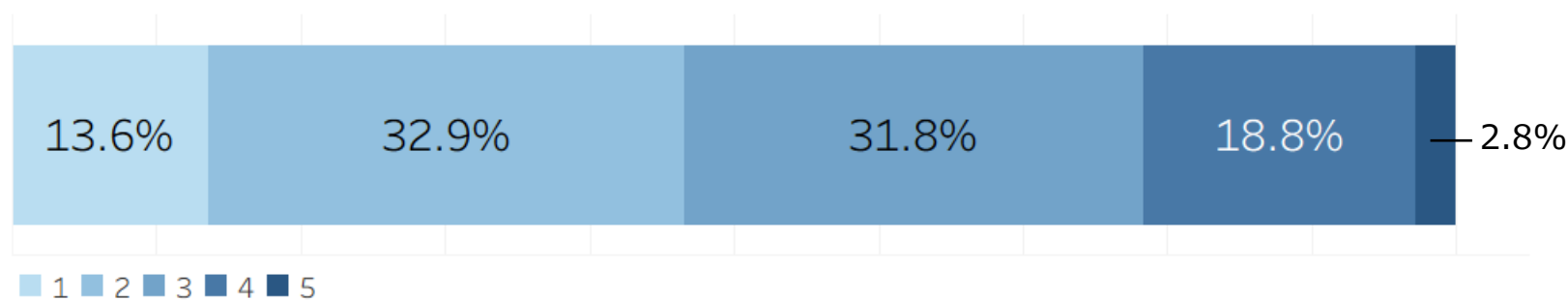
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く32.9%、次いで「どちらとも言えない=3」が31.8%

平均値



回答全体



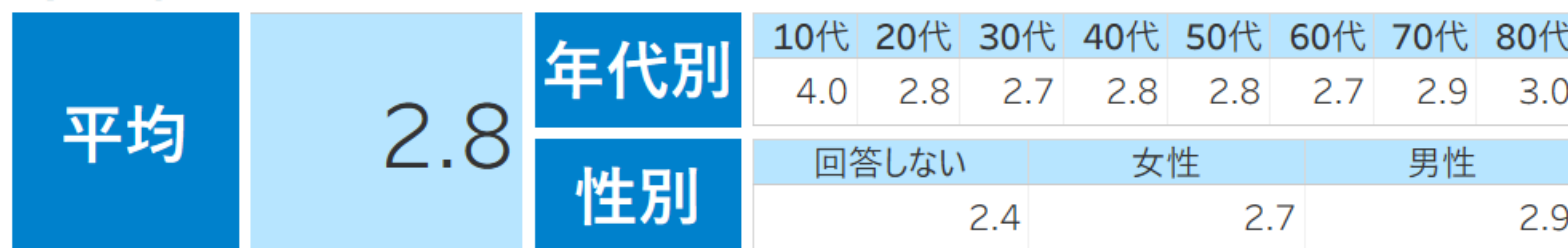
回答	1	2	3	4	5
回答数	144	348	336	199	30

41. 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある

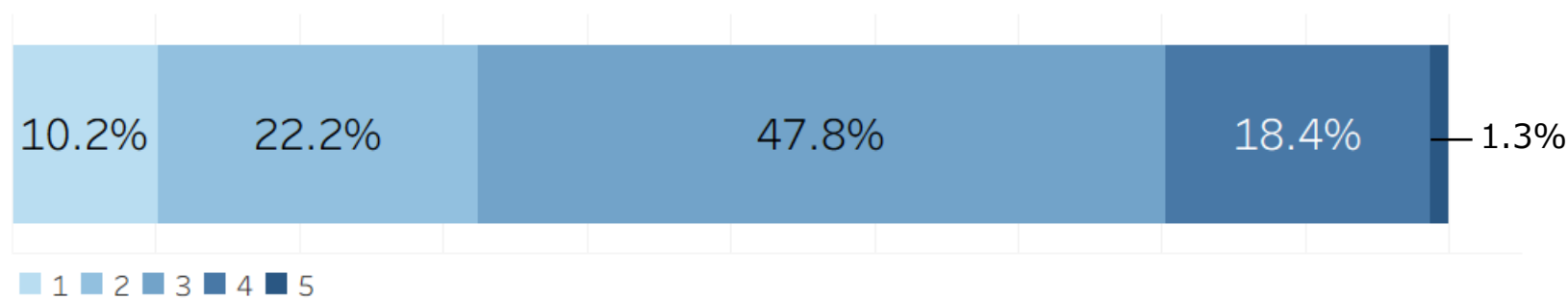
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く47.8%、次いで「あまりあてはまらない=2」が22.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	108	235	505	195	14

42. 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある

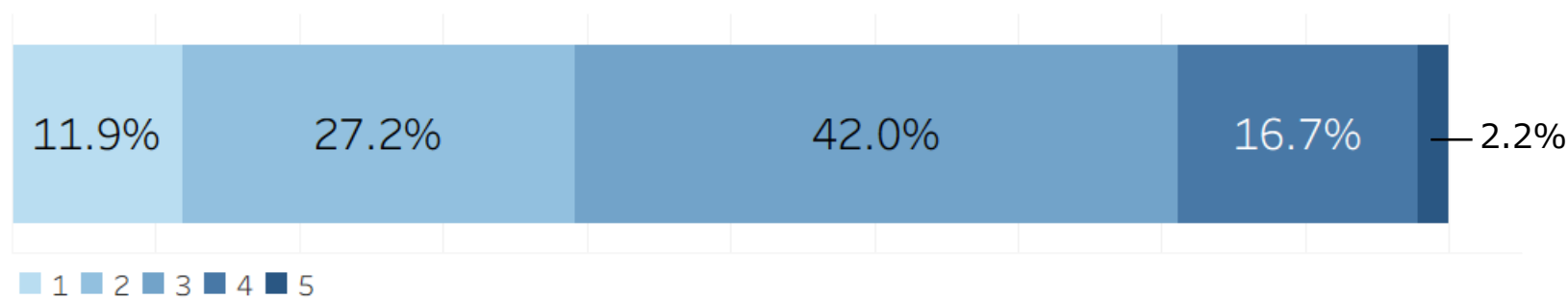
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く42.0%、次いで「あまりあてはまらない=2」が27.2%

平均値



回答全体



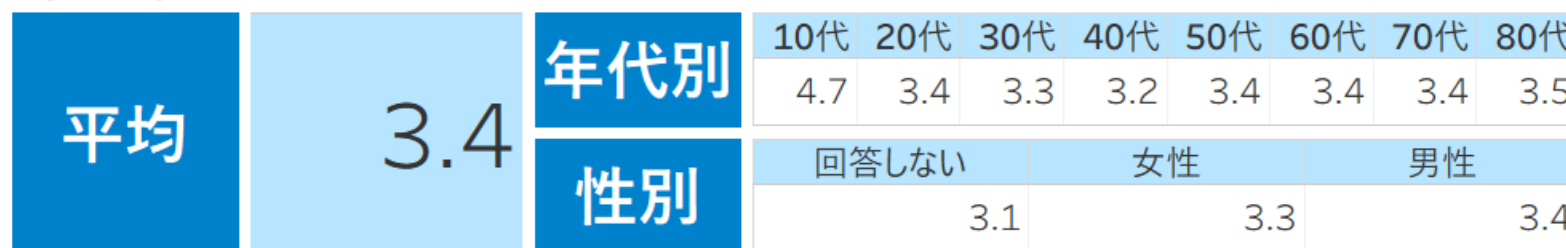
回答	1	2	3	4	5
回答数	126	288	444	176	23

43. 自分のことを好ましく感じる

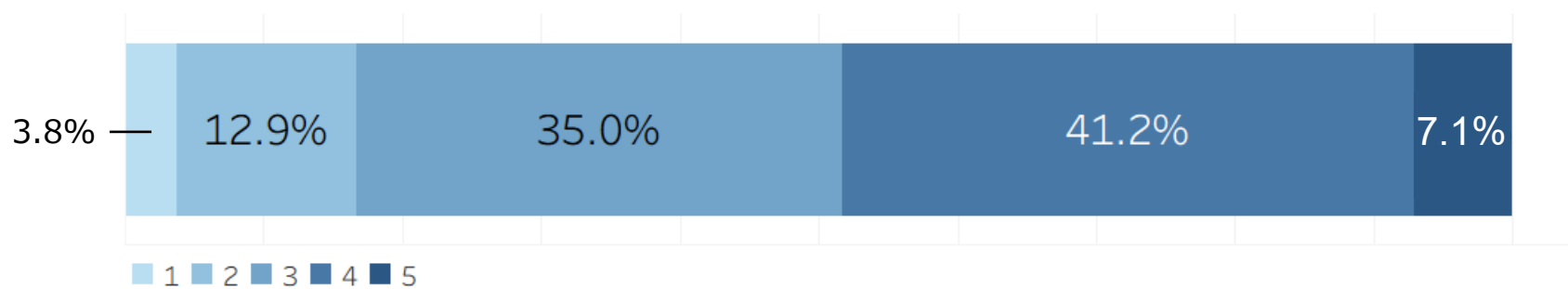
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く41.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が35.0%

平均値



回答全体



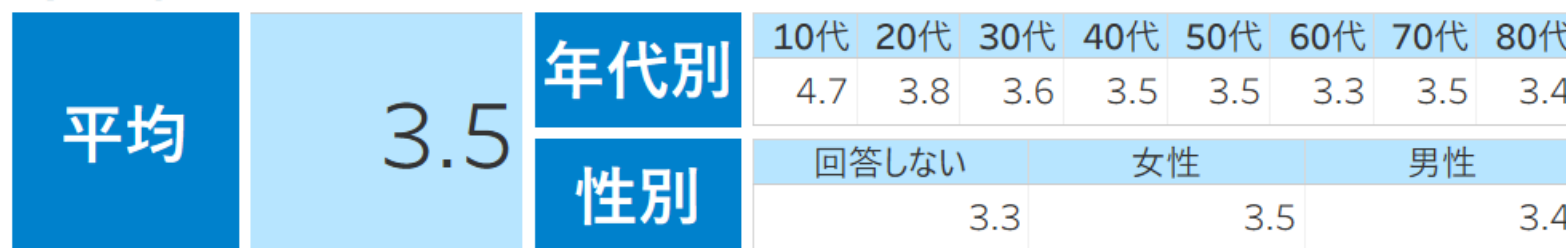
回答	1	2	3	4	5
回答数	40	136	370	436	75

44. 私は、身体的に健康な状態である

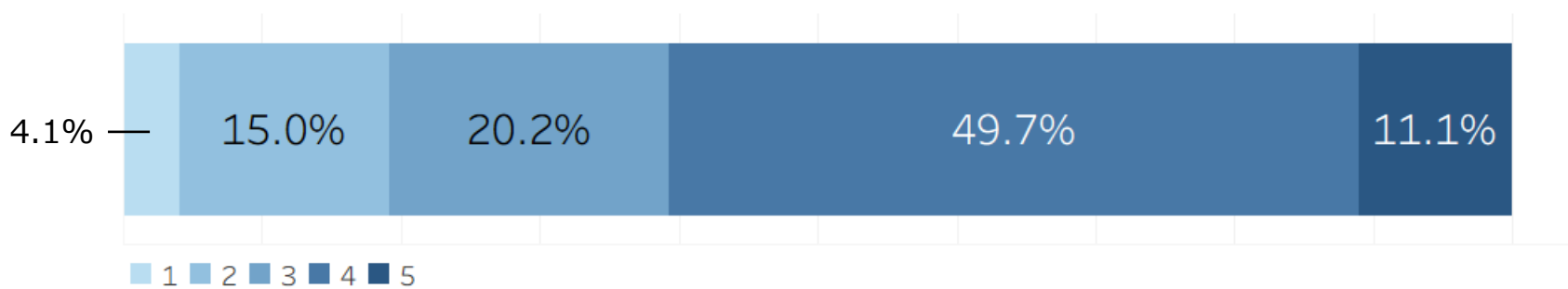
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く49.7%、次いで「どちらとも言えない=3」が20.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	43	159	213	525	117

45. 私は、精神的に健康な状態である

非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く50.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が20.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	40	131	220	531	135

46. 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい

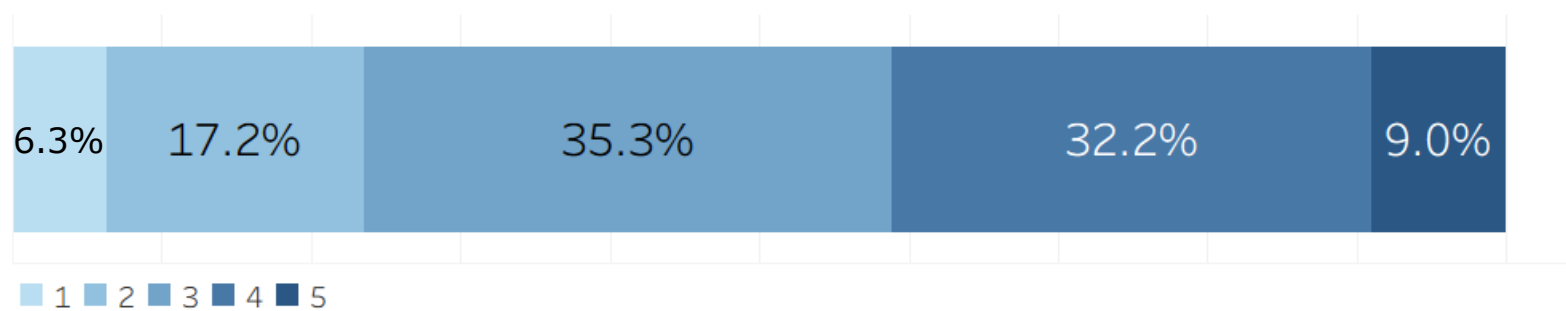
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く35.3%、次いで「ある程度あてはまる=4」が32.2%

平均値



回答全体



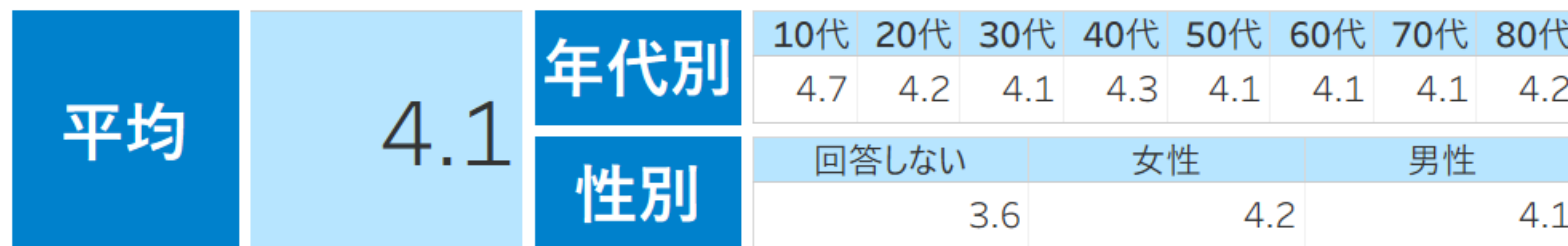
回答	1	2	3	4	5
回答数	67	182	373	340	95

47. 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

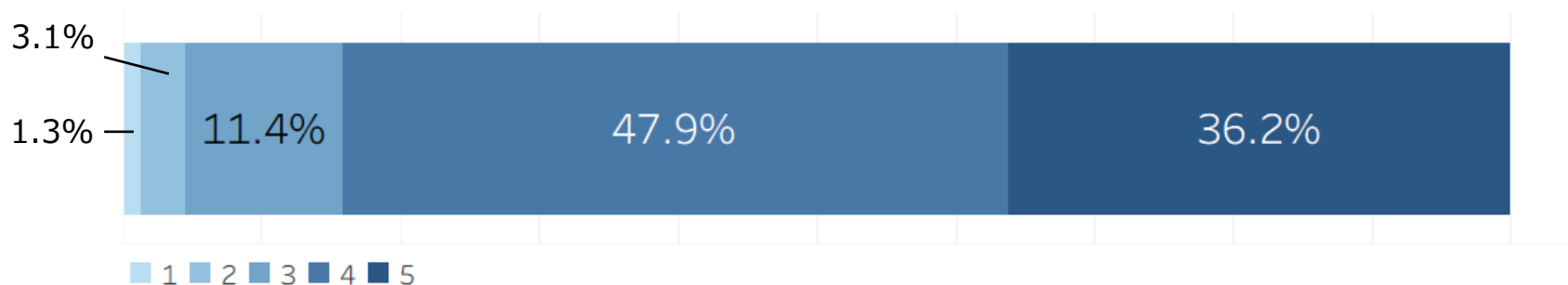
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く47.9%、次いで「非常にあてはまる=5」が36.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	14	33	121	506	383

48. 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある

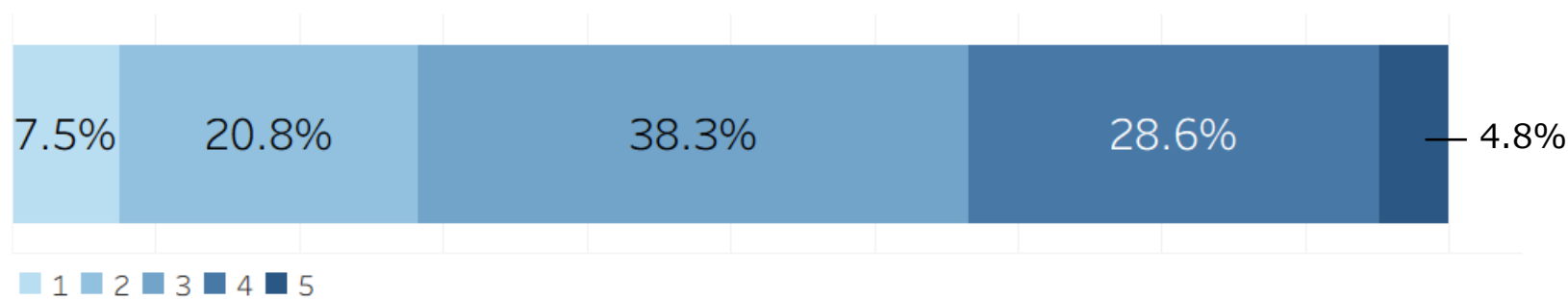
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く38.3%、次いで「ある程度あてはまる=4」が28.6%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	79	220	405	302	51

49. 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい

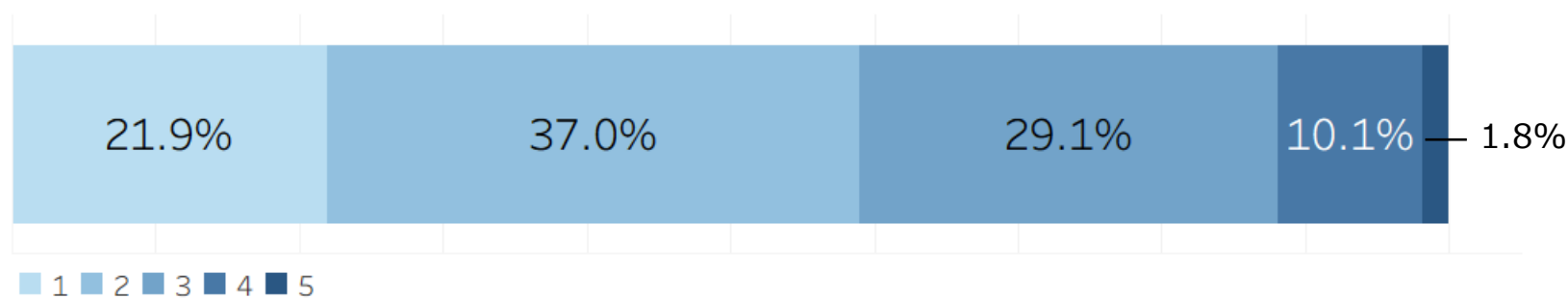
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く37.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	232	391	308	107	19

50. 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある

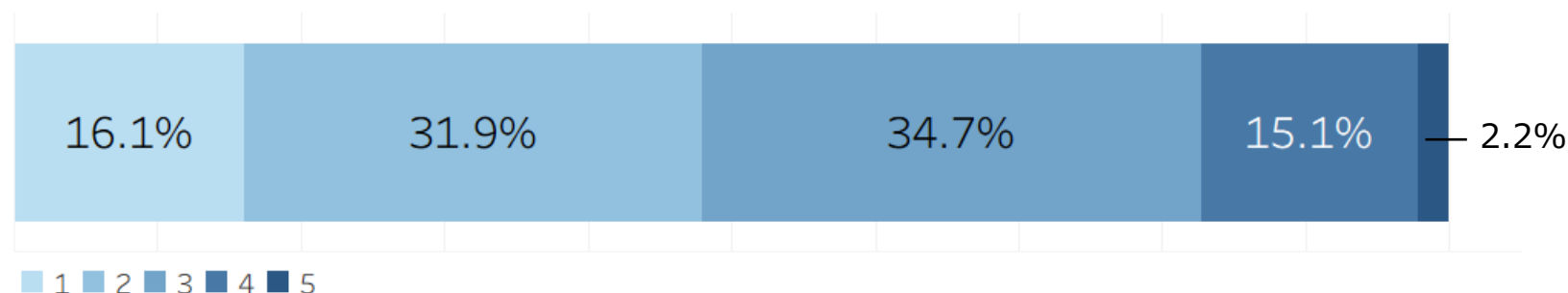
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く34.7%、次いで「あまりあてはまらない=2」が31.9%

平均値



回答全体



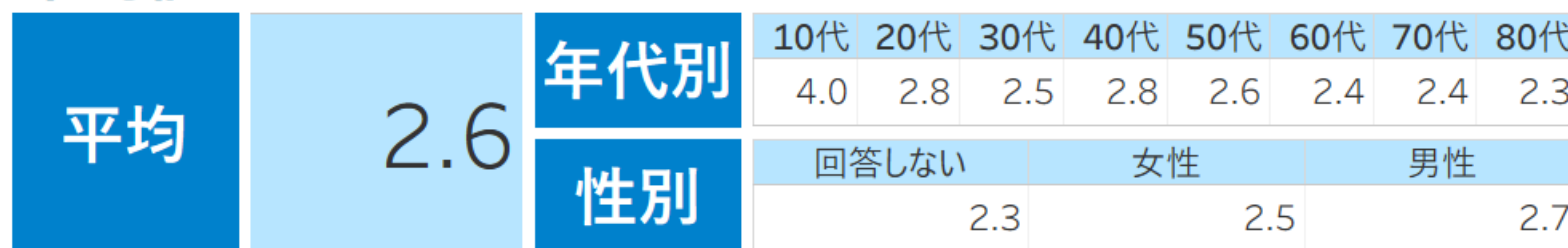
回答	1	2	3	4	5
回答数	170	337	367	160	23

51. 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

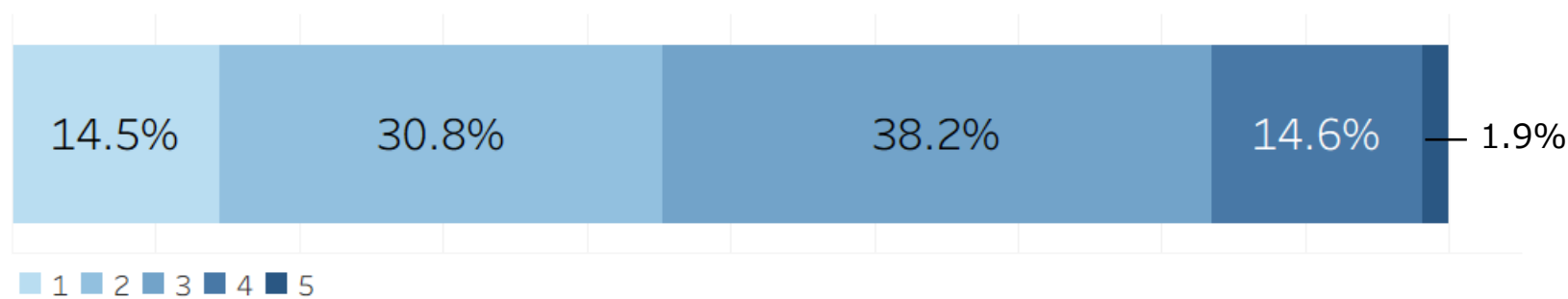
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く38.2%、次いで「あまりあてはまらない=2」が30.8%

平均値



回答全体



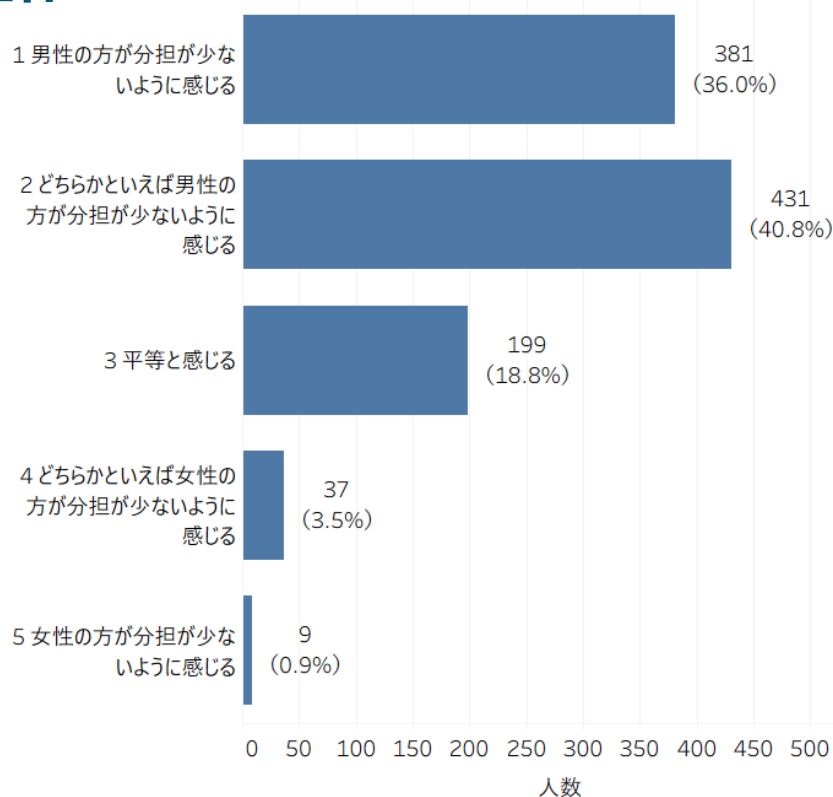
回答	1	2	3	4	5
回答数	153	326	404	154	20

2. 注目指標（女性活躍・デジタル化・防災） に関する設問による県民の声把握

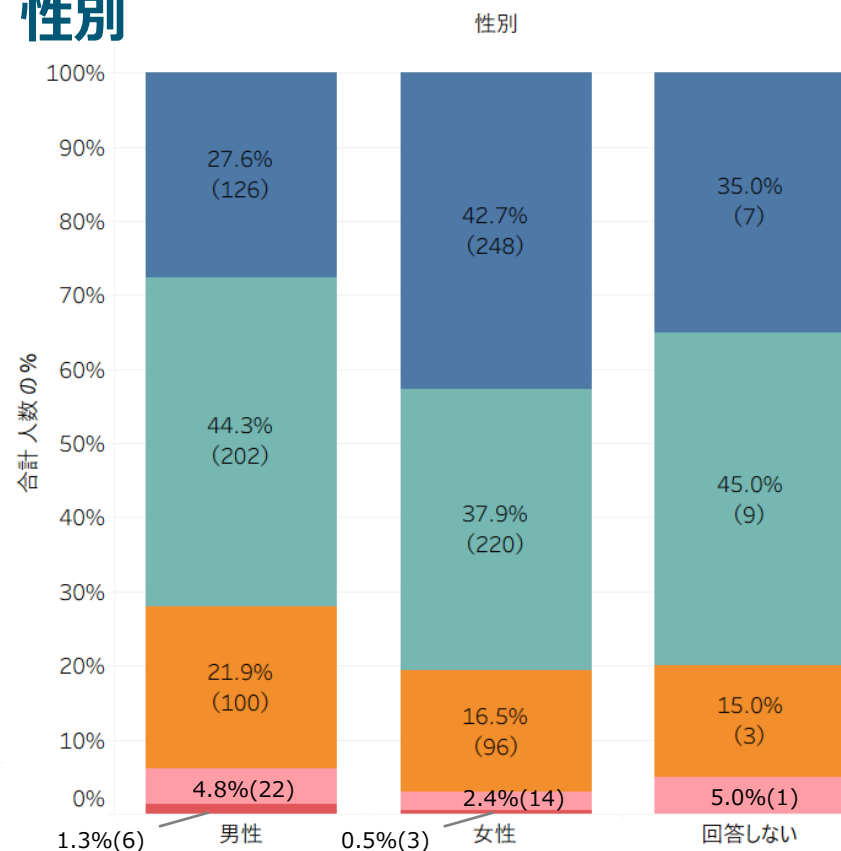
52. 家庭での男女の家事分担は平等になっていると思いますか

- 全体では「どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる」が最も多く40.8%
- 男女間での「平等と感じる」割合の差は昨年より小さくなっているものの、平等と感じている人は20%弱に留まる

全体



性別

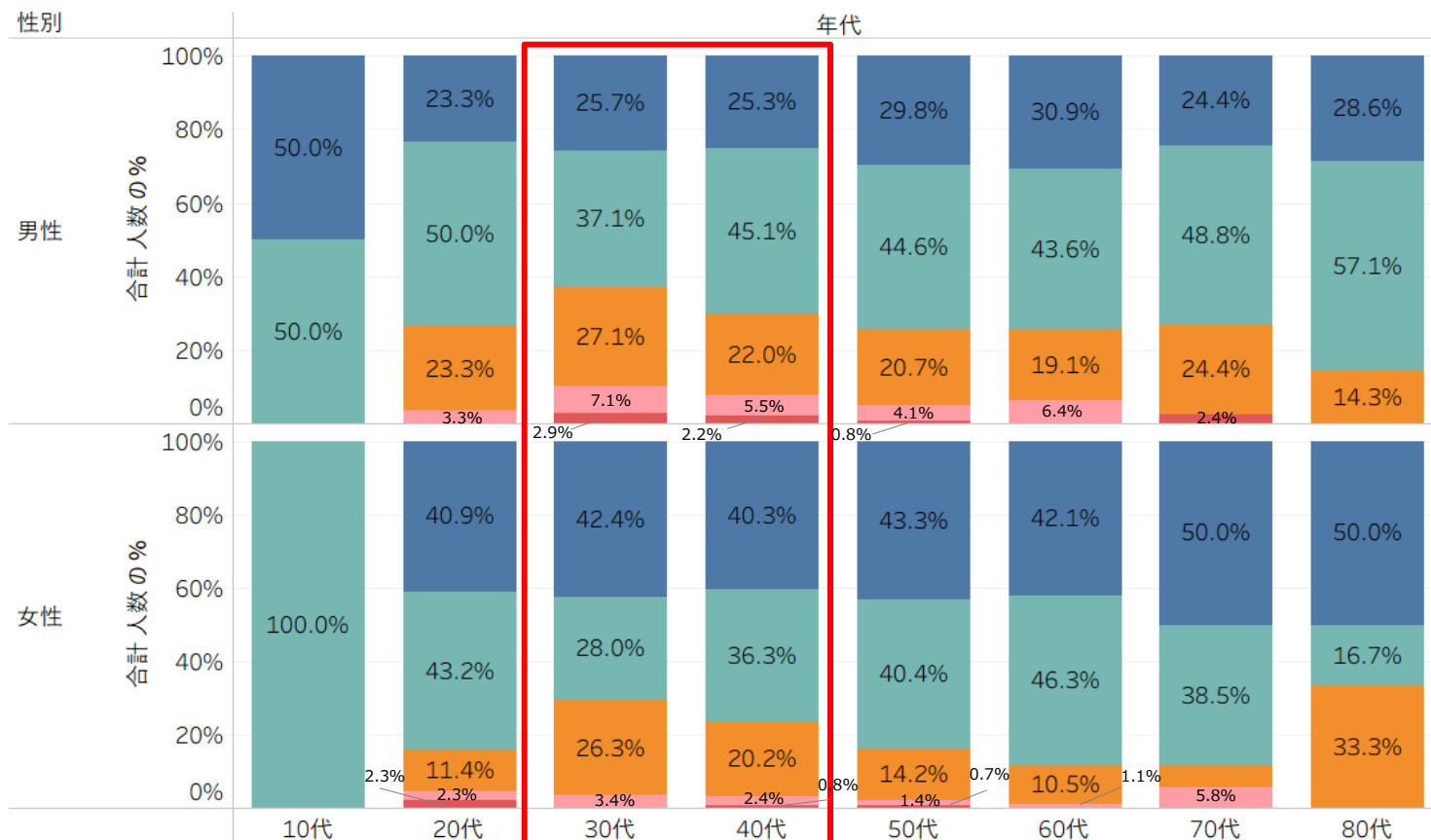


- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

52. 家庭での男女の家事分担は平等になっていると思いますか

家庭を持つ人が増えると思われる30代以降において、30,40代の「平等と感じる」人の割合は他の年代より高く、男女間での差も小さい。男女ともに「男性の方が少ない」と感じている人が60%を超えるが、上手く分担している家庭も増えている可能性がある。

性別×年代



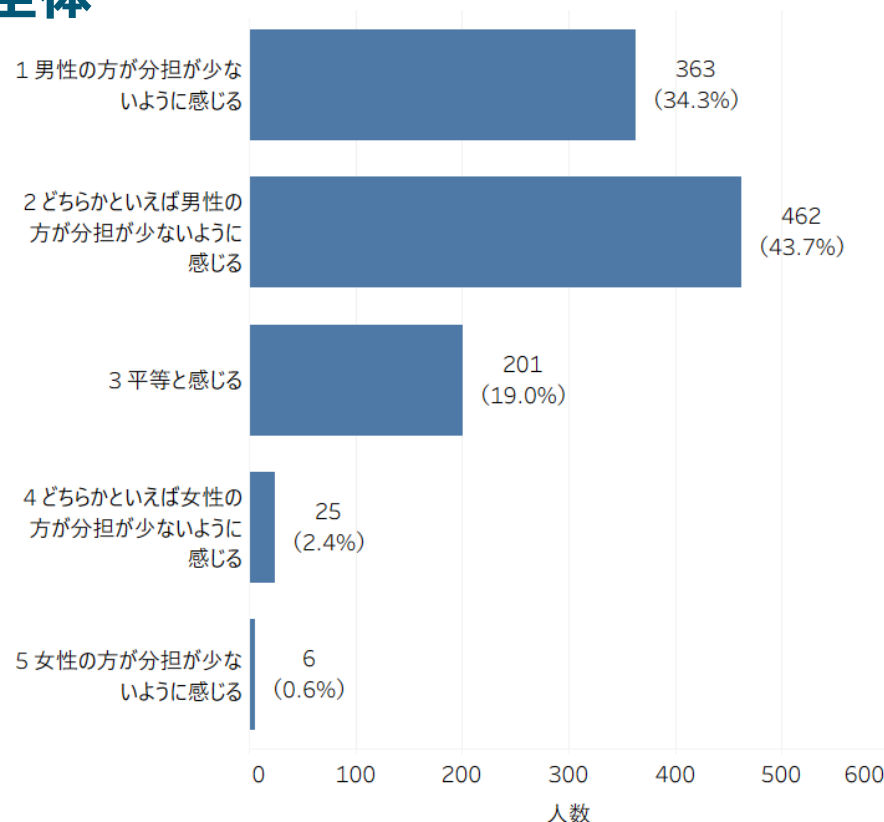
- 1 男性の方が負担が少ないと感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が負担が少ないと感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が負担が少ないと感じる
- 5 女性の方が負担が少ないと感じる

※ 性別「回答しない」を除く
※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

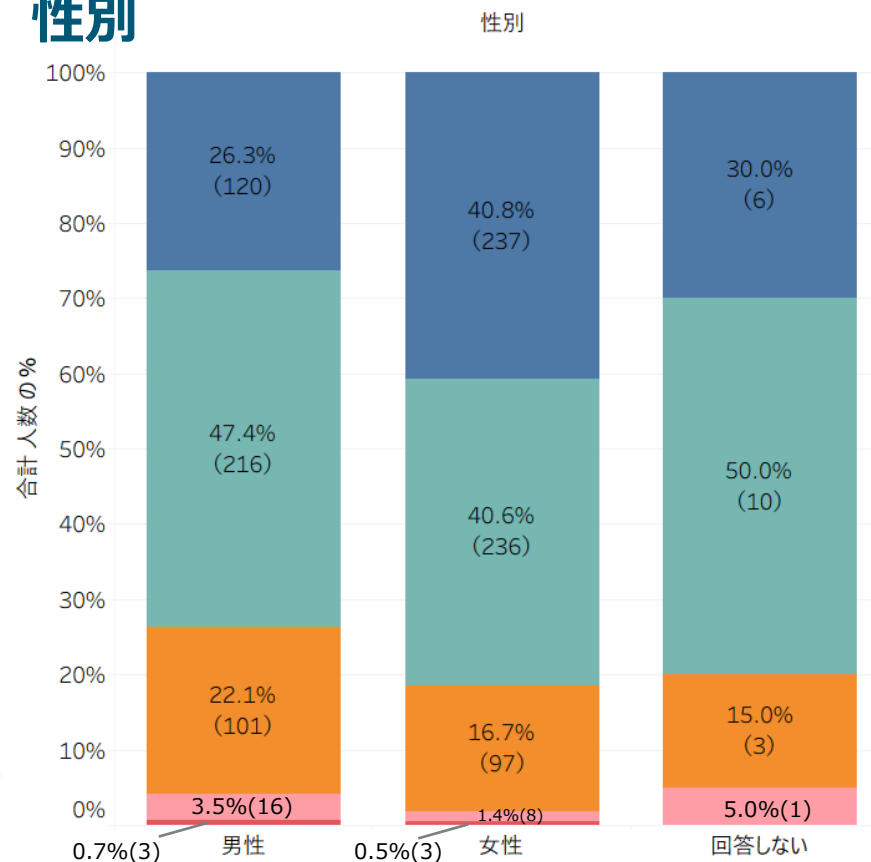
53. 家庭での男女の育児分担は平等になっていると思いますか

- 全体では「どちらかというとも男性の方が分担が少ないように感じる」が最も多く43.7%
- 次いで「男性の方が分担が少ないように感じる」が多く34.3%

全体



性別

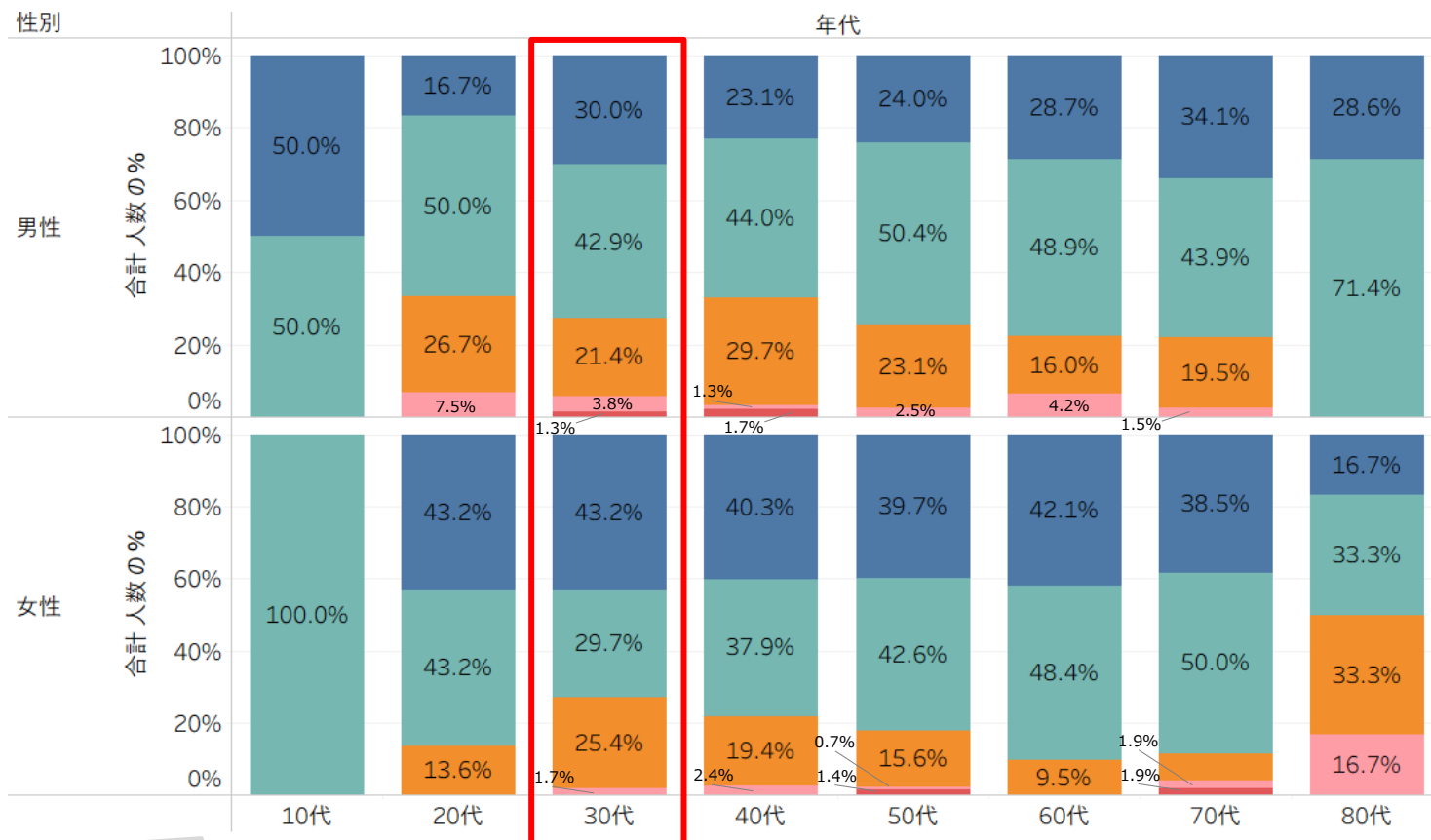


- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

53. 家庭での男女の育児分担は平等になっていると思いますか

30代において「平等と感じる」割合は女性の方が高い。育児分担の意識変化、もしくは世帯構成や子の有無の割合変化による結果とも考えられる。

性別×年代



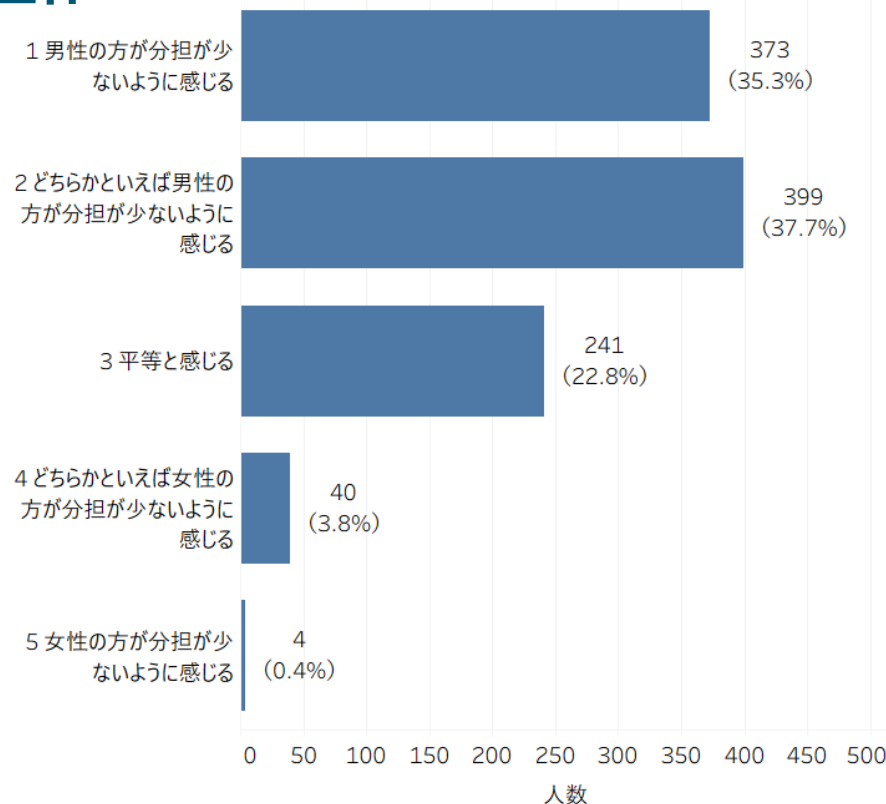
- 1 男性の方が負担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる
- 5 女性の方が負担が少ないように感じる

※ 性別「回答しない」を除く
※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

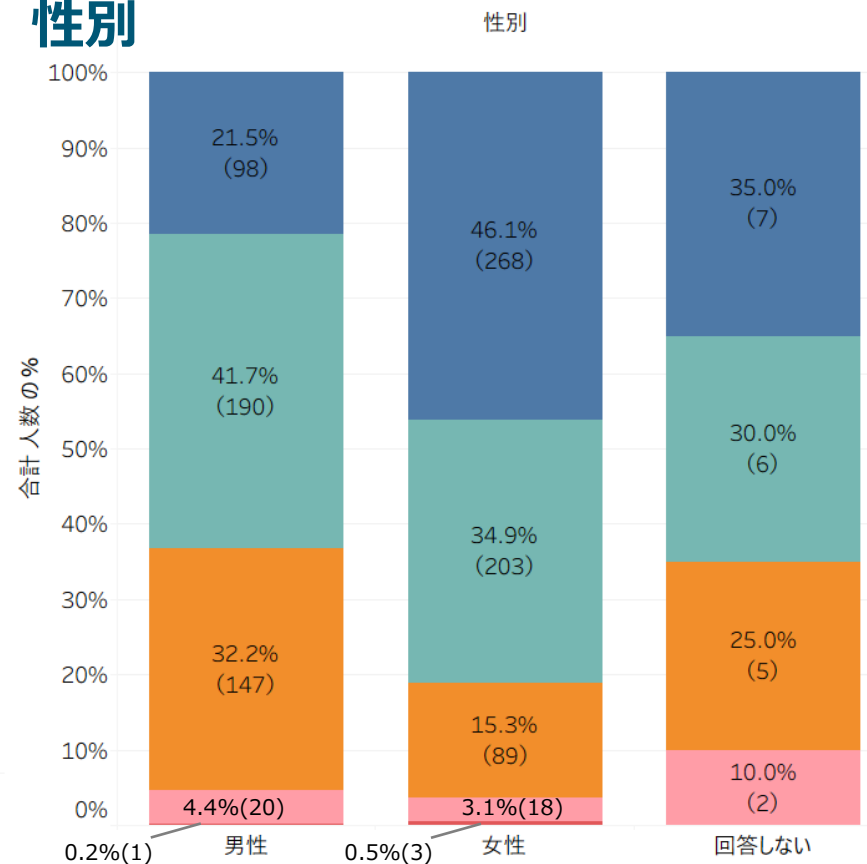
54. 家庭での男女の介護分担は平等になっていると思いますか

- 全体では「どちらかというと男性の方が分担が少ないように感じる」が最も多く37.7%
- 家事、育児と比べ、男女間で「平等と感じる」人の割合に差がある

全体



性別

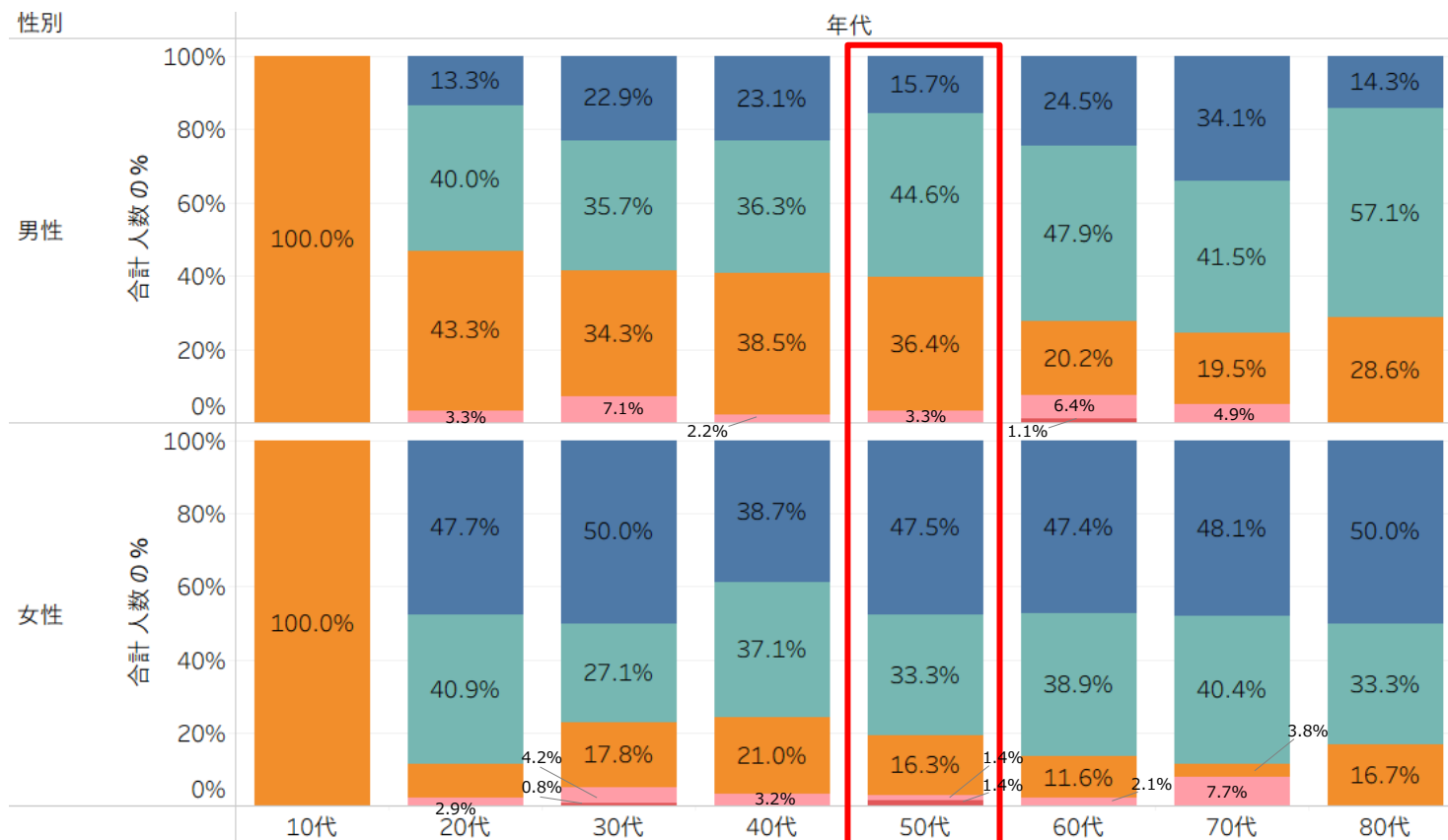


- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

54. 家庭での男女の介護分担は平等になっていると思いますか

特に介護をする人が増える傾向にある50代では、男女間で「平等と感じる」割合に約20ポイントの差がある。今後さらに増えると考えられる介護者の負担軽減や分担が課題になってくる可能性あり。

性別×年代



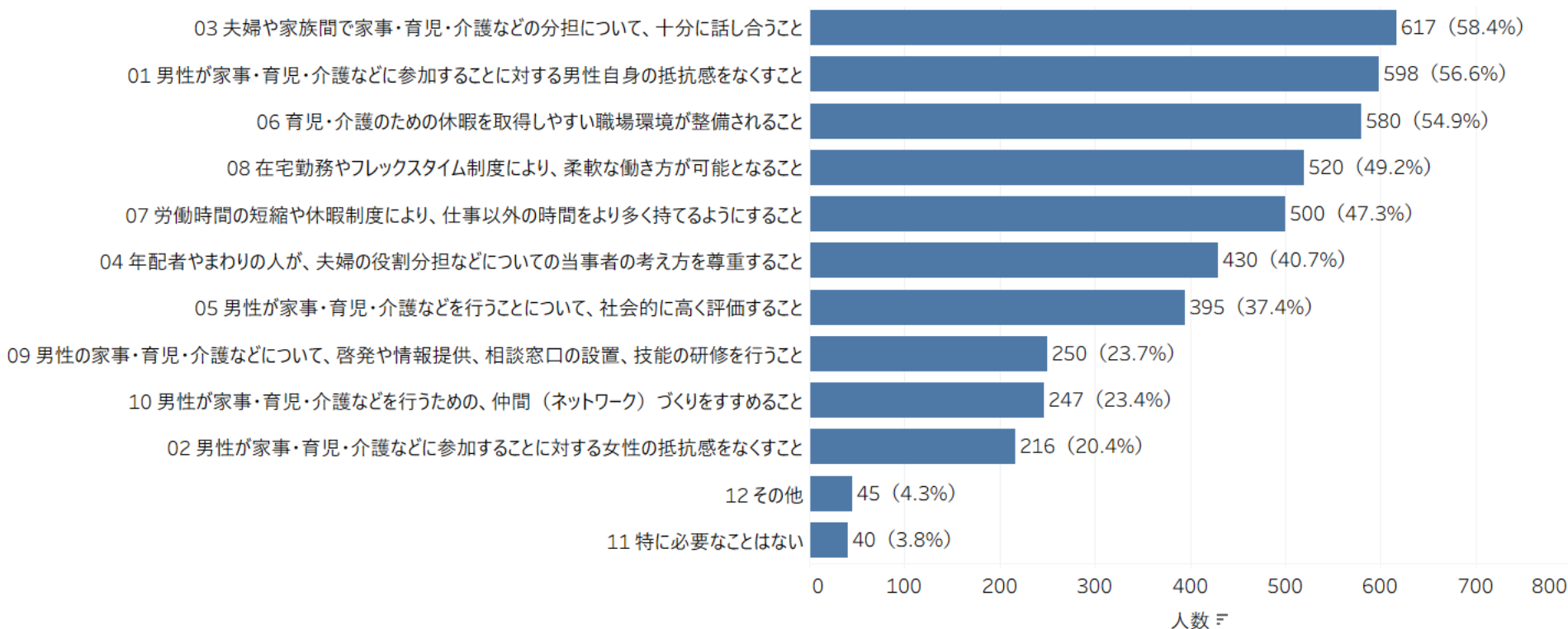
- 1 男性の方が負担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる
- 5 女性の方が負担が少ないように感じる

※ 性別「回答しない」を除く
※ 10代、80代は回答人数が少ないため参考値

55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

- ・ 「夫婦や家族間で家事・育児・介護などの分担について、十分に話し合うこと」が最も多く58.4%
- ・ 次いで「男性が家事・育児・介護などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が56.6%

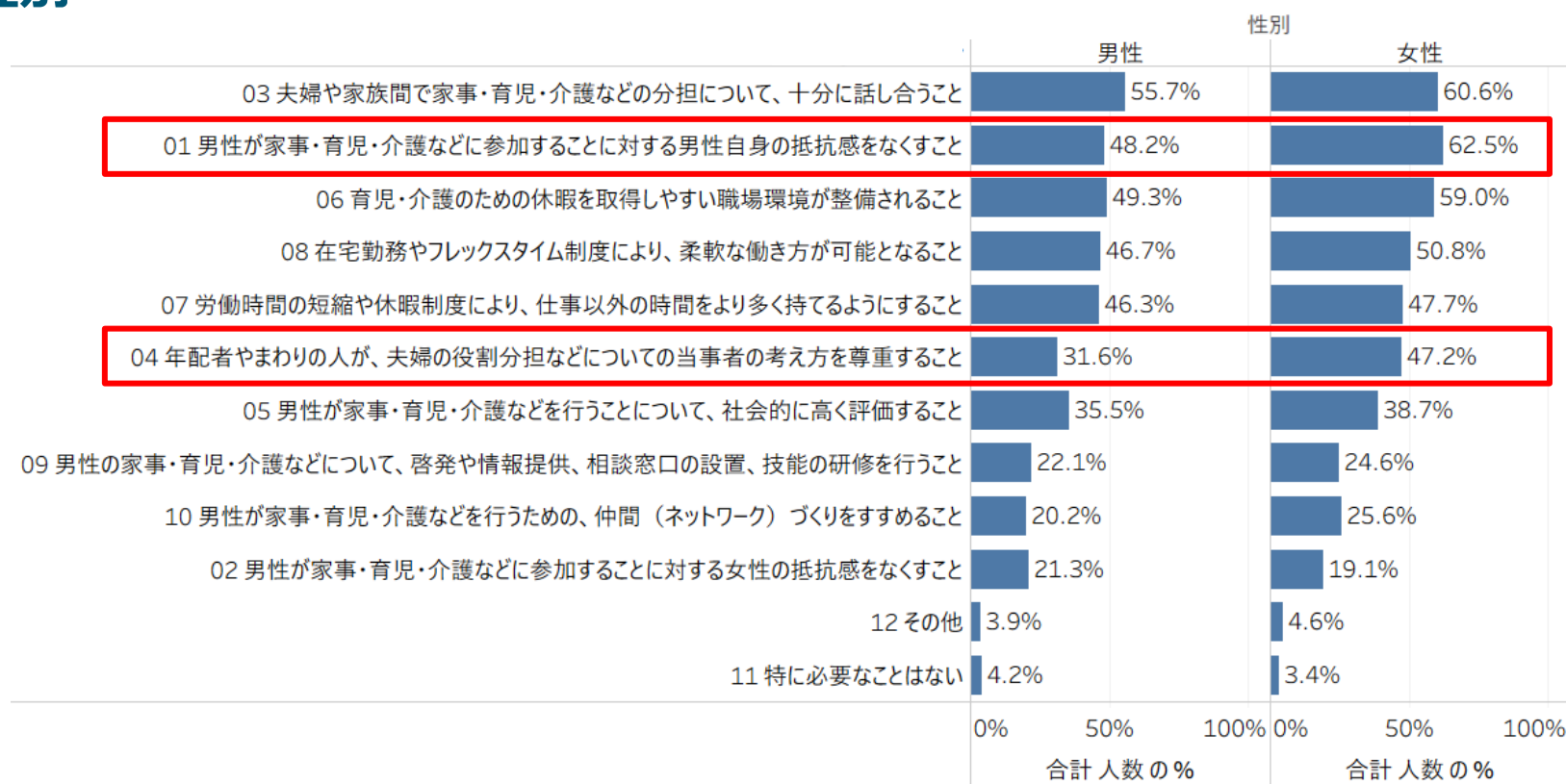
全体



55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

男女間で10ポイント以上の差がある項目は、男性自身の意識やまわりの人たちの意識・考え方に関する項目である。職場環境や制度に関しては、男女ともに50%前後の人が必要であると回答している。

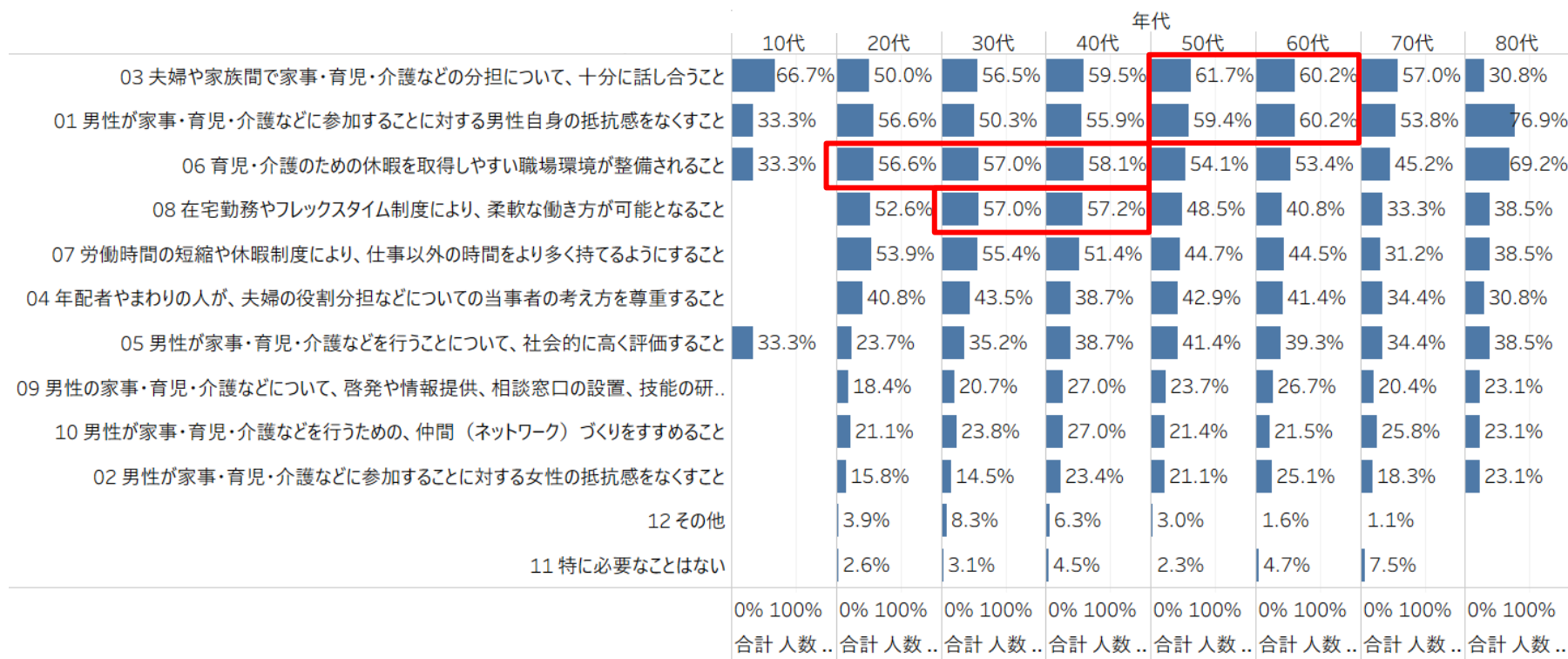
性別



55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

- 50代以上は意識の変化を求める声が多い傾向がある
- 一方で30代を中心とした比較的若い世代は、職場環境の整備や制度の改革などを求める声が多い

年代



55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

多くの年代で、男性の家事・育児への意識改革や、それを支える職場制度の改善を求める声が上がった。選択肢回答では「男性の抵抗感をなくすこと」と「職場制度の整備」が中心だった一方、自由記述では、柔軟な働き方と収入保障によって家庭と仕事を両立できる環境づくりを求める意見が目立った。

その他（自由記述）※生成AIによるキーワード抽出・意見整理

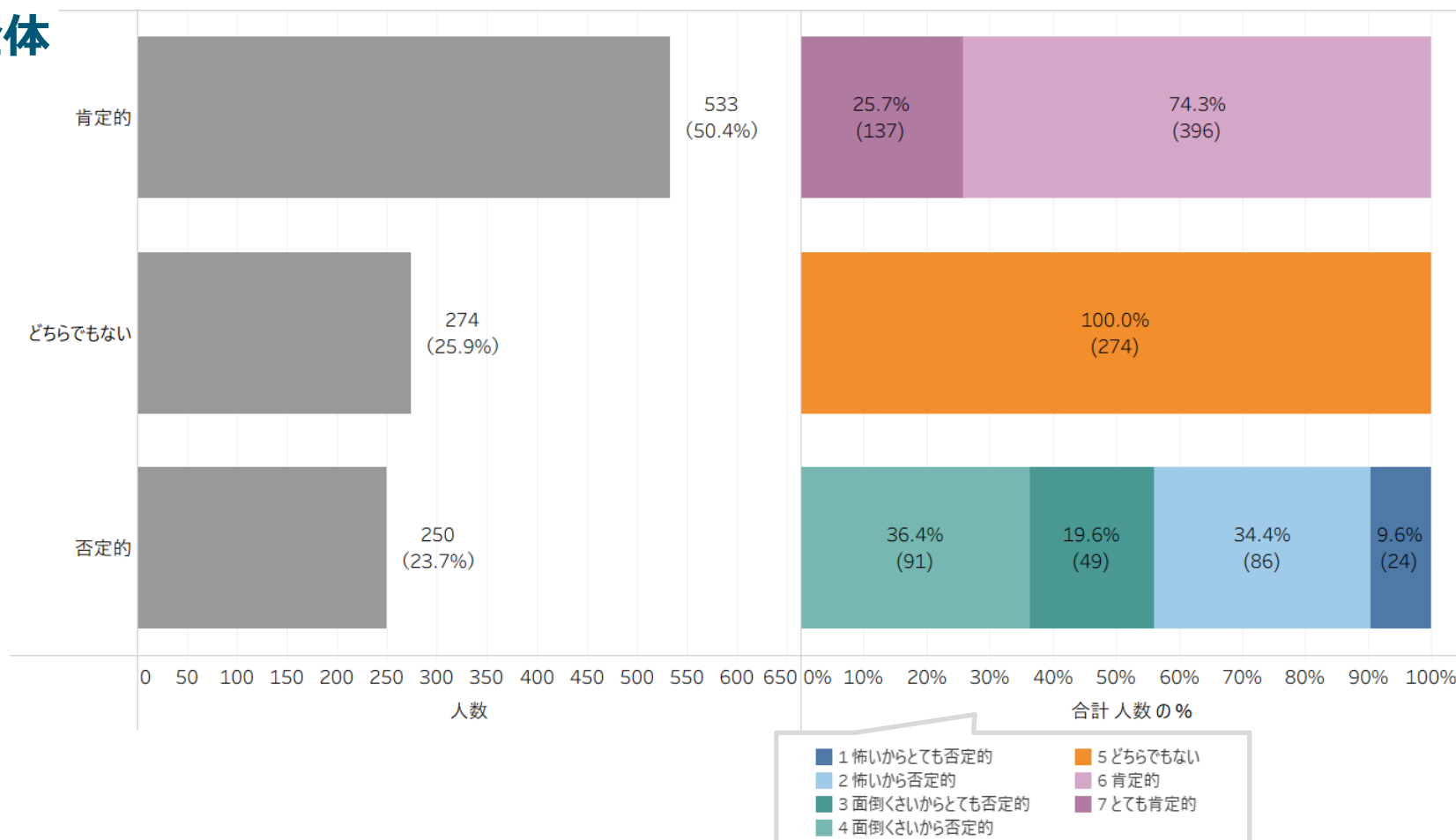
年代	性別	キーワード1	キーワード2	傾向のまとめ
30代	男性	収入の改善と経済的支援の確保	意識改革と教育の必要性	シフト勤務をしなくても生活できる賃金や収入増による精神的安定を求める声があり、経済的余裕が参加への前提条件になっていることがうかがえる。一方で、日本の伝統的なやり方を尊重すべきで欧米の真似をする必要はないとする意見もあり、価値観への賛否が分かれた。
	女性	意識改革と教育の必要性	職場制度・労働環境の整備	男性が家事や育児を自分のこととして捉えられるよう教育や意識改革を進めるべきだという意見が多く、幼少期からの教育や地域の話し合い、メディアでの周知が求められている。また、企業や行政を評価する仕組みづくりや週休3日制など、家庭と両立しやすい職場環境の整備を求める声も多かった。
40代	男性	収入の改善と経済的支援の確保	意識改革と教育の必要性	男女間や職種間の収入格差をなくし、十分な金銭的補償や生活支援を行うことで家計を支える基盤を整えるべきという意見が多かった。また、家事・育児は家族全員の義務であり、男性が家庭で動くことが当たり前になるよう社会全体の雰囲気を変えていく必要があると強調されている。
	女性	意識改革と教育の必要性	職場制度・労働環境の整備	収入や介護支援、柔軟な労働環境の整備を求めている。性別役割意識の根強さや男女平等の実現の難しさも指摘している。
50代	男性	意識改革と教育の必要性	職場制度・労働環境の整備	古い価値観を押し付けるリーダーへの批判や、男性のやり方を女性が認めるべきだとする意見など、意識の持ち方に関するコメントが目立った。また、社会全体や職場が男性の家事・育児参加を支援する理解を示すことが必要だという意見もあった。
	女性	意識改革と教育の必要性	ジェンダー平等推進と女性の社会進出支援	家事や育児は男性自身の役割であり「やってあげている」と評価する必要はないという意見が多く、男性の意識改革や健康面の維持が求められた。また、地域に残る男尊女卑的な価値観が女性の社会進出を阻んでいるとの批判も見られた。

青字：意識改革に関する意見
緑字：収入、職場環境に関する意見

56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

- 全体では「肯定的」が最も多く50.4%
- 「否定的」と回答した人の理由は、「怖いから」よりも「面倒くさいから」が約10ポイント多い

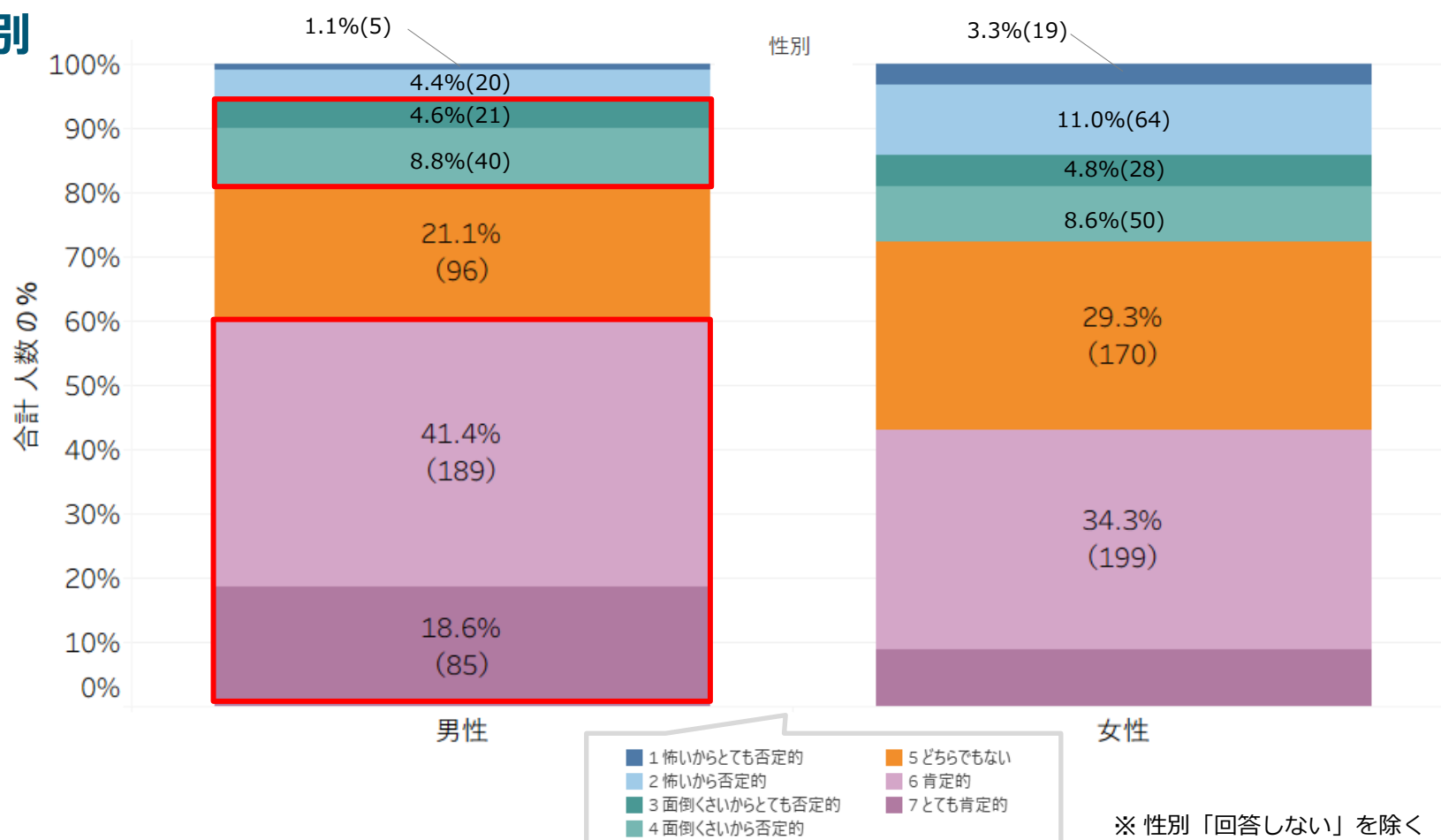
全体



56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

男性の方がデジタル化に肯定的な傾向。否定の理由として、男性は「面倒くさいから」の方が多く、女性は「面倒くさいから」と「怖いから」が同程度。

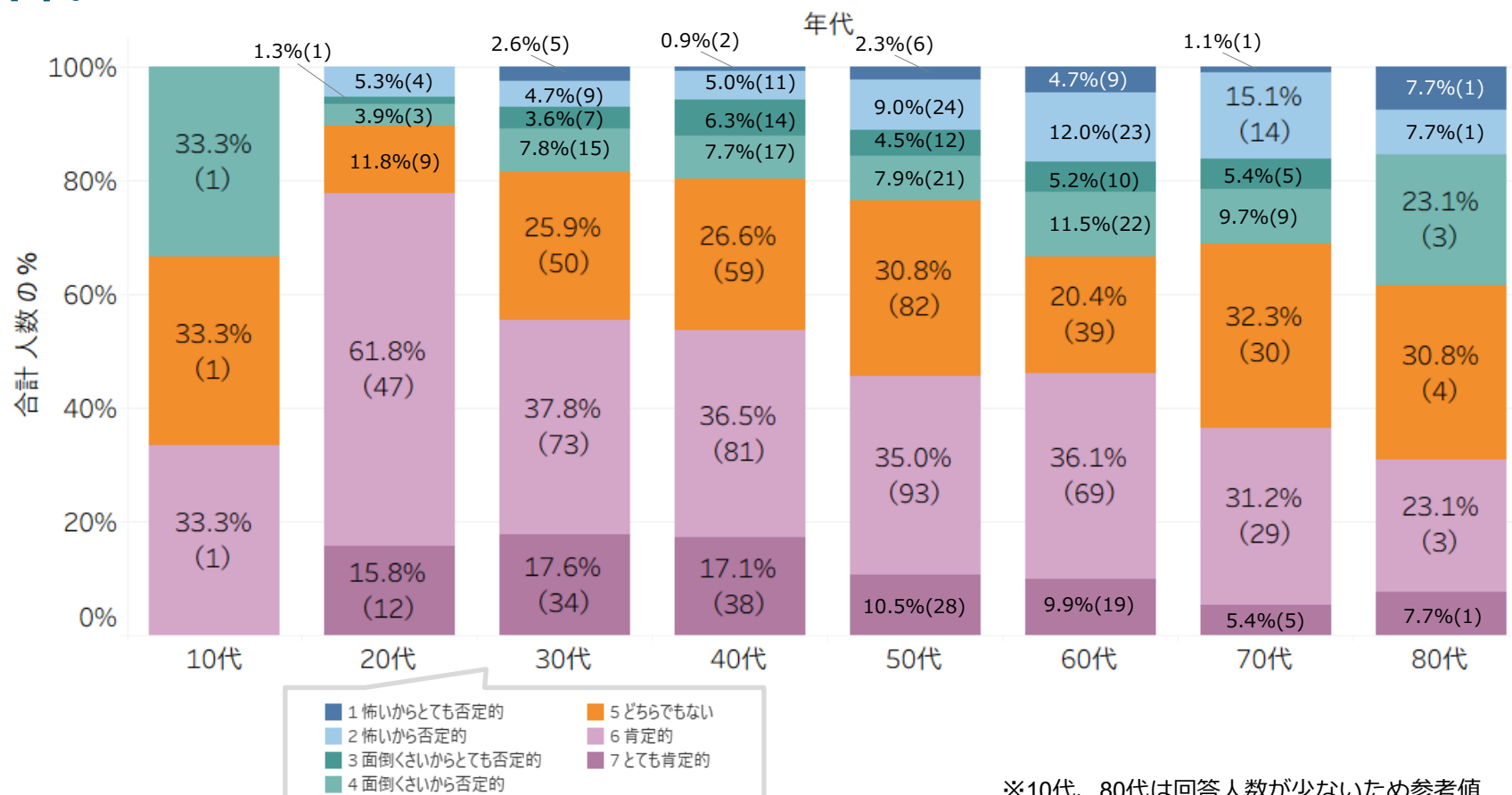
性別



56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

若い世代の方が肯定的な傾向があり、年代が上がるにつれて「怖いから（とても）否定的」な人の割合が高くなる傾向。「面倒くさいから否定的」はどの年代にも一定数いる。

年代

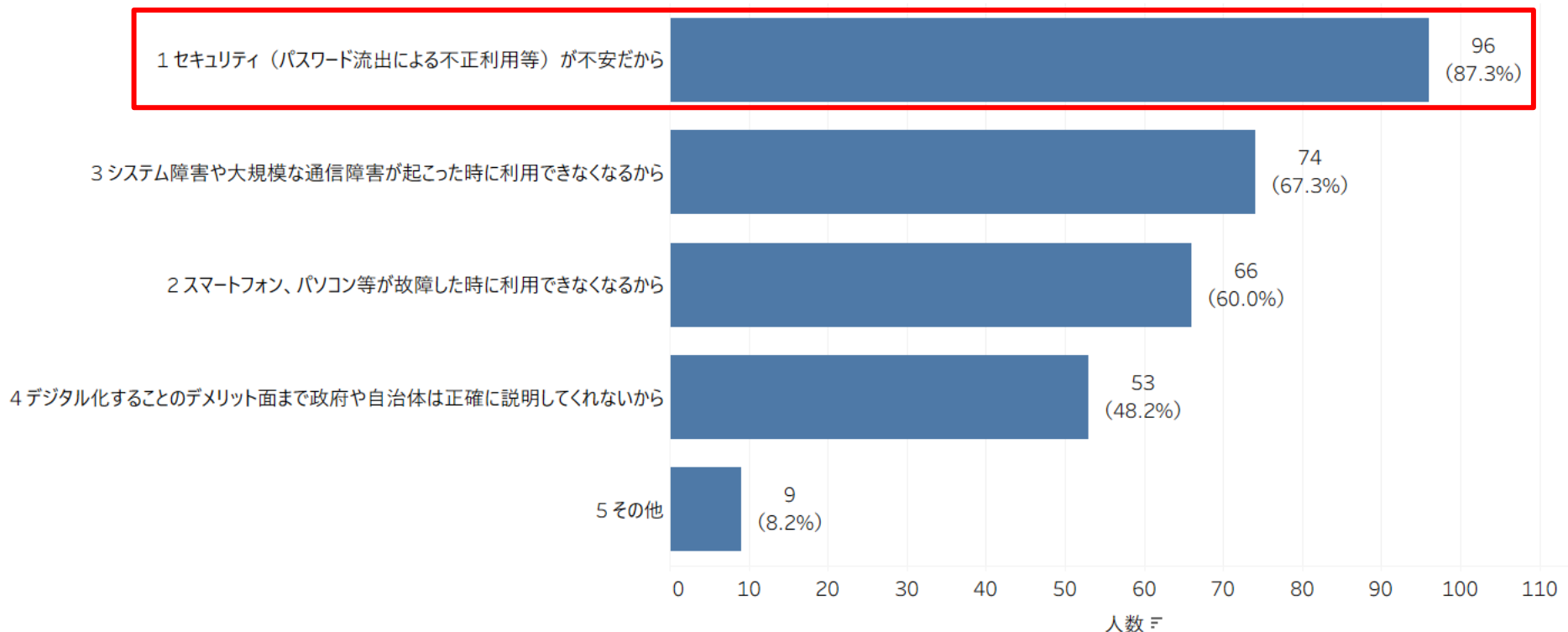


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「セキュリティ（パスワード流出による不正利用等）が不安だから」が最も多く、設問56で「怖いから」を選択した人の87.3%が理由として選択している。

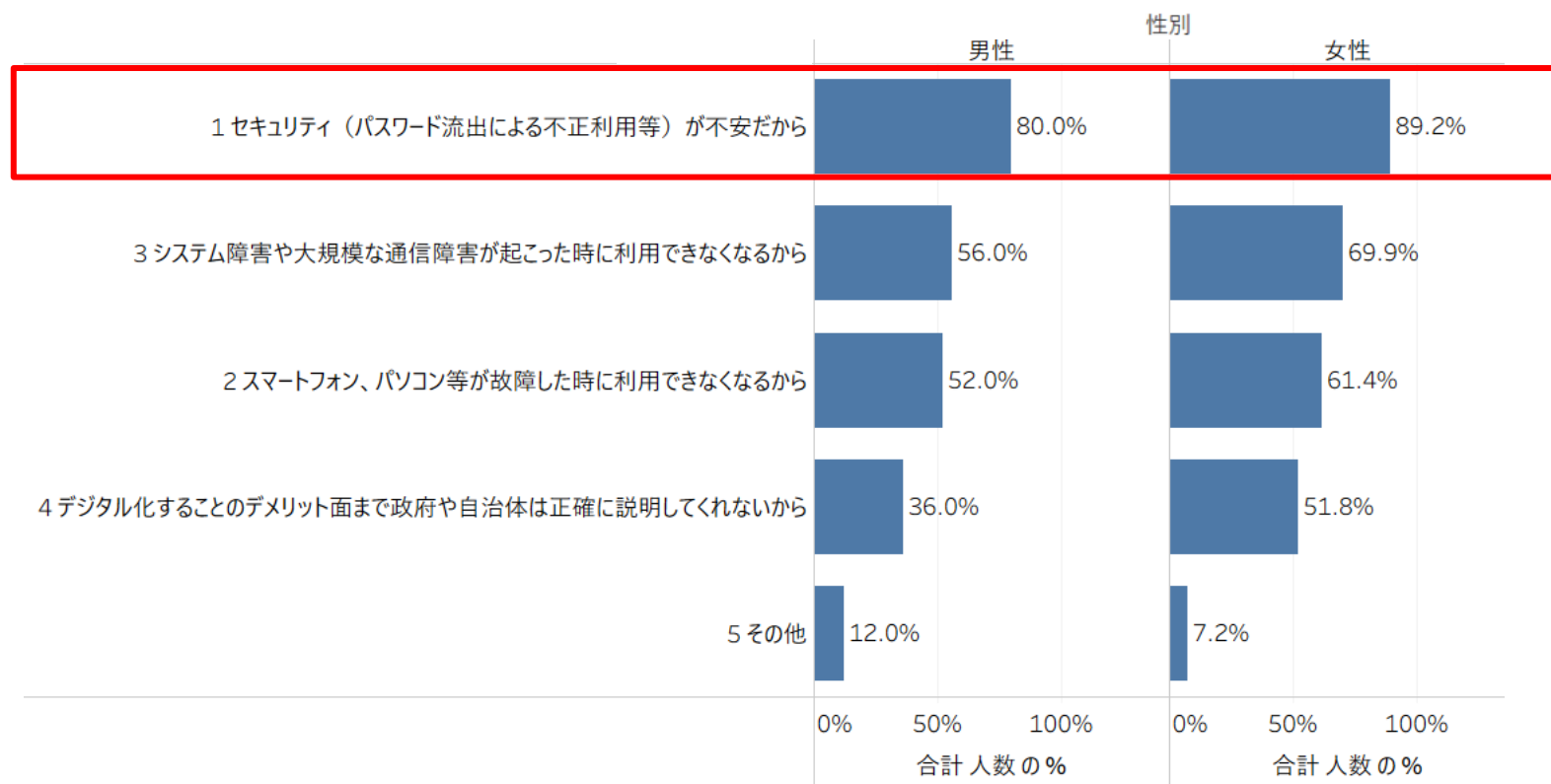
全体



57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

全体と同様の傾向で、男女ともに「セキュリティ（パスワード流出による不正利用等）が不安だから」が最も多い。

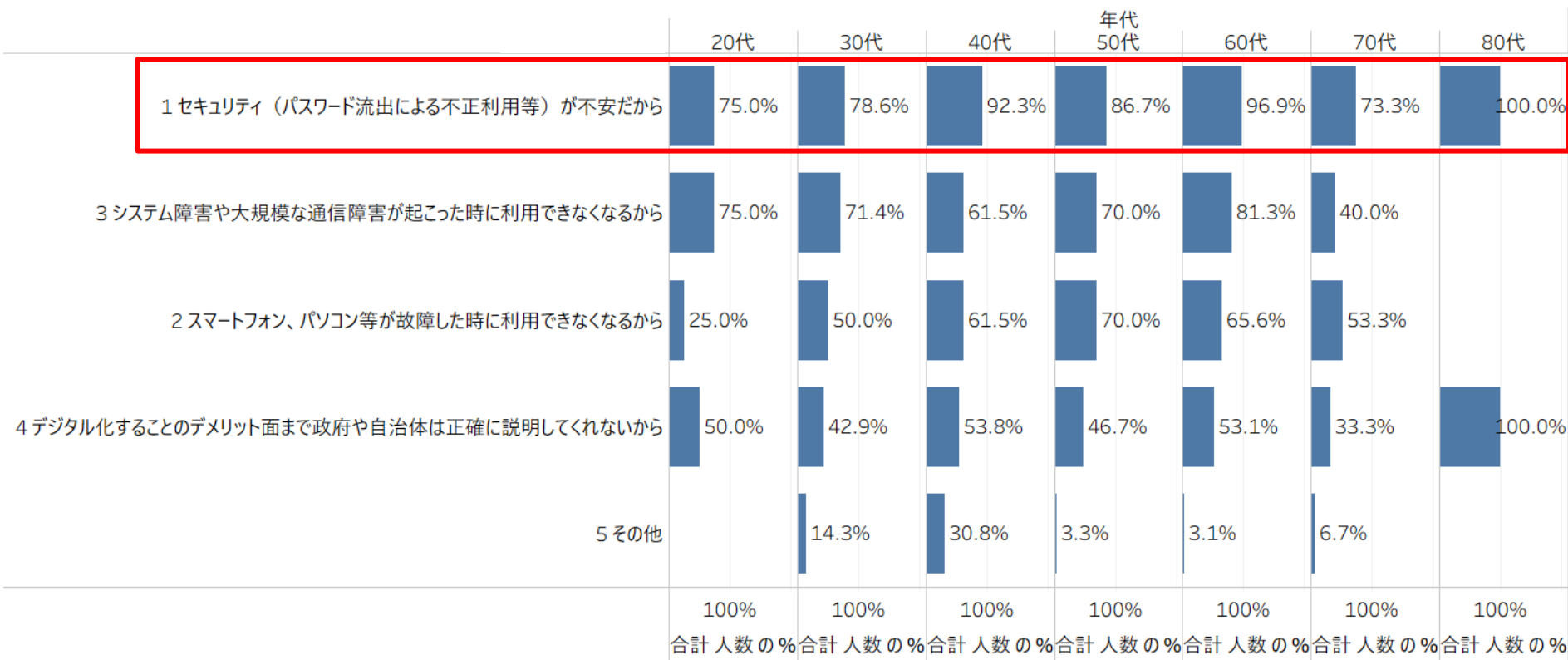
性別



57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

セキュリティに対する不安は、どの年代においてもデジタル化に対して怖いと感じる一番の理由になっている。

年代

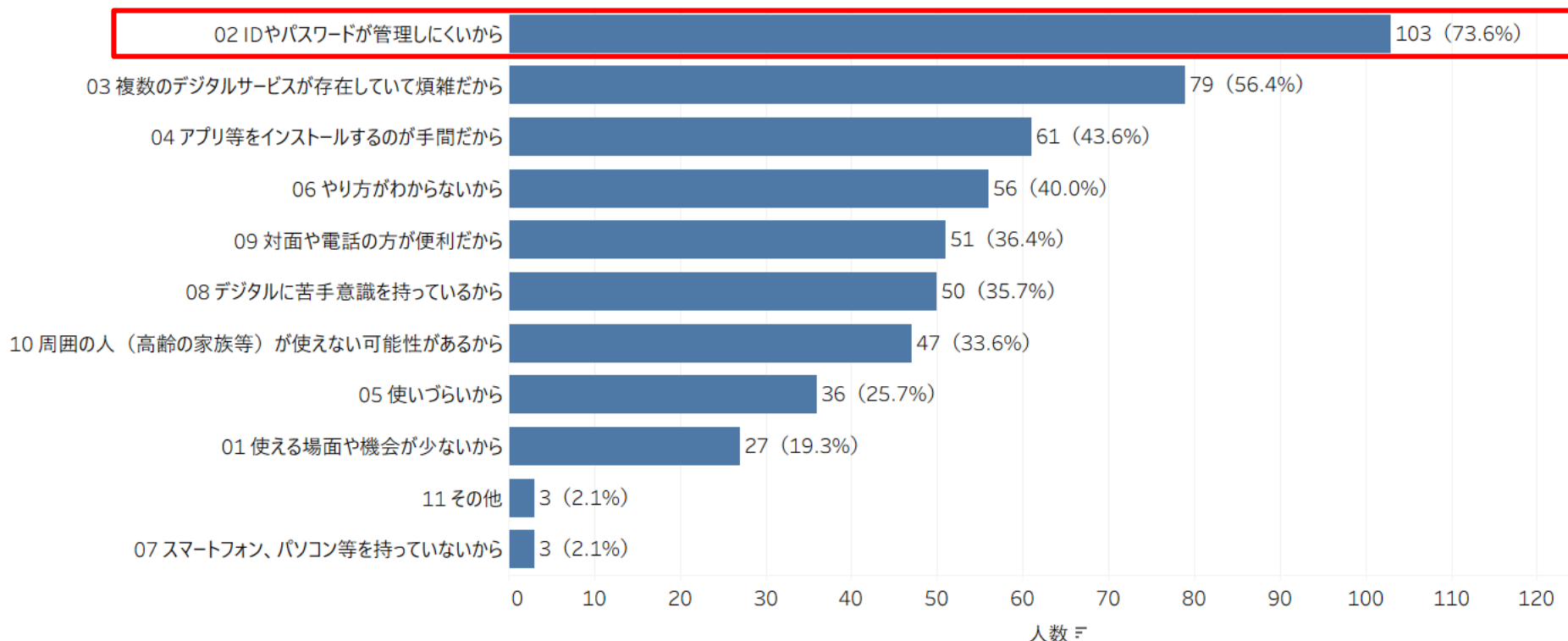


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「IDやパスワードが管理しにくいから」が最も多く、設問56で「面倒くさいから」を選択した人の73.6%が理由として選択している。

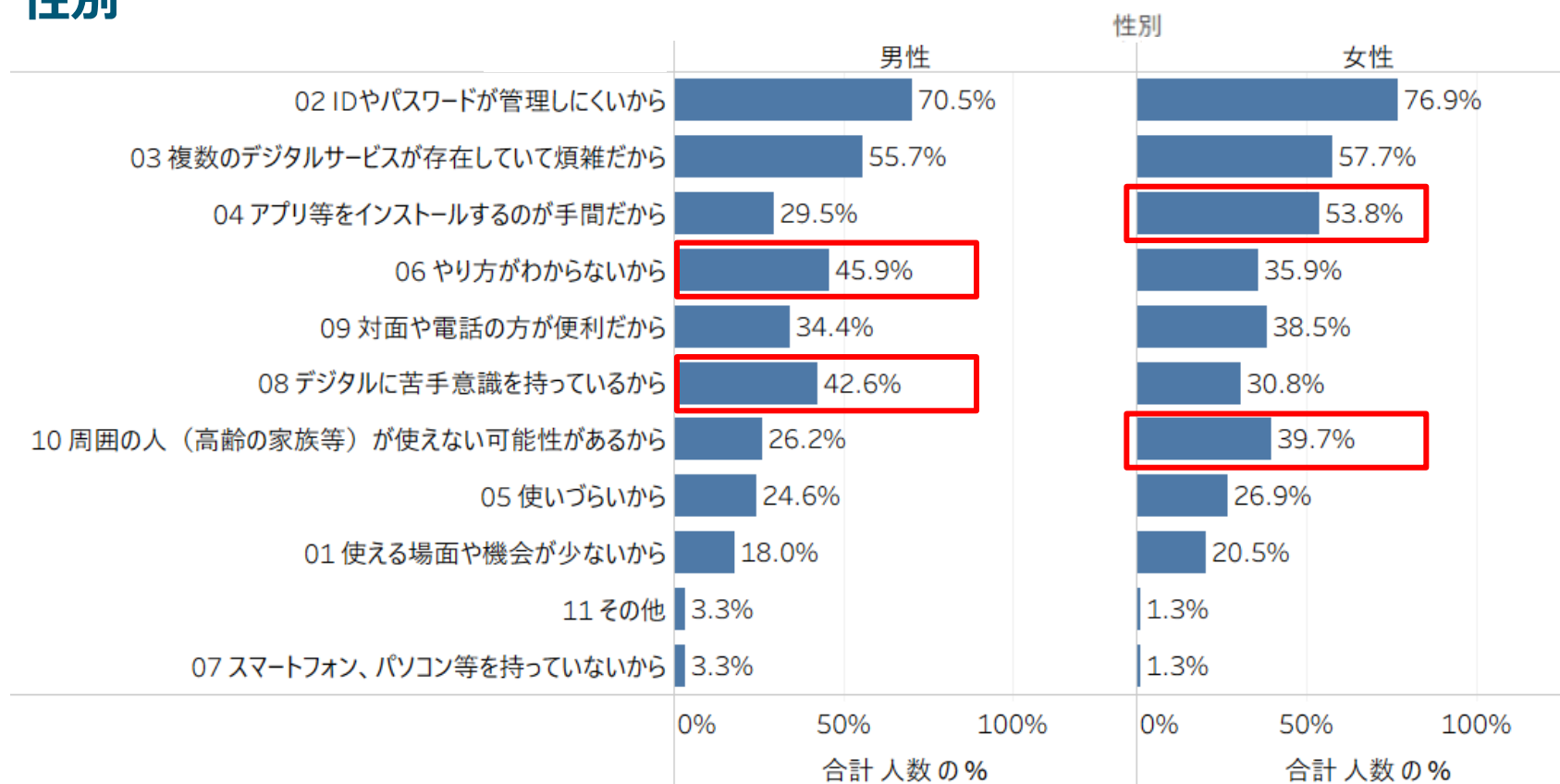
全体



58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

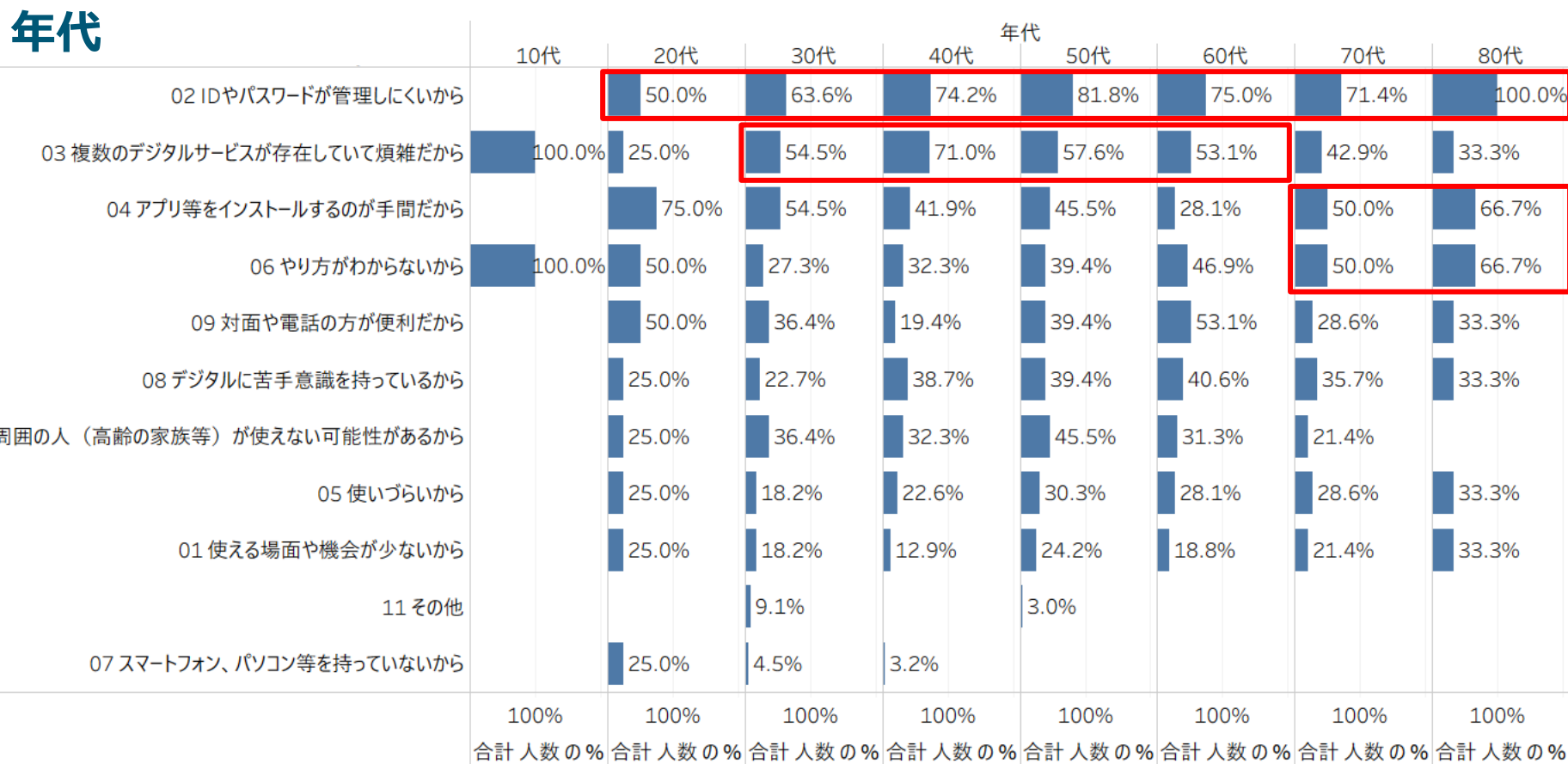
女性はインストールの手間や周囲の人が使えない可能性を、男性はやり方がわからない・苦手意識といったスキル面を理由に挙げる傾向が強い。

性別



58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

- IDパスワードの管理はどの世代においても課題になっている
- 30-60代はデジタルサービスの種類が多いことによる煩雑さを感じ、70代以上は「やり方がわからないから」など使い始める段階に課題を感じている傾向

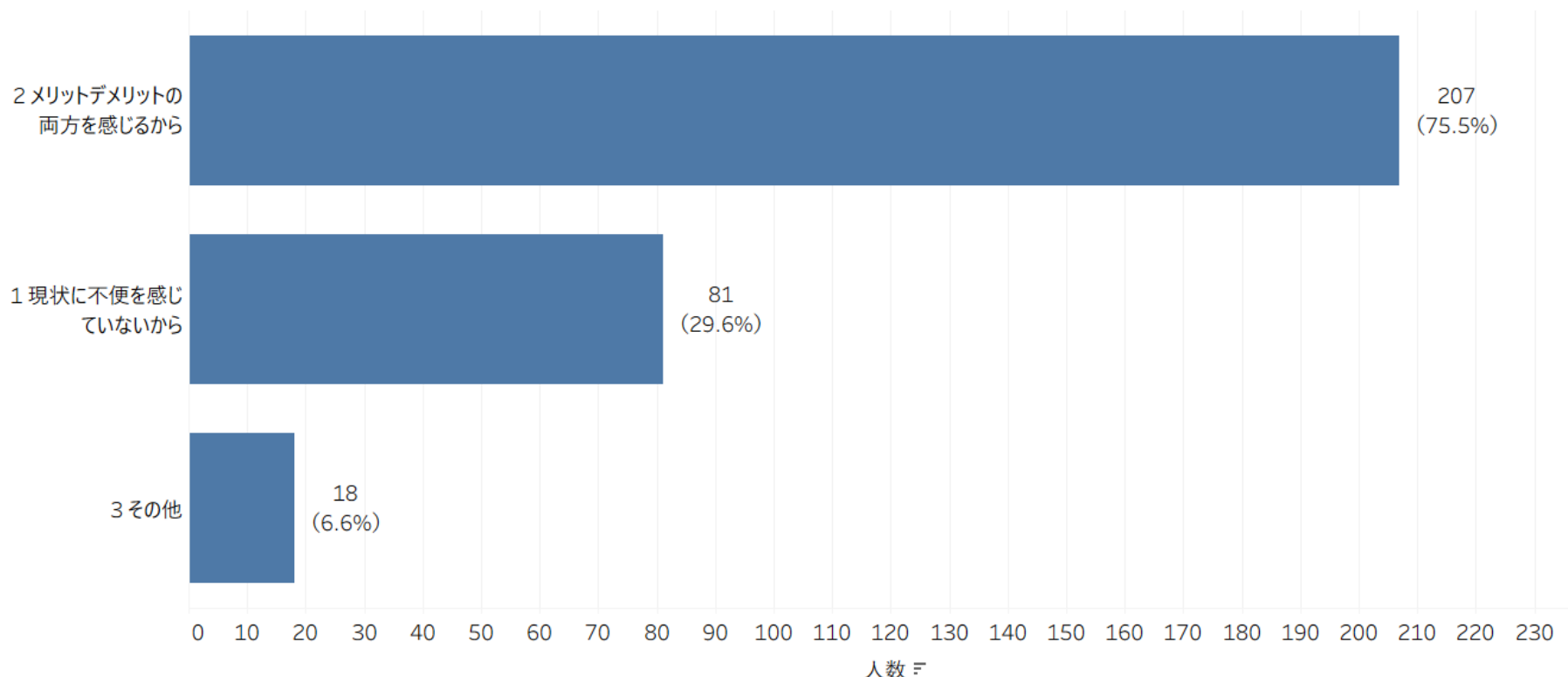


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「メリットデメリットの両方を感じるから」が最も多く、設問56で「どちらでもない」を選択した人の75.5%が理由として選択している。不便を感じていないわけではないが、デジタル化のデメリットも感じるため肯定派ではない、という人が多いことがうかがえる。

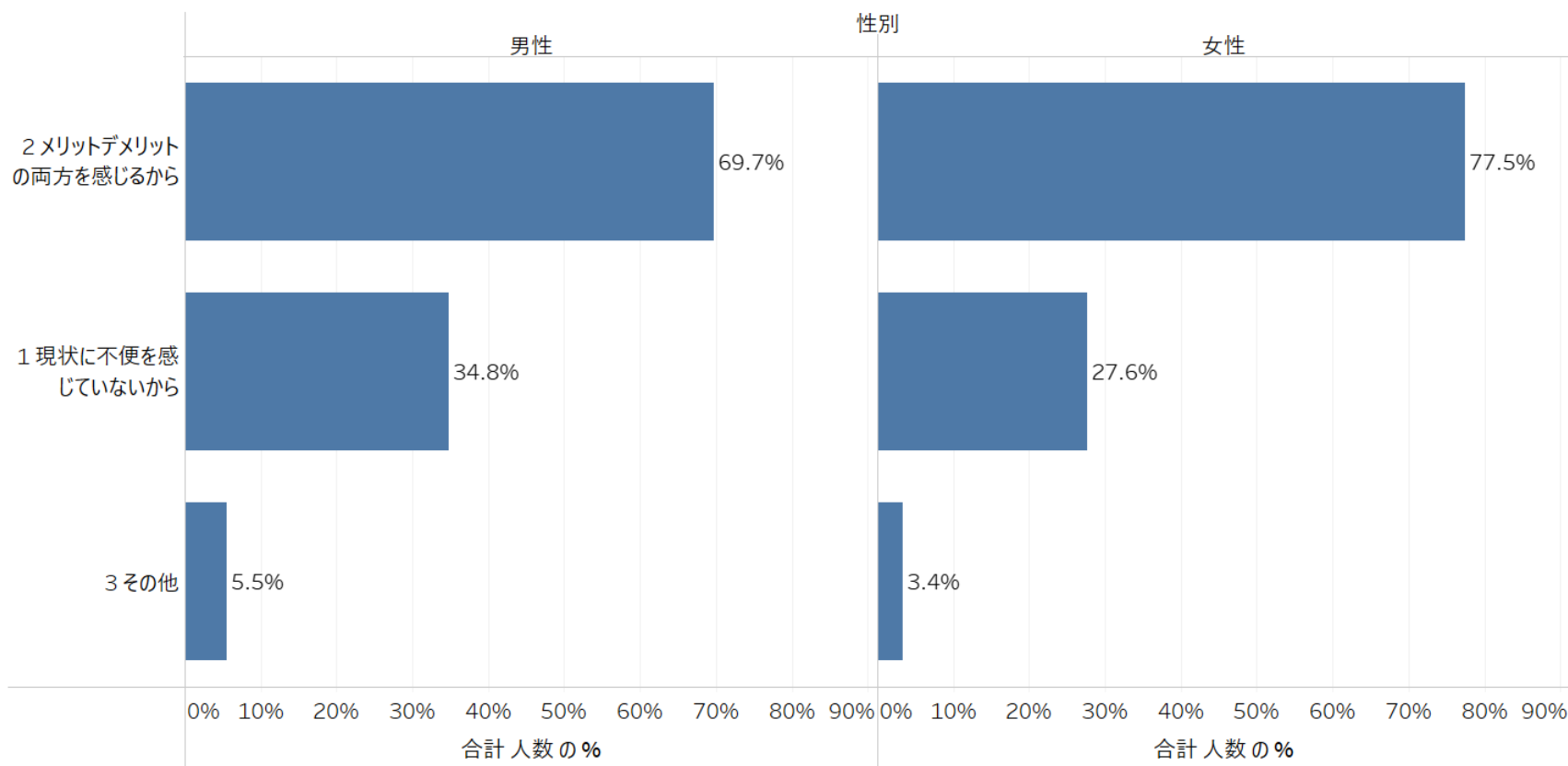
全体



59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

男女間では大きな傾向の差はなく、全体と同様「メリットデメリットの両方を感じるから」が最も多い。

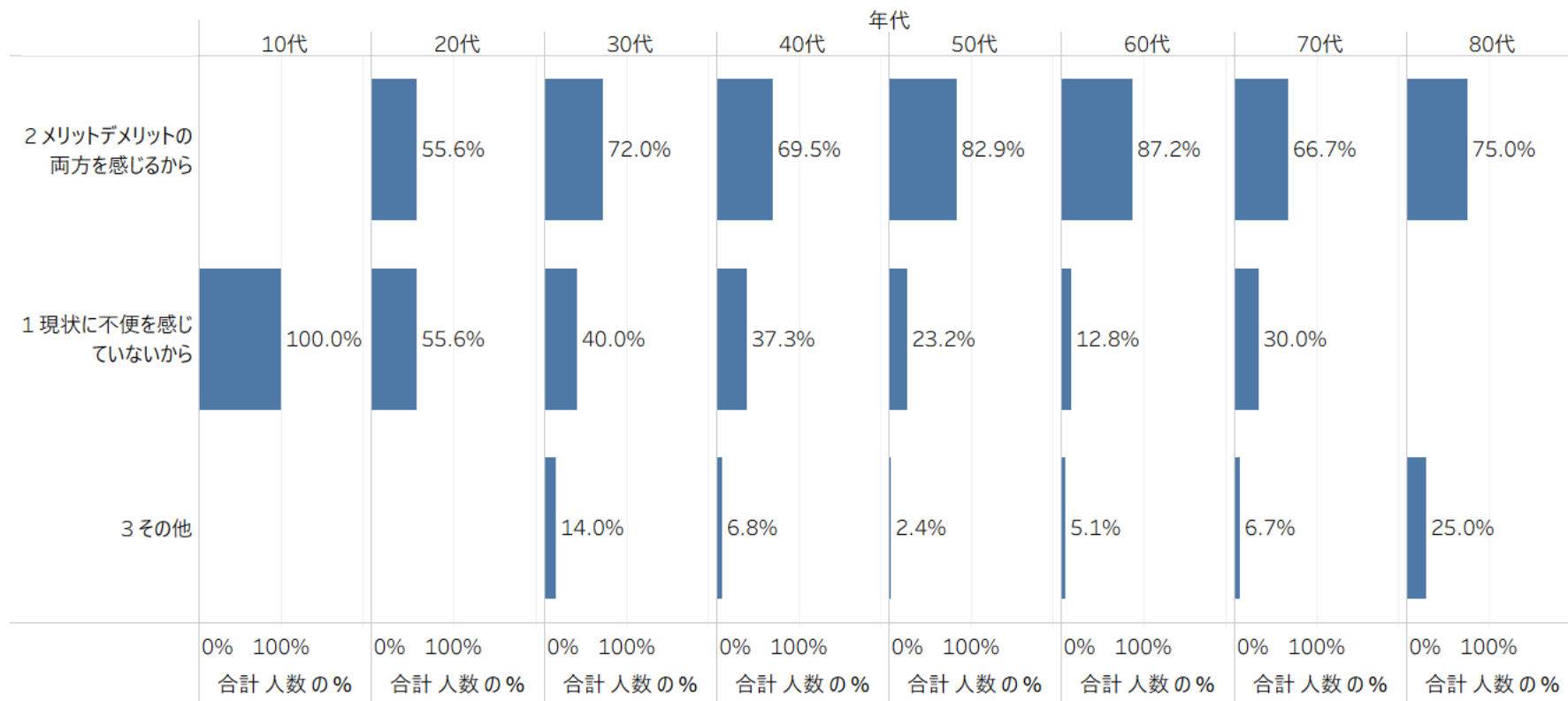
性別



59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

年代による大きな傾向の違いもなく、メリットデメリットの両方を感じるため中立の意見である人が多い傾向

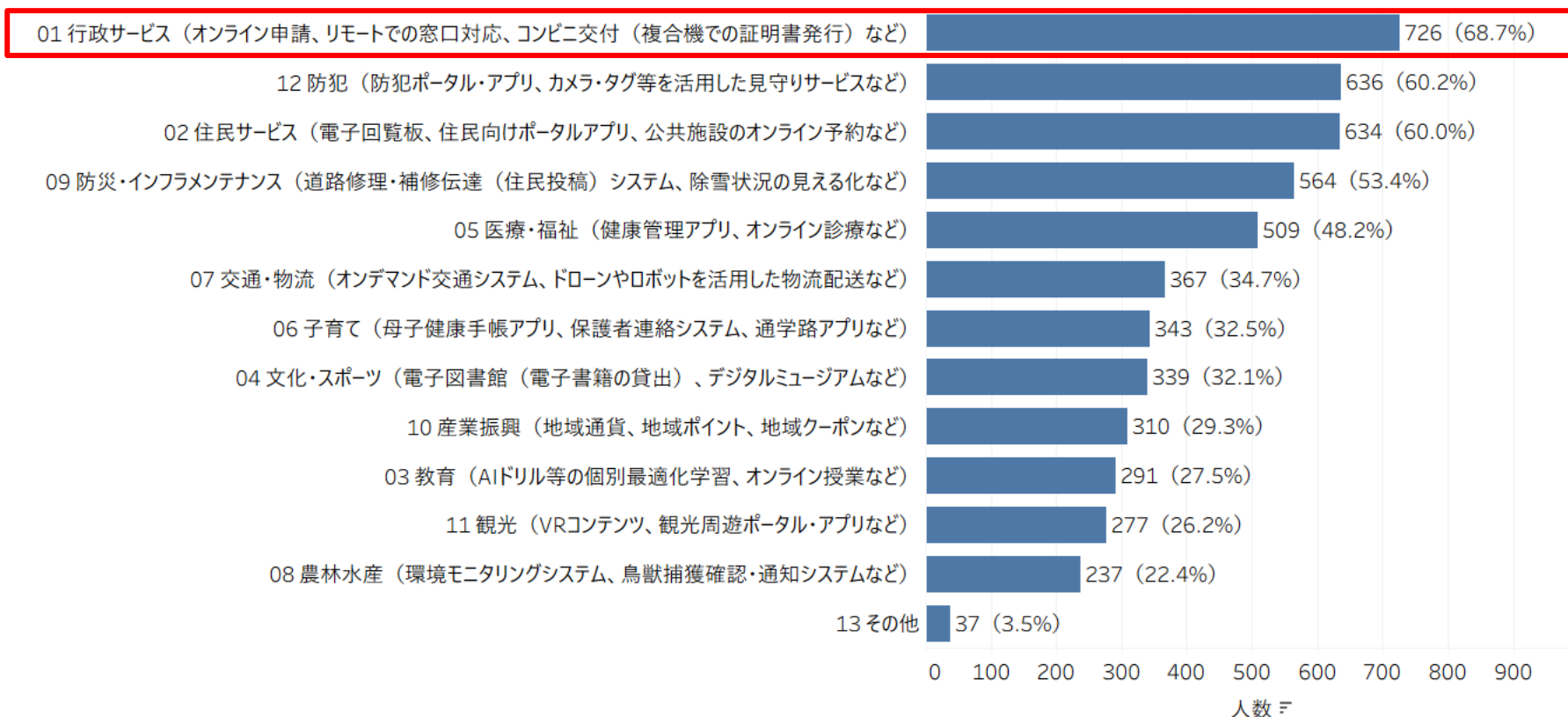
年代



60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

「行政サービス（オンライン申請、リモートでの窓口対応、コンビニ交付（複合機での証明書発行）など）」が最も多く68.7%

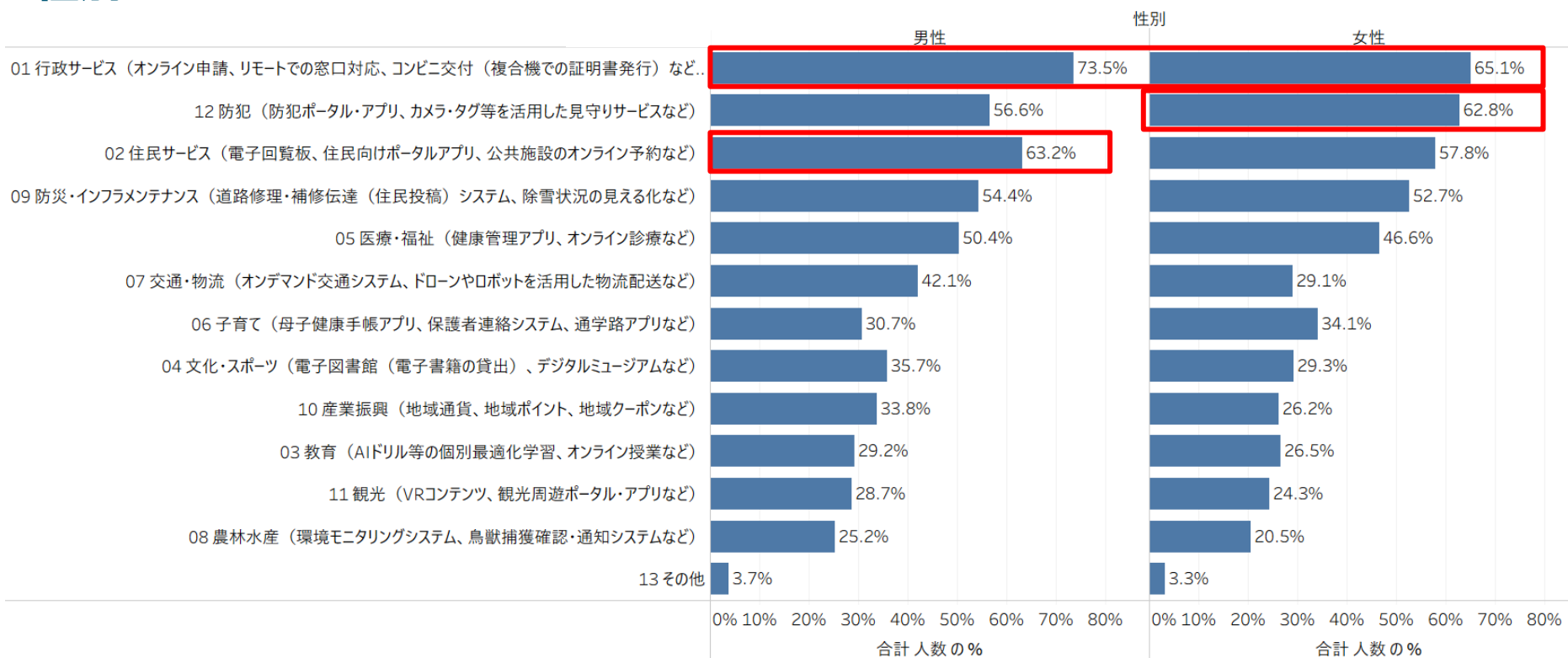
全体



60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

行政サービスに次ぎ、男性は住民サービス、女性は防犯に関するデジタルサービスへの関心が強い傾向。

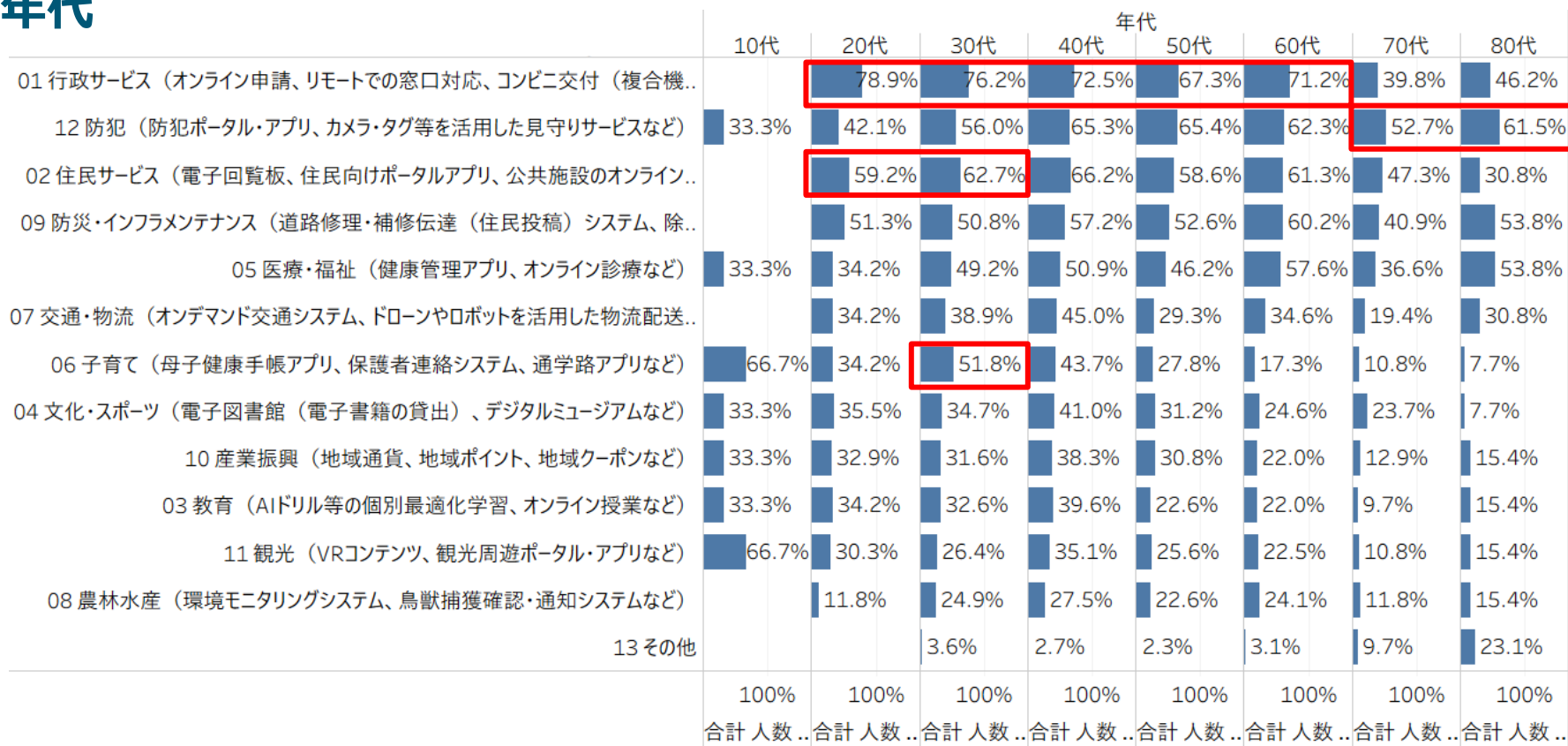
性別



60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

20,30代は行政サービスや住民サービス等のデジタル化を希望する人が多く、70代以上は行政や住民サービスよりも防犯系への関心が高い傾向。また、30代においては子育てに関するデジタルサービスを使いたいと回答した人も多い。

年代



60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

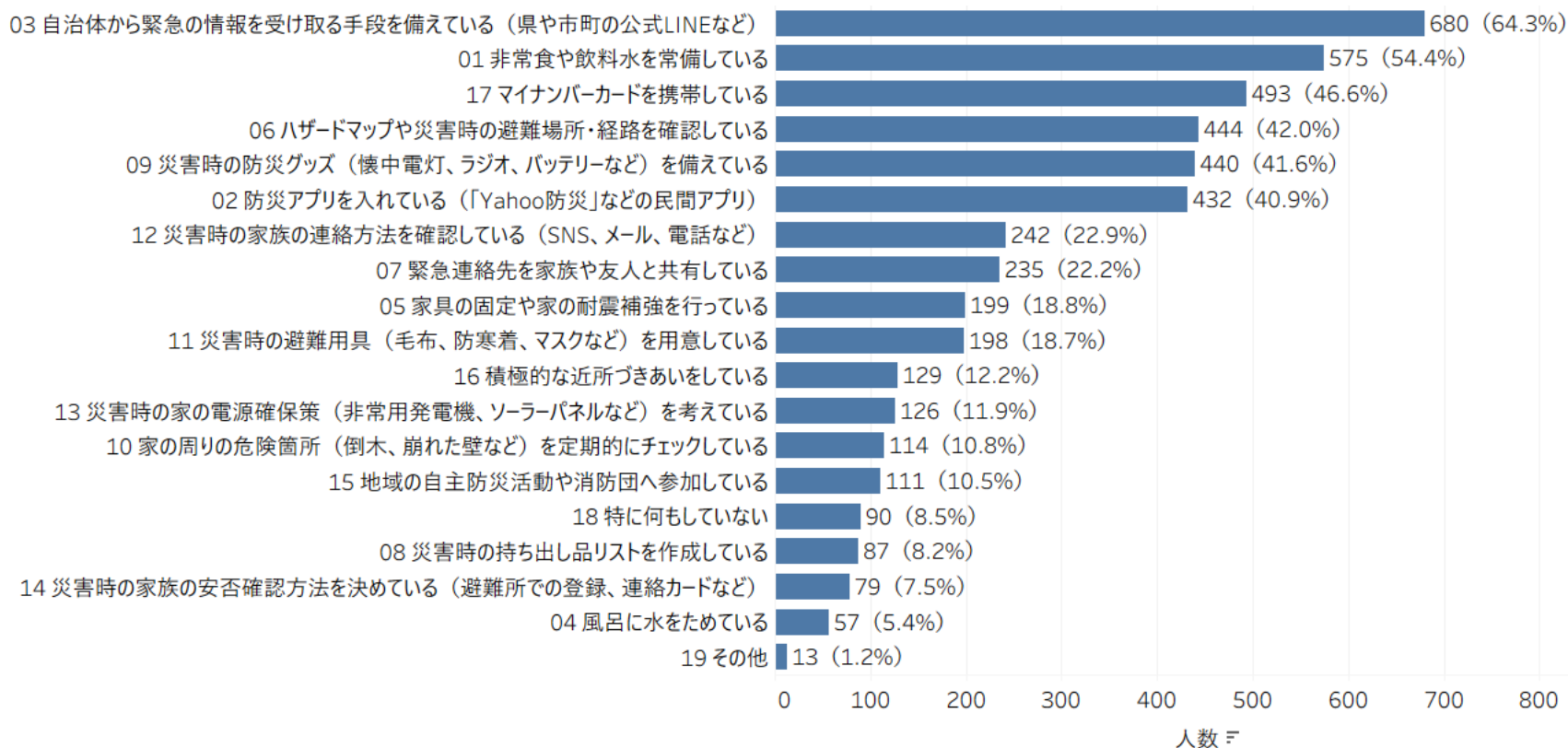
その他（自由記述）※生成AIによる分類・傾向整理

カテゴリ		意見（一部抜粋）	傾向
イベント・予約分野		<ul style="list-style-type: none"> イベントチェック スポーツ施設個人利用予約 	利用目的が明確で、 利便性が直接向上する分野に限定して前向き な意見。全体では少数。
行政サービス		<ul style="list-style-type: none"> 介護手続き ひとり親の行政手続き一元化 	日常生活に密接する行政手続きの 煩雑さを解消したい という実用的ニーズ。
その他の意見	使いたいが条件付き	<ul style="list-style-type: none"> 使い方の丁寧な説明が必要 高齢者には難しい 使えない人はどうするのか 	利用環境の整備や支援が前提条件。 公平性を重視する慎重な姿勢。
	使いたくない	<ul style="list-style-type: none"> 必要性を感じない 通信料や容量が気になる 操作がわからない 対面の方が良い 行政がデジタル偏重で無駄 	消極的・否定的な意見が多数（全体の約9割）。 心理的ハードルやアナログ志向が背景。

61. 災害に向けて日頃心掛けていることや準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

- 「自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている」が最も多く64.3%
- 次いで「非常食や飲料水を常備している」が54.4%

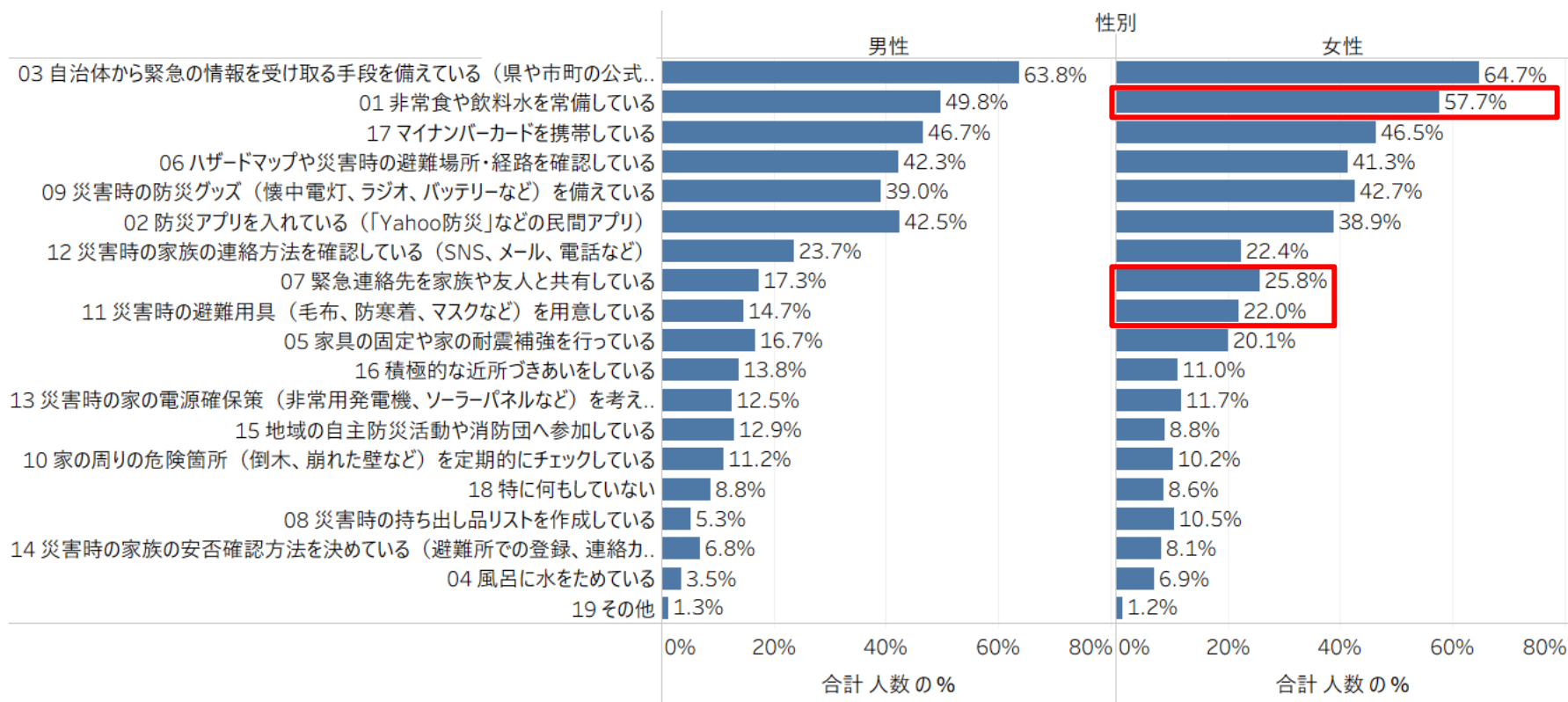
全体



61. 災害に向けて日頃心掛けていることや準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

非常食や避難用具などの備え、緊急連絡先の共有は女性の方が積極的に取り組んでいる傾向がみられる。

性別



61. 災害に向けて日頃心掛けていることや準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

60代は災害に対する備えや準備をしている人の割合がく、一方で20代は物の備えや避難場所の確認をしている人の割合が低い傾向。

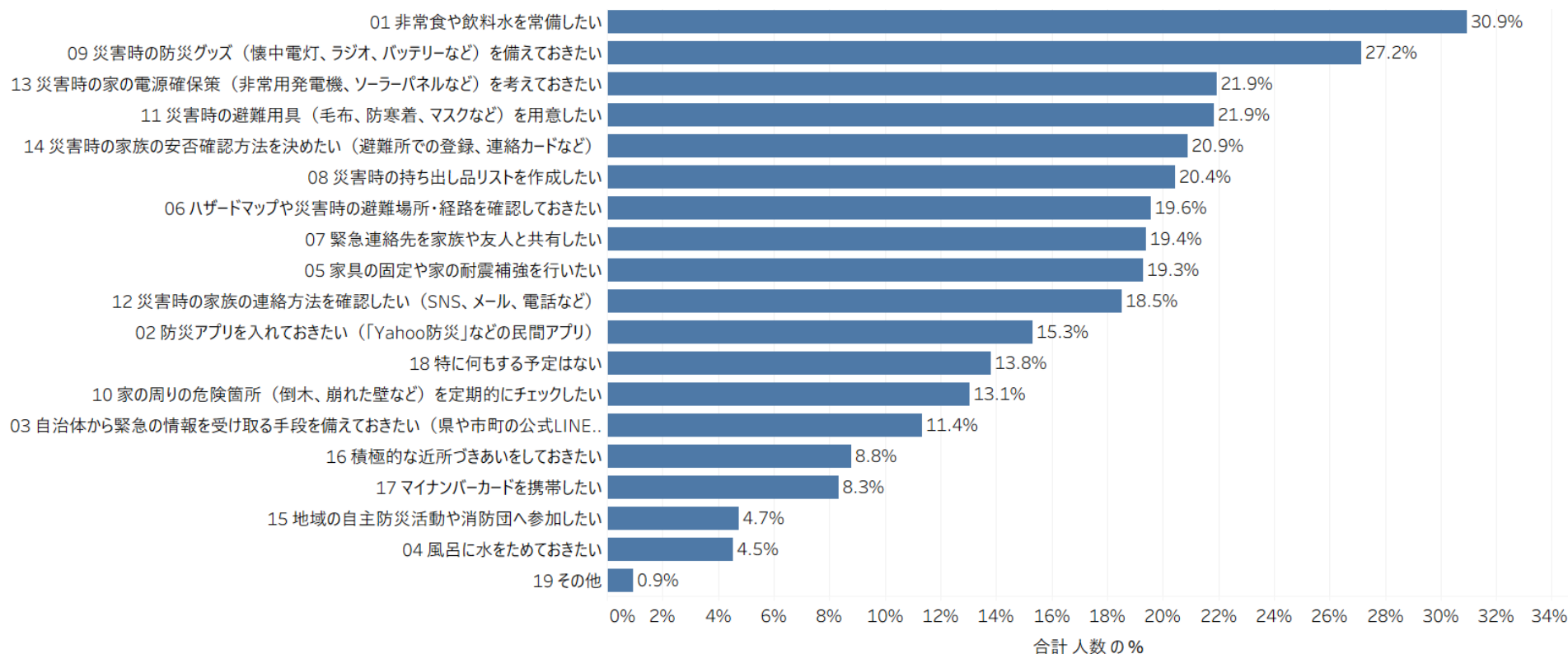
年代

	年代							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
03 自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている（県や市町の公式..	66.7%	52.6%	61.1%	67.6%	67.3%	71.2%	55.9%	23.1%
01 非常食や飲料水を常備している	66.7%	38.2%	60.1%	58.6%	52.3%	56.5%	50.5%	30.8%
17 マイナンバーカードを携帯している	33.3%	51.3%	42.5%	41.4%	45.9%	51.8%	52.7%	69.2%
06 ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認している		27.6%	36.3%	41.4%	44.4%	49.2%	46.2%	46.2%
09 災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えている	33.3%	23.7%	38.9%	42.8%	42.1%	45.0%	50.5%	46.2%
02 防災アプリを入れている（「Yahoo防災」などの民間アプリ）	33.3%	30.3%	30.1%	36.0%	47.4%	51.8%	44.1%	30.8%
12 災害時の家族の連絡方法を確認している（SNS、メール、電話など）		18.4%	20.2%	22.1%	21.4%	24.1%	33.3%	46.2%
07 緊急連絡先を家族や友人と共有している		22.4%	17.1%	24.8%	21.4%	23.0%	28.0%	23.1%
05 家具の固定や家の耐震補強を行っている	33.3%	17.1%	20.7%	20.3%	15.0%	20.9%	19.4%	15.4%
11 災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意している		9.2%	18.1%	19.4%	21.4%	19.4%	17.2%	23.1%
16 積極的な近所づきあいをしている		3.9%	8.8%	14.0%	10.5%	13.1%	23.7%	23.1%
13 災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考え..		5.3%	7.3%	16.7%	12.8%	13.1%	11.8%	7.7%
10 家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしている		2.6%	6.7%	10.4%	9.4%	15.7%	18.3%	30.8%
15 地域の自主防災活動や消防団へ参加している		1.3%	7.3%	11.3%	12.8%	11.5%	15.1%	7.7%
18 特に何もしていない		7.9%	7.8%	6.8%	10.2%	6.8%	10.8%	30.8%
08 災害時の持ち出し品リストを作成している		9.2%	10.4%	6.3%	6.8%	8.9%	10.8%	7.7%
14 災害時の家族の安否確認方法を決めている（避難所での登録、連絡力..		7.9%	4.7%	9.5%	6.8%	6.8%	11.8%	7.7%
04 風呂に水をためている		5.3%	2.6%	3.2%	7.5%	6.3%	9.7%	
19 その他			1.6%	1.4%	0.8%	1.6%		15.4%
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..

62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

- 「非常食や飲料水を常備したい」が30.9%、次いで「災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えておきたい」が27.2%
- 設問61の準備していることに対して、設問62では準備に手間やお金がかかる内容が上位にくる傾向

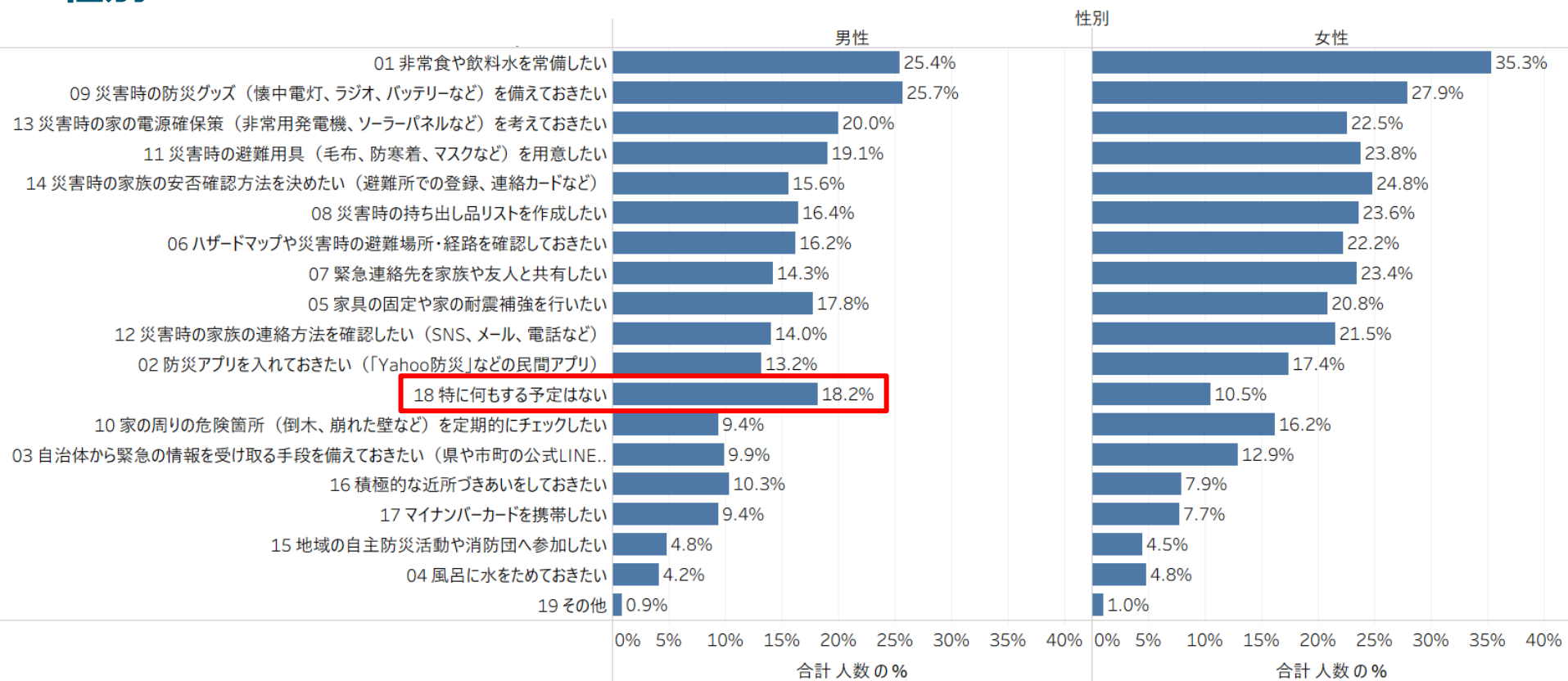
全体



62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

- 多くの項目において、女性の方が取り組みたいと考えている人の割合が高い
- 男性は「特に何もする予定はない」と回答した人が18.2%で、女性よりも高い傾向

性別



62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

非常食や防災グッズの備えは全年代において取り組みたいと考えている人が多く、特に20代は準備している人が少ない反面取り組みたいと回答した人の割合が高い傾向。30,40代は家族の安否確認や連絡方法の確認、70代は「家の耐震補強」など年代による備えたいものの違いも見られる。

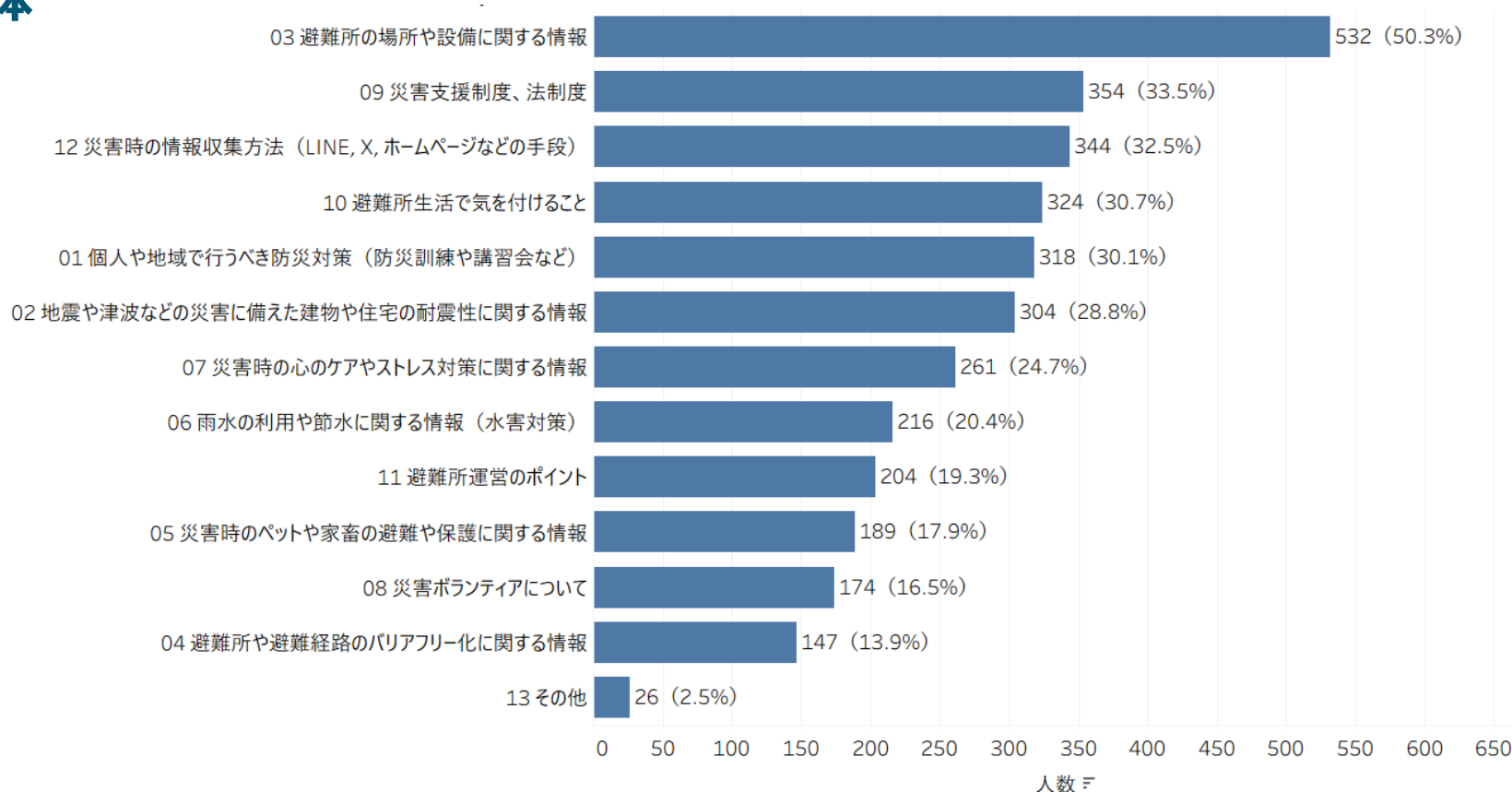
年代

	年代							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
01 非常食や飲料水を常備したい		40.8%	29.0%	27.9%	30.1%	36.1%	26.9%	30.8%
09 災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えておきたい		35.5%	27.5%	27.5%	26.3%	24.6%	24.7%	46.2%
13 災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考えておきたい	33.3%	21.1%	21.8%	23.0%	21.4%	22.0%	19.4%	38.5%
11 災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意したい	33.3%	22.4%	20.2%	20.3%	26.7%	18.3%	21.5%	23.1%
14 災害時の家族の安否確認方法を決めたい（避難所での登録、連絡カードなど）	33.3%	17.1%	25.4%	18.5%	23.3%	19.9%	15.1%	23.1%
08 災害時の持ち出し品リストを作成したい		19.7%	17.1%	18.9%	19.9%	20.9%	29.0%	46.2%
06 ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認しておきたい	33.3%	19.7%	20.7%	23.4%	17.3%	15.7%	21.5%	23.1%
07 緊急連絡先を家族や友人と共有したい		14.5%	18.7%	21.6%	18.0%	22.5%	15.1%	38.5%
05 家具の固定や家の耐震補強を行いたい	33.3%	21.1%	15.5%	16.2%	21.1%	20.9%	24.7%	15.4%
12 災害時の家族の連絡方法を確認したい（SNS、メール、電話など）		11.8%	19.7%	24.3%	16.5%	19.9%	10.8%	23.1%
02 防災アプリを入れておきたい（「Yahoo防災」などの民間アプリ）	33.3%	10.5%	16.1%	17.6%	15.8%	13.6%	12.9%	23.1%
18 特に何もする予定はない		11.8%	19.7%	13.1%	14.7%	11.0%	9.7%	7.7%
10 家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしたい	33.3%	19.7%	10.9%	14.4%	10.9%	12.0%	15.1%	23.1%
03 自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えておきたい（県や市町の公式ホームページなど）		6.6%	11.4%	9.9%	11.3%	12.0%	16.1%	23.1%
16 積極的な近所づきあいをしておきたい	66.7%	9.2%	7.8%	9.0%	6.8%	10.5%	10.8%	7.7%
17 マイナナンバーカードを携帯したい		6.6%	5.7%	7.7%	7.9%	10.5%	10.8%	30.8%
15 地域の自主防災活動や消防団へ参加したい	33.3%	3.9%	3.6%	5.9%	4.1%	5.8%	4.3%	
04 風呂に水をためておきたい		7.9%	4.1%	2.3%	3.8%	5.2%	8.6%	7.7%
19 その他			0.5%	1.8%	0.8%	1.6%		
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
合計人数	..	合計人数	..	合計人数	..	合計人数	..	合計人数

63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

- 「避難所の場所や設備に関する情報」が最も多く50.3%
- 次いで「災害支援制度、法制度」「災害時の情報収集方法」と、自身では探しにくい、もしくは信頼できる情報か判断しにくい項目が上位にきていると考えられる

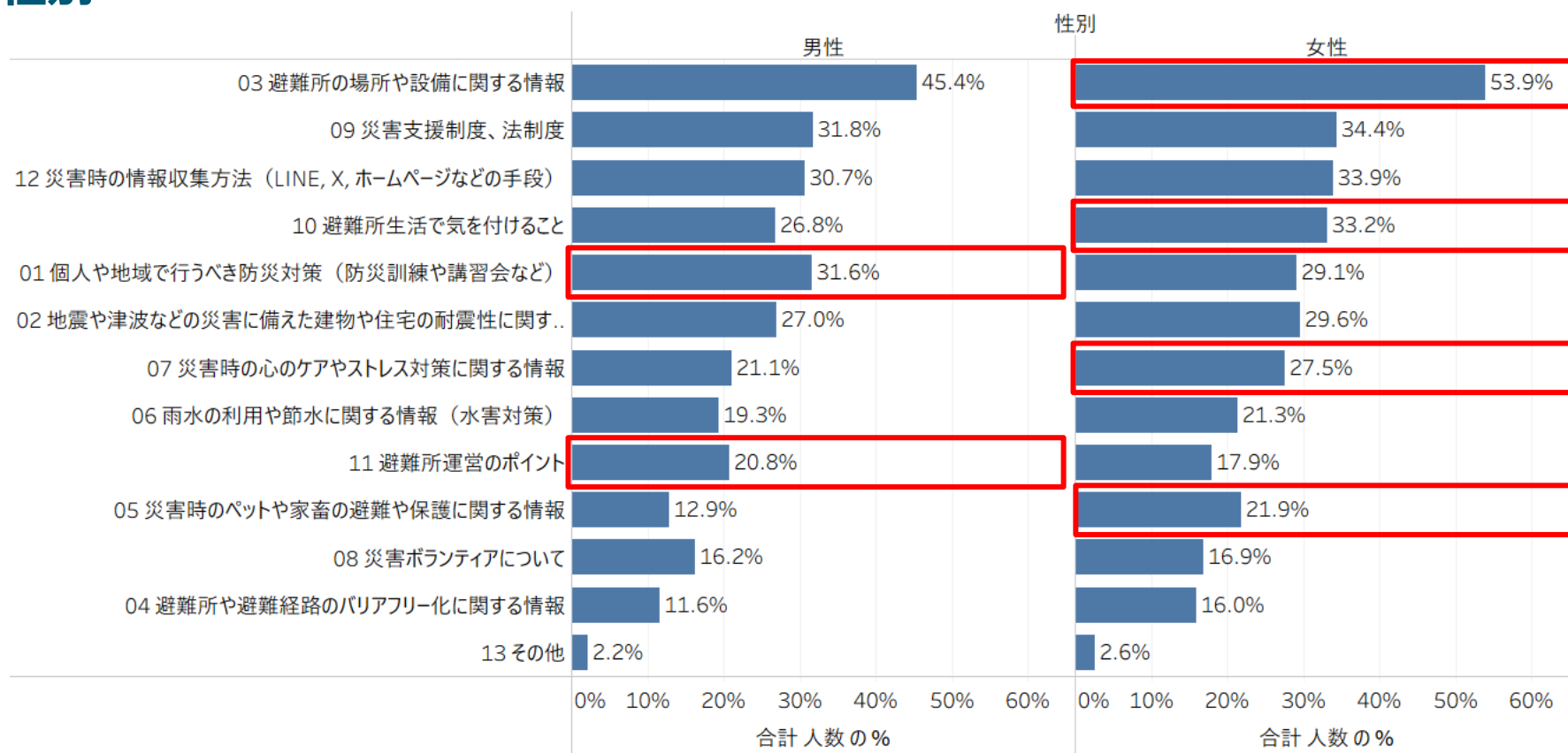
全体



63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

男性の選択割合が高い項目は個人や地域の防災対策、避難所運営のポイントで、女性の選択割合が高い項目は避難所情報や避難生活、ストレス対策など災害時の生活に関する項目。

性別



63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

上位項目の中でも、「災害支援制度、法制度」は30-50代、「災害時の情報収集方法」は40-70代で選択率が比較的高く、年代による傾向がうかがえる。

年代

	年代							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
03 避難所の場所や設備に関する情報	100.0%	44.7%	55.4%	53.6%	47.4%	50.3%	44.1%	46.2%
09 災害支援制度、法制度	33.3%	26.3%	35.8%	36.0%	35.3%	30.9%	32.3%	7.7%
12 災害時の情報収集方法（LINE, X, ホームページなどの手段）		14.5%	28.5%	34.7%	35.0%	33.5%	45.2%	15.4%
10 避難所生活で気を付けること	66.7%	28.9%	31.1%	33.8%	25.6%	31.4%	34.4%	38.5%
01 個人や地域で行うべき防災対策（防災訓練や講習会など）	66.7%	38.2%	25.4%	27.9%	25.6%	33.0%	44.1%	30.8%
02 地震や津波などの災害に備えた建物や住宅の耐震性に関す..		32.9%	28.5%	32.0%	30.5%	24.6%	24.7%	15.4%
07 災害時の心のケアやストレス対策に関する情報		23.7%	29.5%	30.6%	19.9%	22.0%	22.6%	15.4%
06 雨水の利用や節水に関する情報（水害対策）		11.8%	16.1%	25.2%	20.7%	23.0%	19.4%	23.1%
11 避難所運営のポイント		18.4%	18.7%	23.9%	19.5%	15.2%	21.5%	
05 災害時のペットや家畜の避難や保護に関する情報		17.1%	16.6%	18.9%	19.9%	17.3%	17.2%	
08 災害ボランティアについて	33.3%	11.8%	14.5%	20.7%	19.5%	13.1%	10.8%	23.1%
04 避難所や避難経路のバリアフリー化に関する情報	33.3%	15.8%	10.9%	15.3%	10.2%	16.8%	19.4%	15.4%
13 その他			3.1%	0.9%	2.6%	4.2%	2.2%	7.7%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..	合計人数 ..

※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

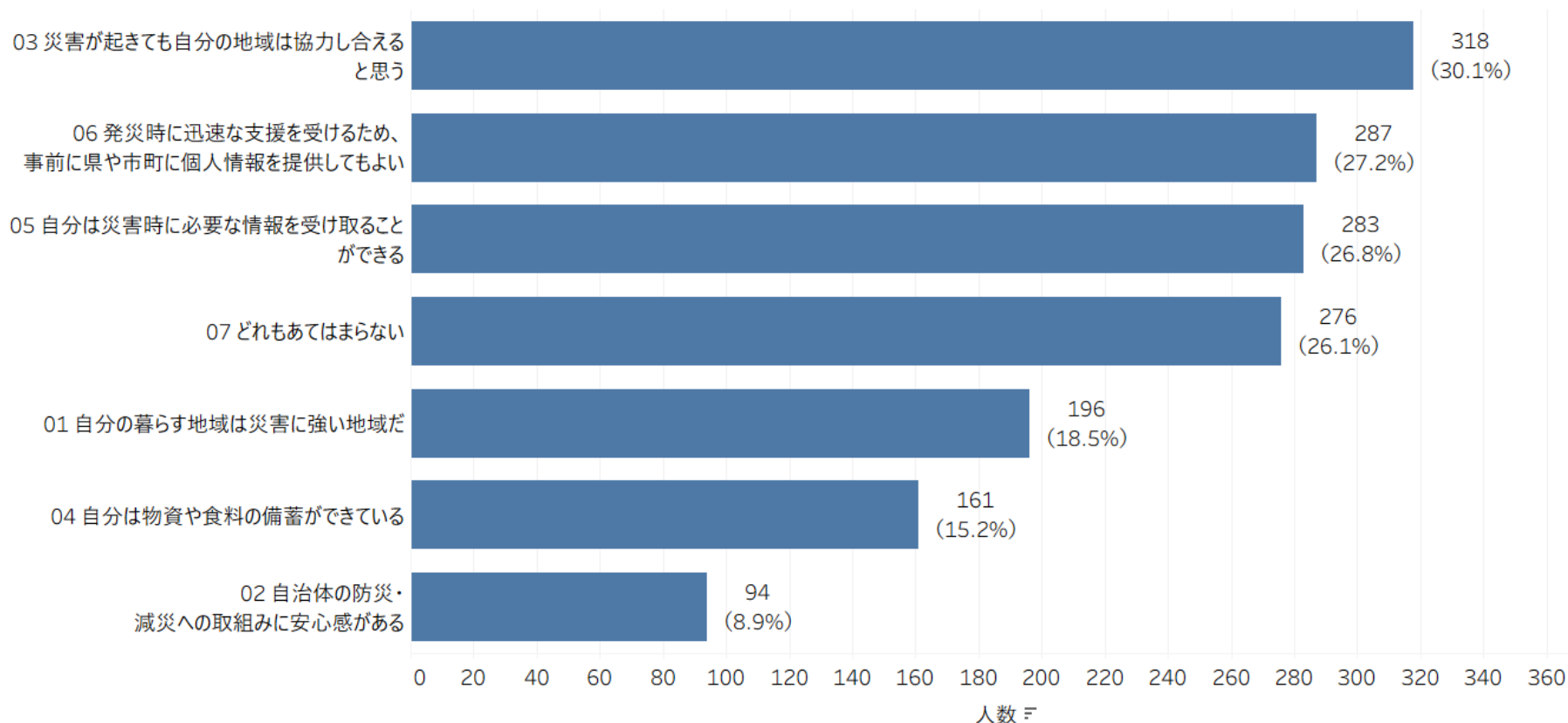
その他（自由記述） ※生成AIによる意見の分類

カテゴリ	意見（一部抜粋）
避難所・避難生活に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所に行かずに家にいながら避難生活をする方法・必要な備え(全壊の場合は除く) ・ 避難所のトイレ ・ 避難所での性被害予防策 ・ 避難所でのペットの受け入れ可否情報、ペット防災
災害時の医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の医療体制と利用方法、通信確保 ・ 災害時の子どもへのケアについて ・ 障害者対応について ・ 配慮がいる家族がいるときの対応
家庭生活・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生面の維持管理方法 ・ 自給自足
政策・復興・原発関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原発事故が起こった際の行動指針（能登半島地震後具体的に見直しされているのか？） ・ 能登震災の復興の総括
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災土講座が平日開催あれば知りたい ・ 災害のことを真剣に考えて無い

64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

- 「災害が起きても自分の地域は協力し合えると思う」が最も多く30.1%
- 次いで「発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい」が27.2%

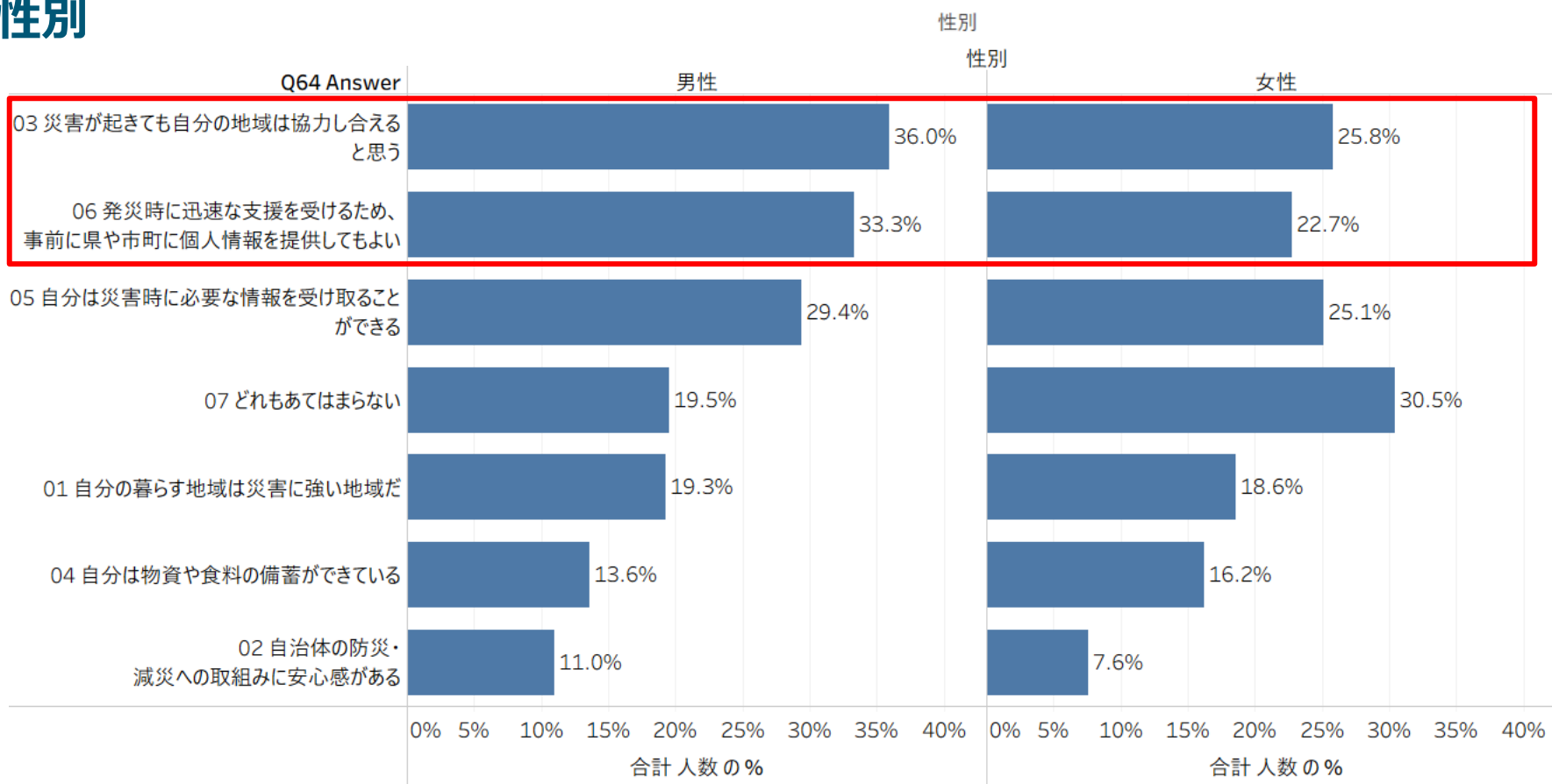
全体



64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

「災害が起きても自分の地域は協力し合えると思う」「発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい」は男女間で10ポイント以上差があり、男性の方が選択割合が高い。女性の方が情報提供に慎重な傾向がある。

性別

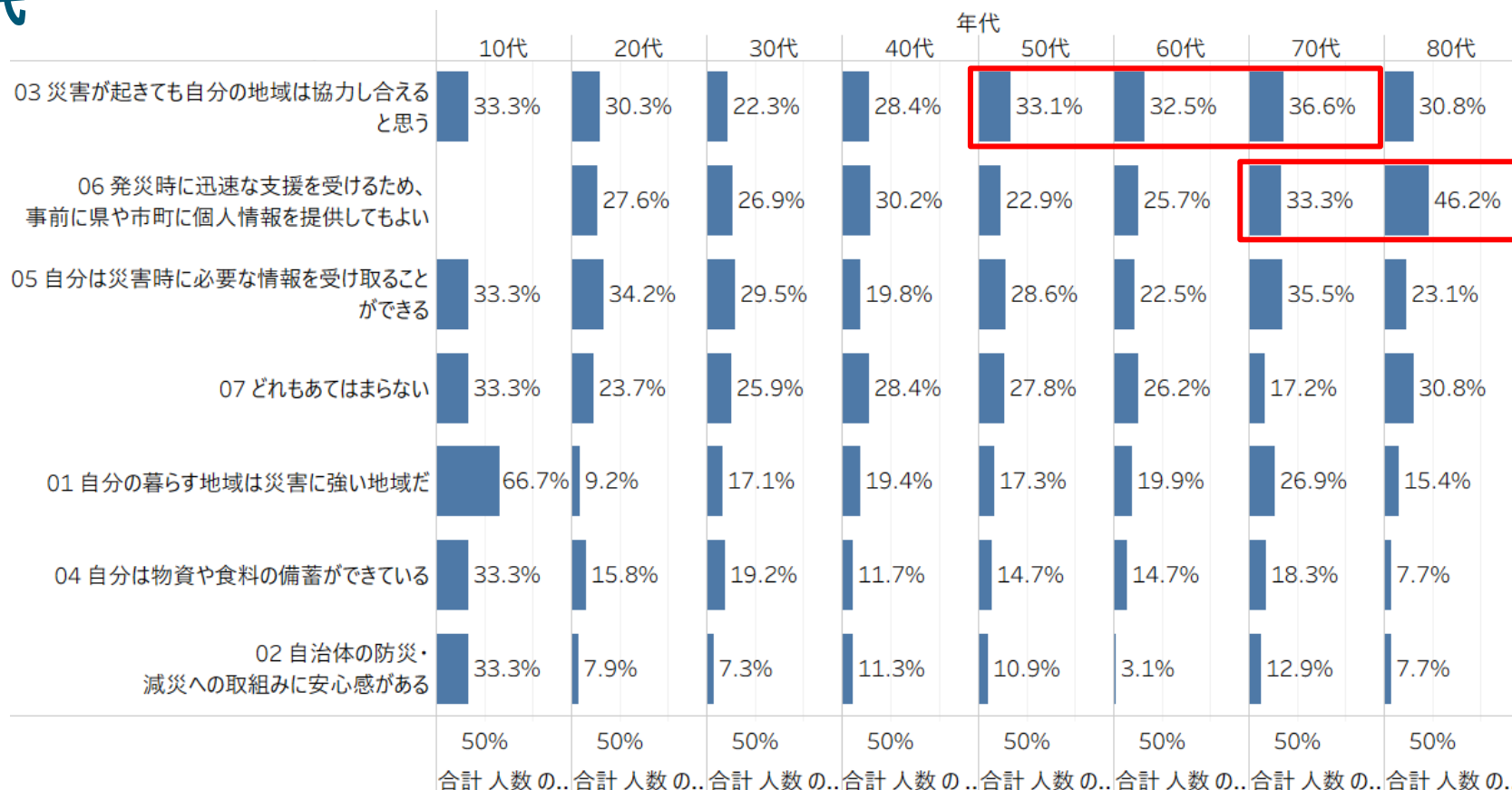


※ 性別「回答しない」を除く

64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

「災害が起きても自分の地域は協力し合えると思う」と考える人の割合は50-70代で比較的高く、「発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい」は70代以上が高い傾向。

年代

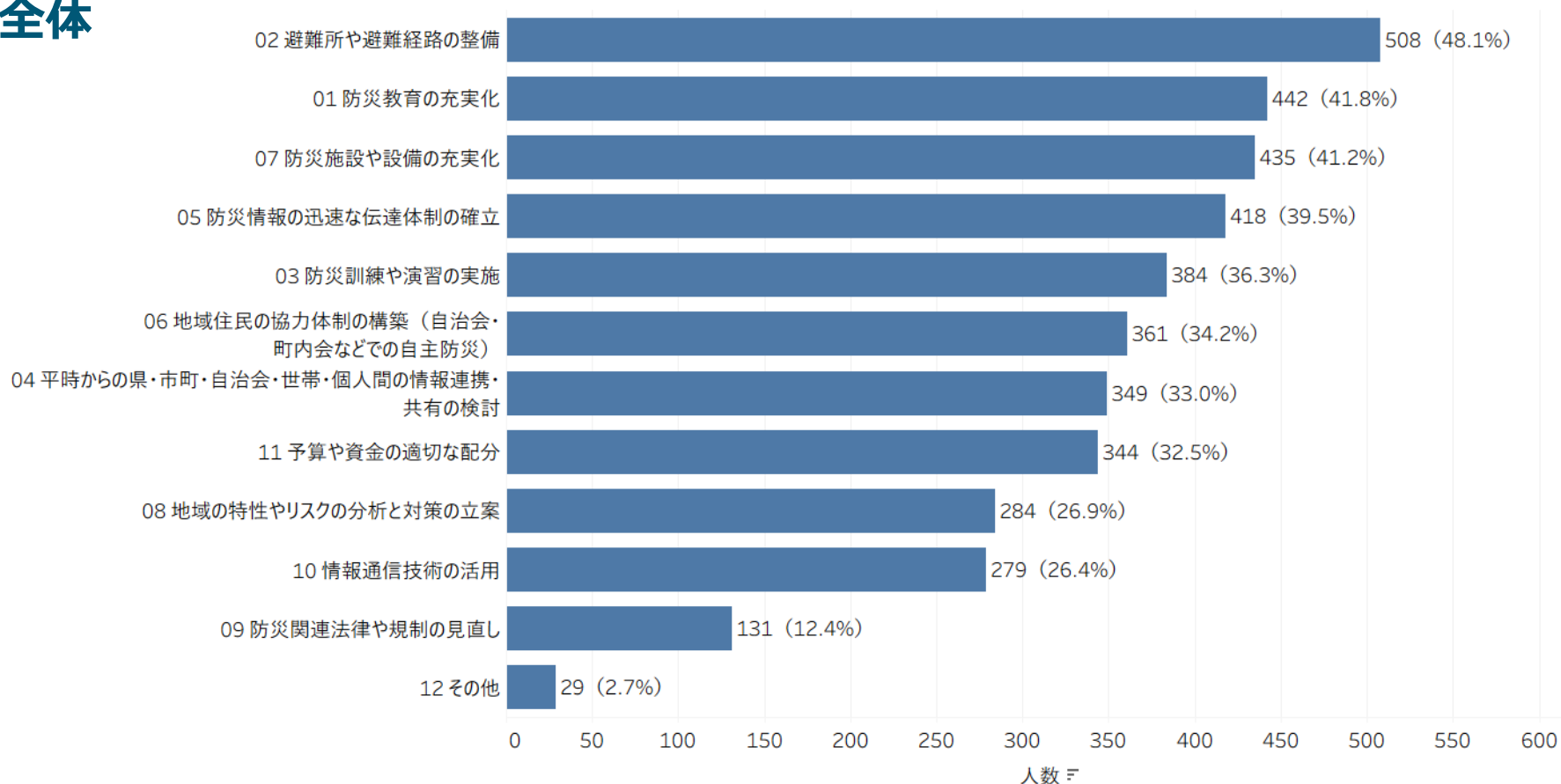


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当 てはまるものを全て選択）

- ・ 「避難所や避難経路の整備」が最も多く48.1%
- ・ 次いで「防災教育の充実化」が41.8%

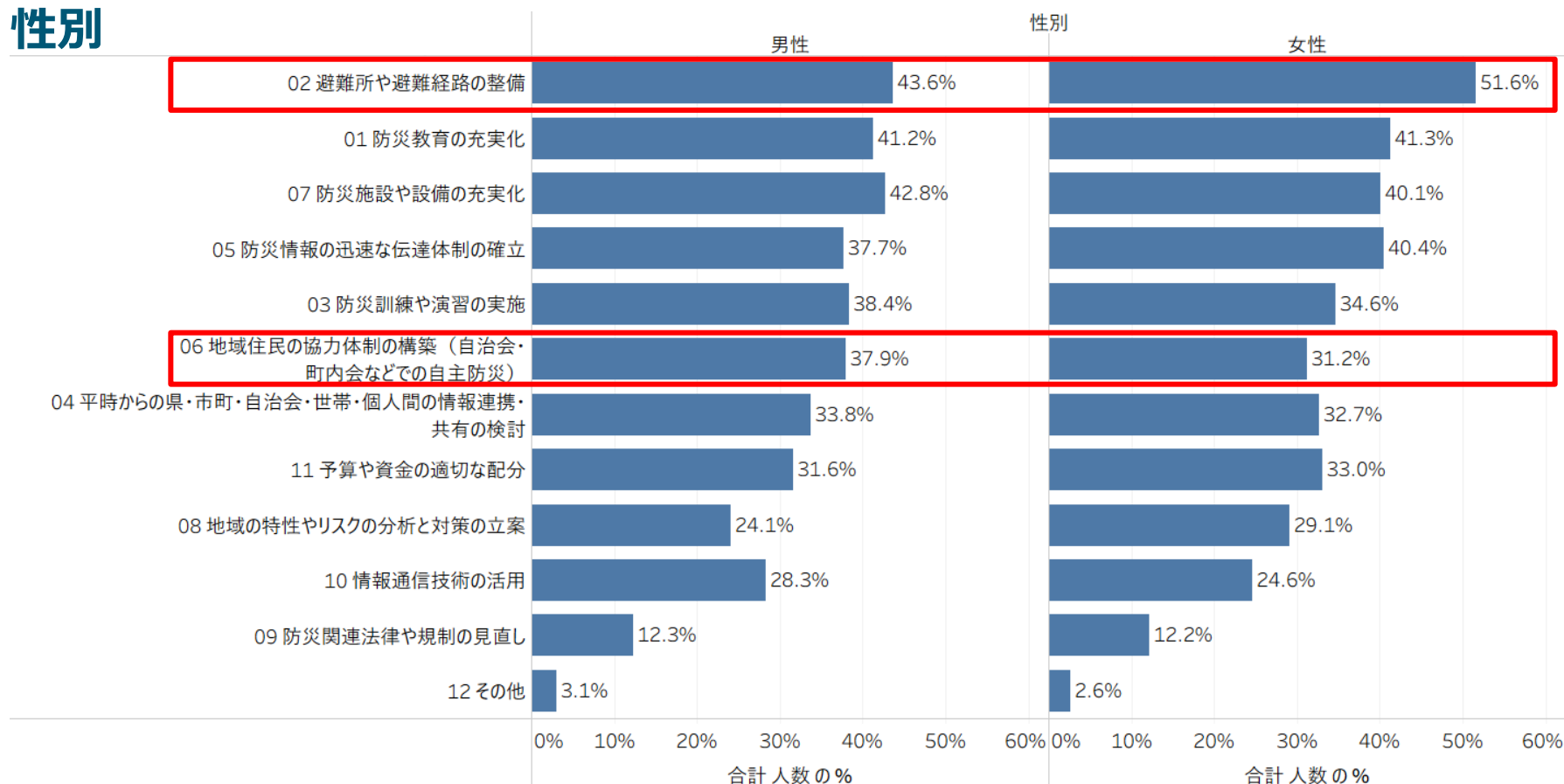
全体



65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

「避難所や避難経路の整備」は女性の方が割合が高く、「地域住民の協力体制の構築」は男性の方が割合が高い傾向にある。

性別

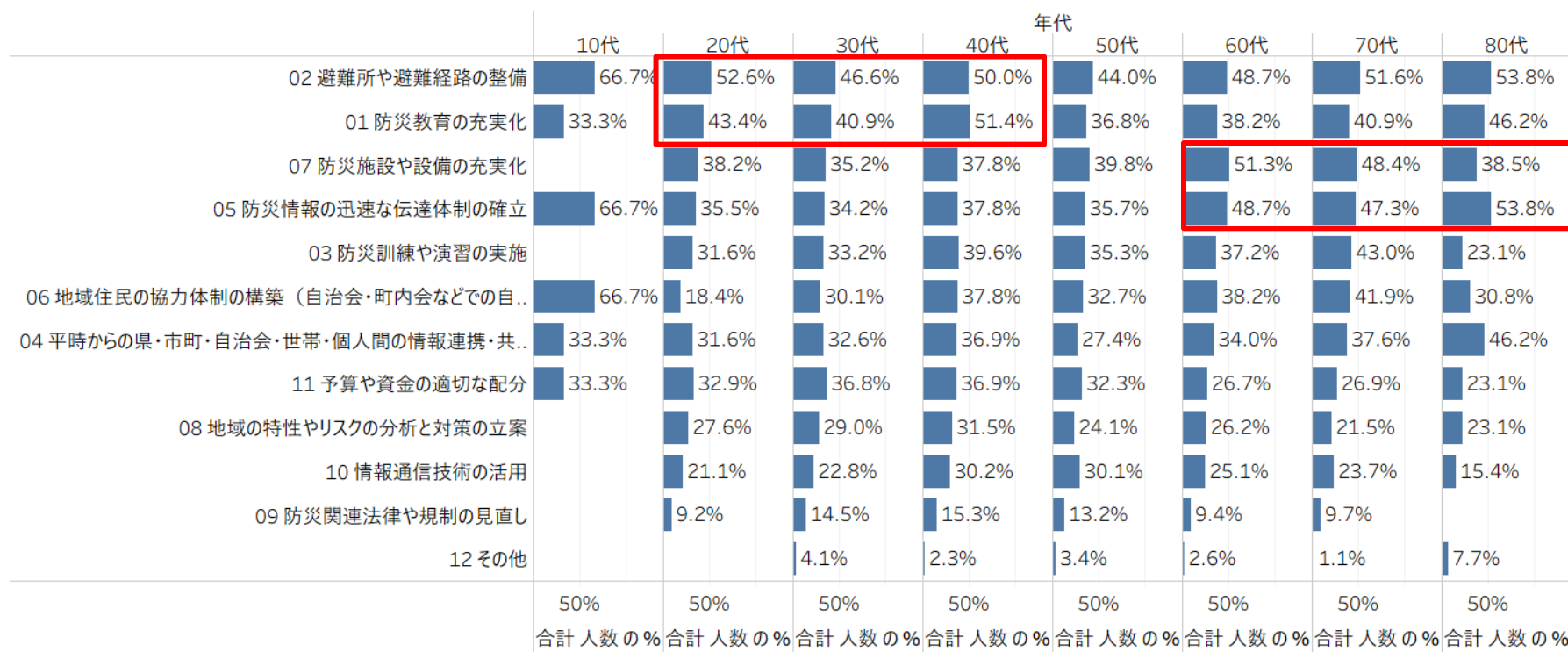


※ 性別「回答しない」を除く

65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

20～40代は「避難所や避難経路の整備」「防災教育の充実化」を選択する割合が比較的高く、世代が上がると「防災施設や設備の充実化」「防災情報の迅速な伝達体制の確立」が必要だと考える人の割合が高くなる傾向にある。

年代



65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

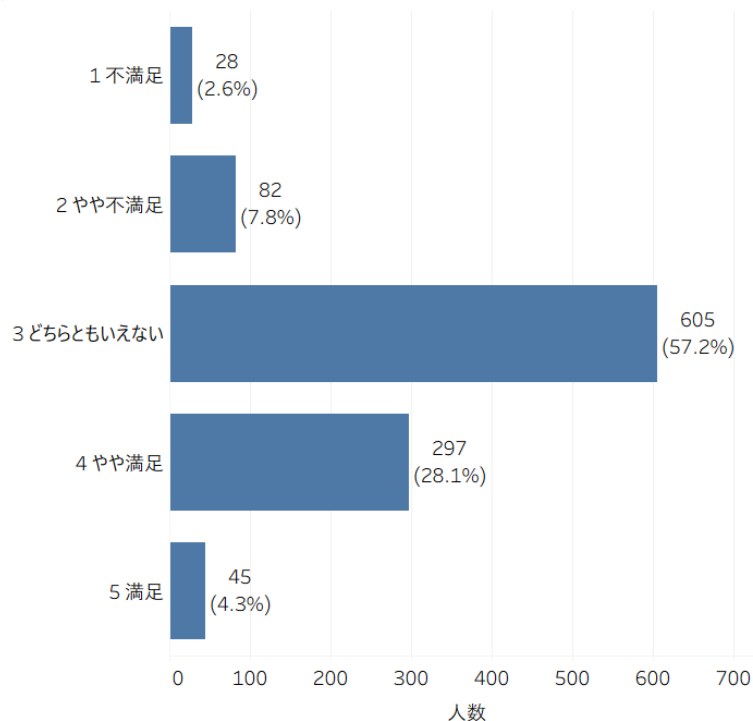
その他（自由記述）※生成AIによる意見の集約

カテゴリ	意見
インフラ・施設整備	避難所や耐震に関する意見：インフラありきではなく、“無い場合”を想定しての訓練が必要と思っています。また、水・トイレ・避難所の実際について、耐震基準の意識など意識のアップデート機会が必要。
	インフラ停止リスクへの備え：デジタル化もよいが、東日本大震災時も能登半島地震の時も震源地に近い地域はネット環境を含めたインフラが全て止まる。アナログでの備えも必要。
訓練・教育・普及	避難訓練・防災訓練：従来型の防災訓練だけでは参加者が限られるため、柔軟な日程設定や楽しさを取り入れた形での普及が必須。
	教育・若年層への意識醸成：若い世代を地域に残し、生きやすい環境を作る。自信を無くさない教育を子供の頃から行うことが必要。
	専門人材の育成：専門資格である防災士を持つ人材を育成・増員することが地域防災力向上につながる。
自助・共助・公助の強化	自助・共助の推進：地域住民一人ひとりの自立心と協力関係を強め、日常的な共助活動を実践することが求められている。
	災害弱者への配慮：災害時に取り残されやすい人々を事前に把握し、合意形成や福祉避難の仕組みを強化することが重要。
情報伝達・周知	情報共有・周知方法：地域に任せていても全市民への周知はできない。チラシや広報を全戸配布していても見えていない人がいるから伝わらない。ネットやテレビcm、駅前や商業施設に電光掲示板（市からのお知らせ）を流すなどして、幅広く周知できるようにしてほしい。
政策・行政運営	政治・行政に関する意見：防災力強化には政策転換や行政のリーダーシップが不可欠だが、一部では自治会運営への不満や不信感も示されている。

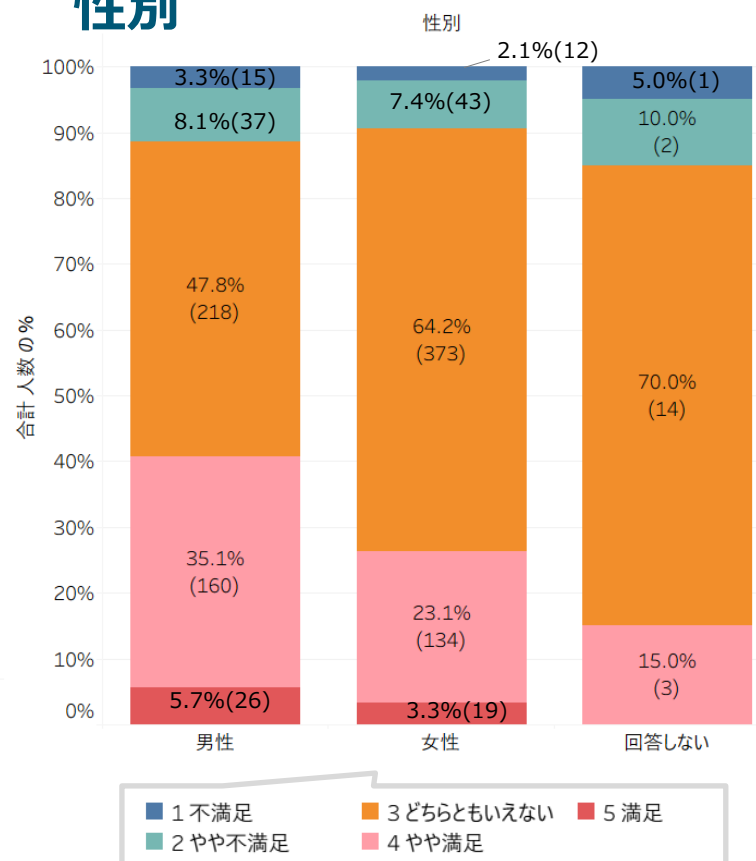
66. 石川県がおこなう災害関連情報ダッシュボード（防災ポータル、いしかわポータル（LINE）、みち情報ネット、河川総合情報システム、土砂災害情報システムなど）にどの程度満足していますか

- 全体では「どちらともいえない」が最も多く57.2%
- ダッシュボードの利用状況によることも考えられる

全体



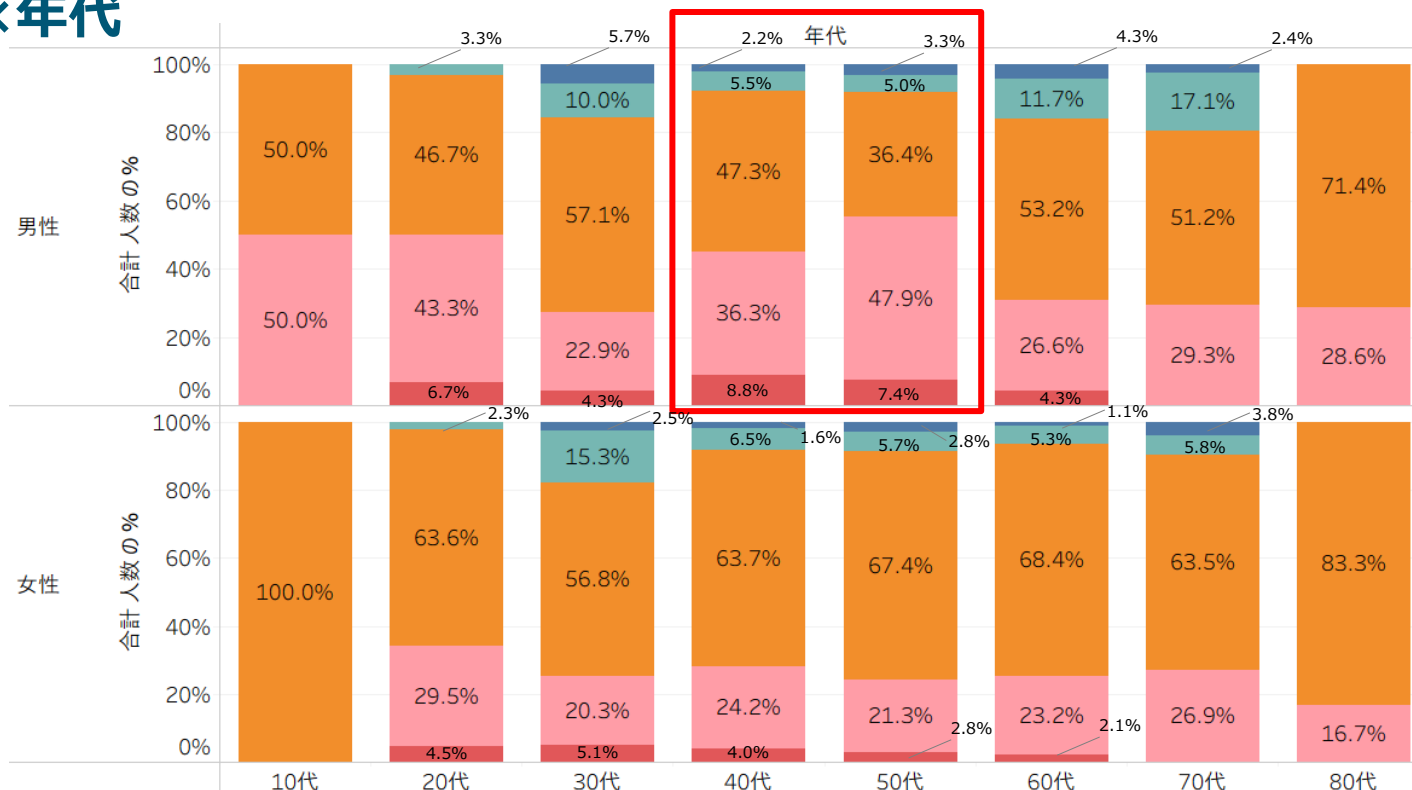
性別



66. 石川県がおこなう災害関連情報ダッシュボード（防災ポータル、いしかわポータル（LINE）、みち情報ネット、河川総合情報システム、土砂災害情報システムなど）にどの程度満足していますか

40, 50代男性のダッシュボードに満足率が高い傾向

性別×年代

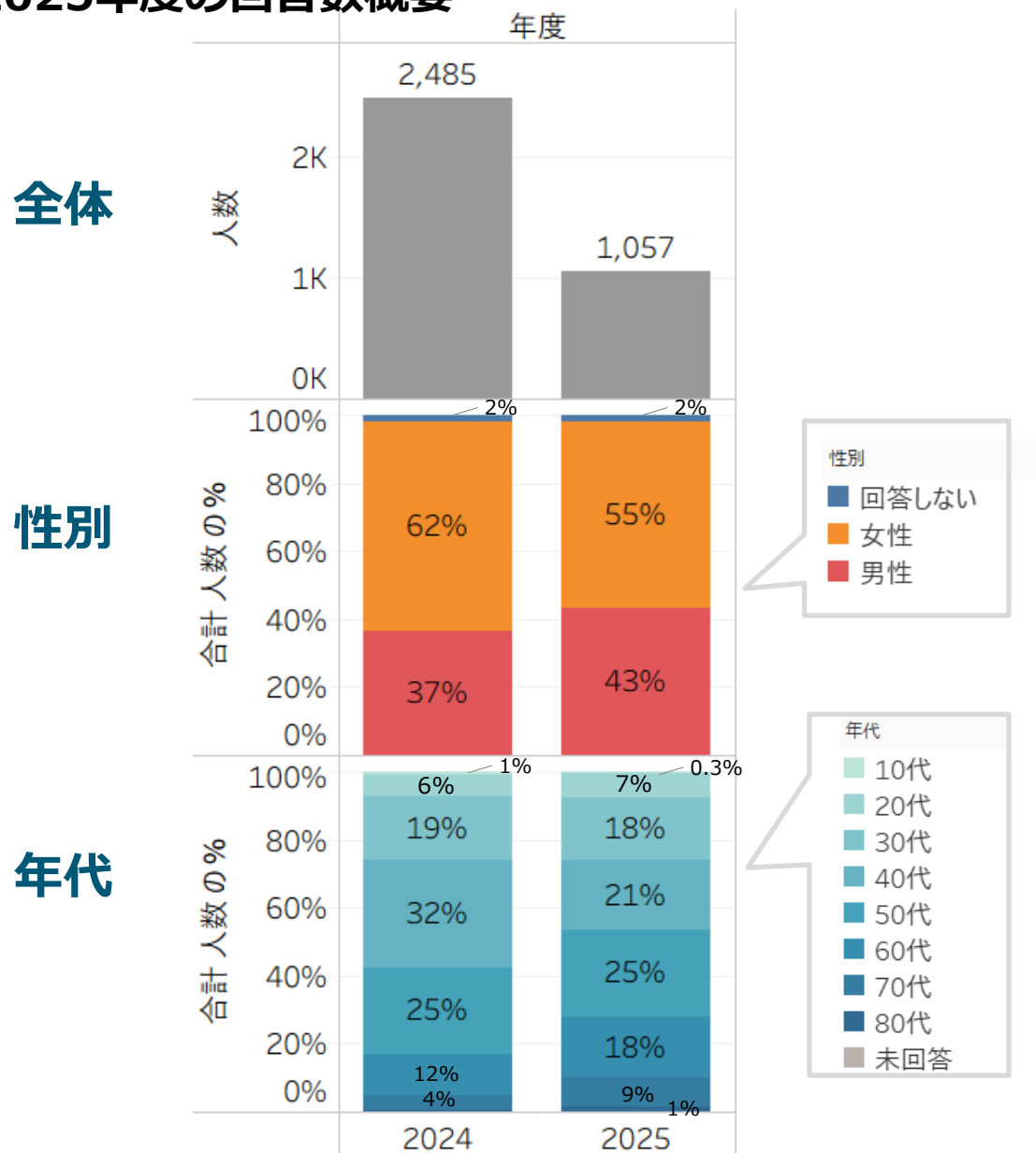


■ 1 不満足 ■ 3 どちらともいえない ■ 5 満足
■ 2 やや不満足 ■ 4 やや満足

※ 性別「回答しない」を除く
※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

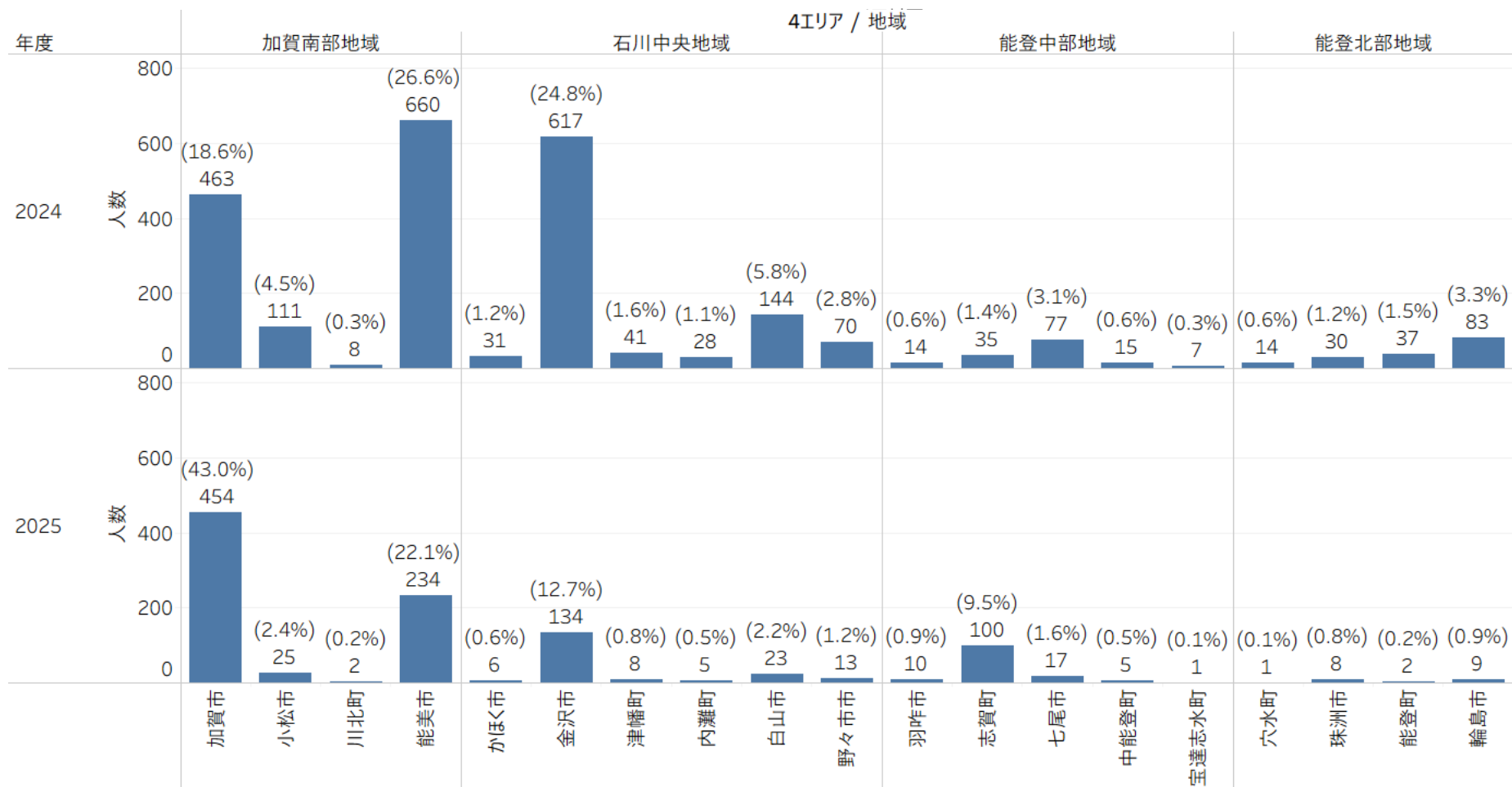
3. 幸福感（Well-being）の昨年度比較

2024年度, 2025年度の回答数概要



2024年度, 2025年度の回答数概要

地域



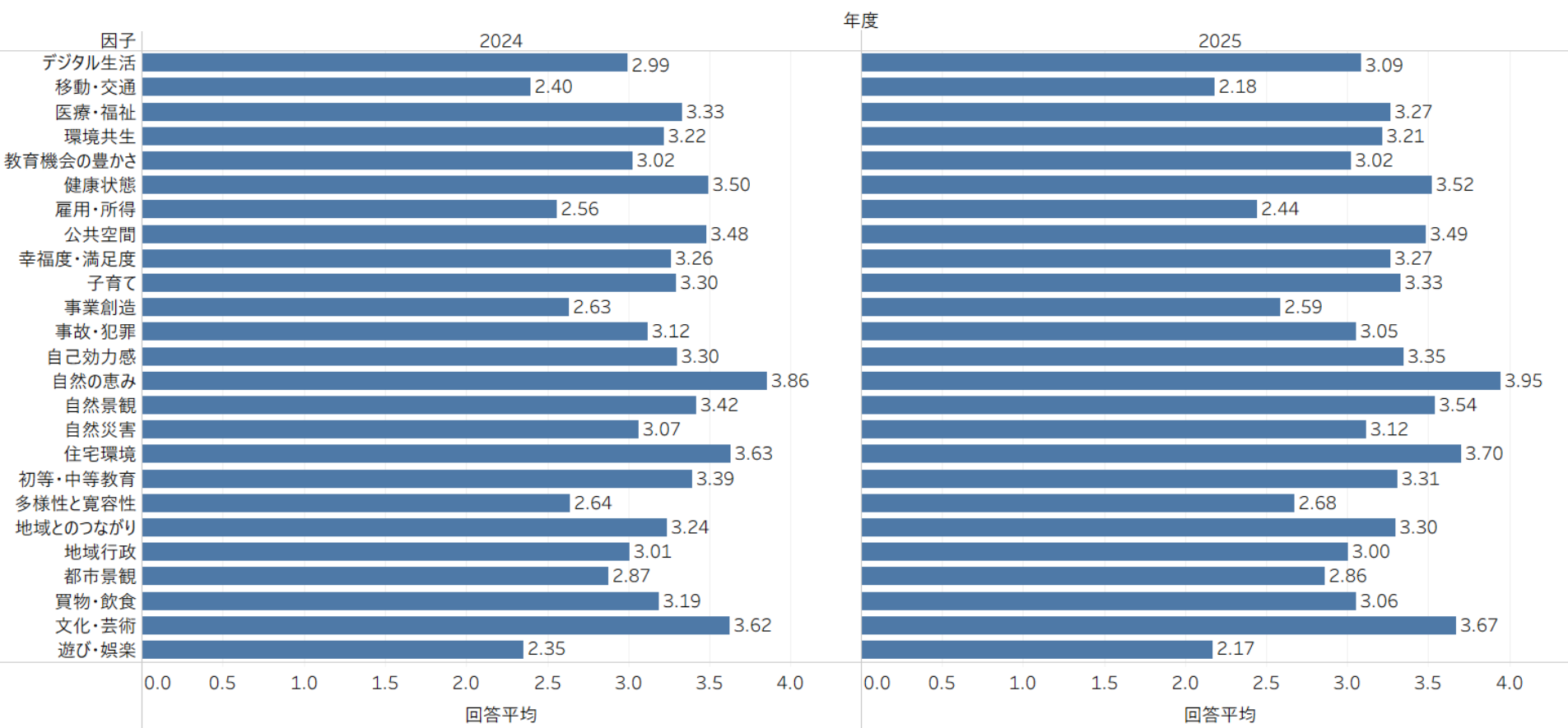
因子別の昨年度比較



2024年度, 2025年度の因子別平均

LWCI設問の回答（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）の点数平均をグラフ化

全体



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

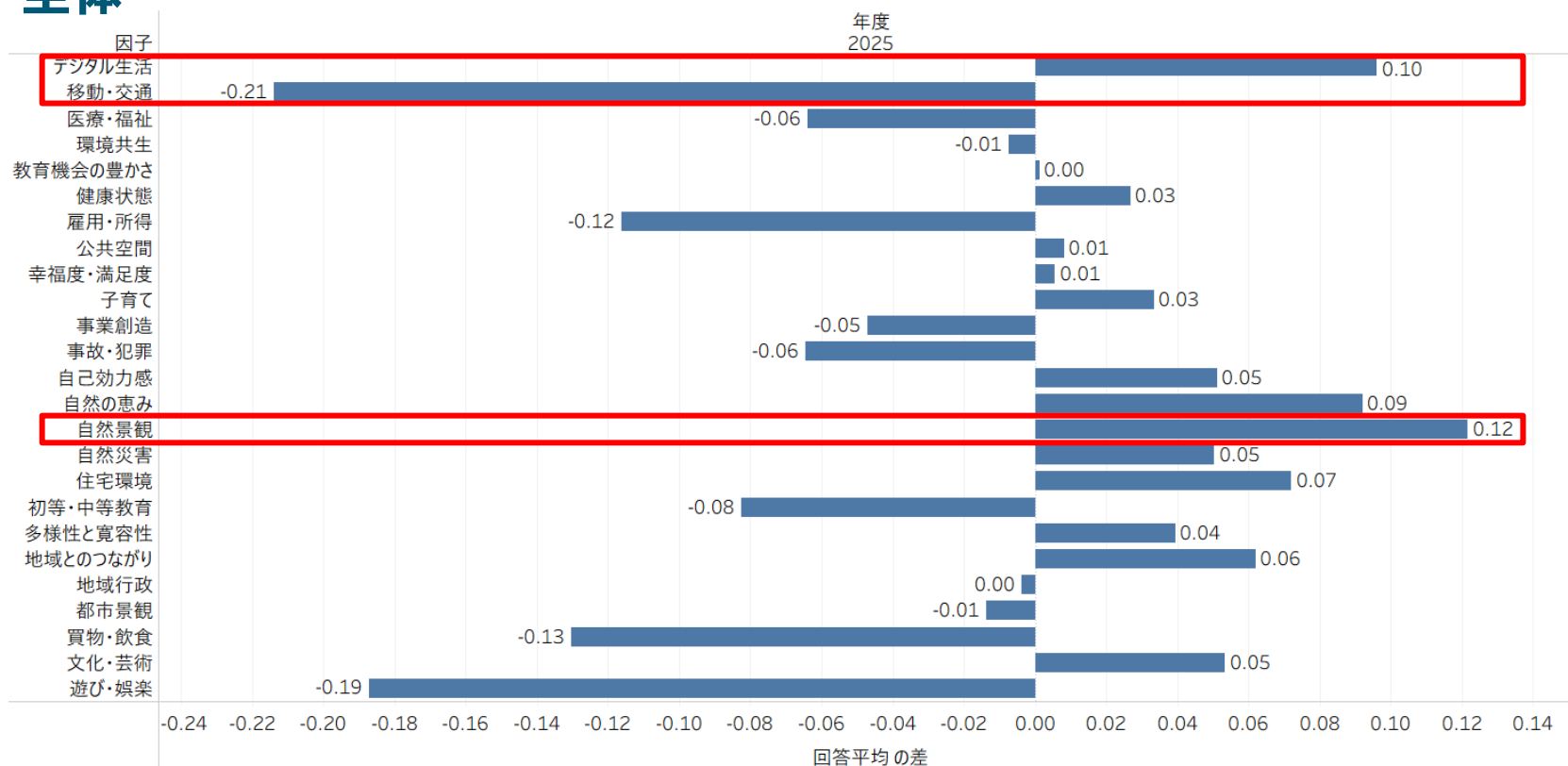
因子別の昨年度比較

2024年度の平均に対する2025年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

LWCI設問の回答（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）の点数平均をとり、昨年度との差分をグラフ化

2024年度に対して「デジタル生活」「自然景観」因子は平均が大きくプラスに伸び、「移動・交通」が最もマイナスとなった。

全体



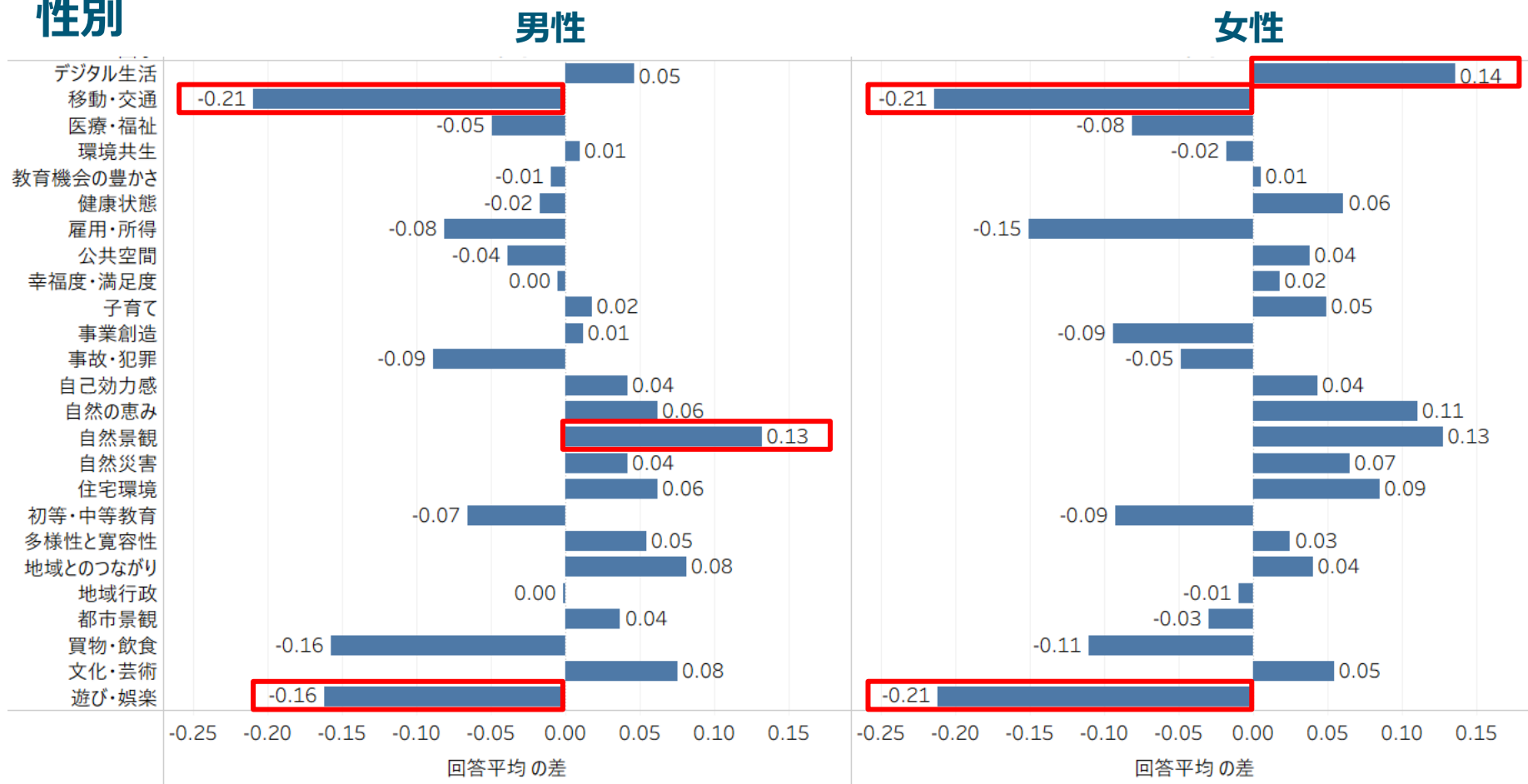
※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

因子別の昨年度比較

2024年度の平均に対する2025年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

- ・ 男性は「自然景観」、女性は「デジタル生活」が最もプラスとなった
- ・ 男女ともに「移動・交通」「遊び・娯楽」が大きくマイナスとなった

性別



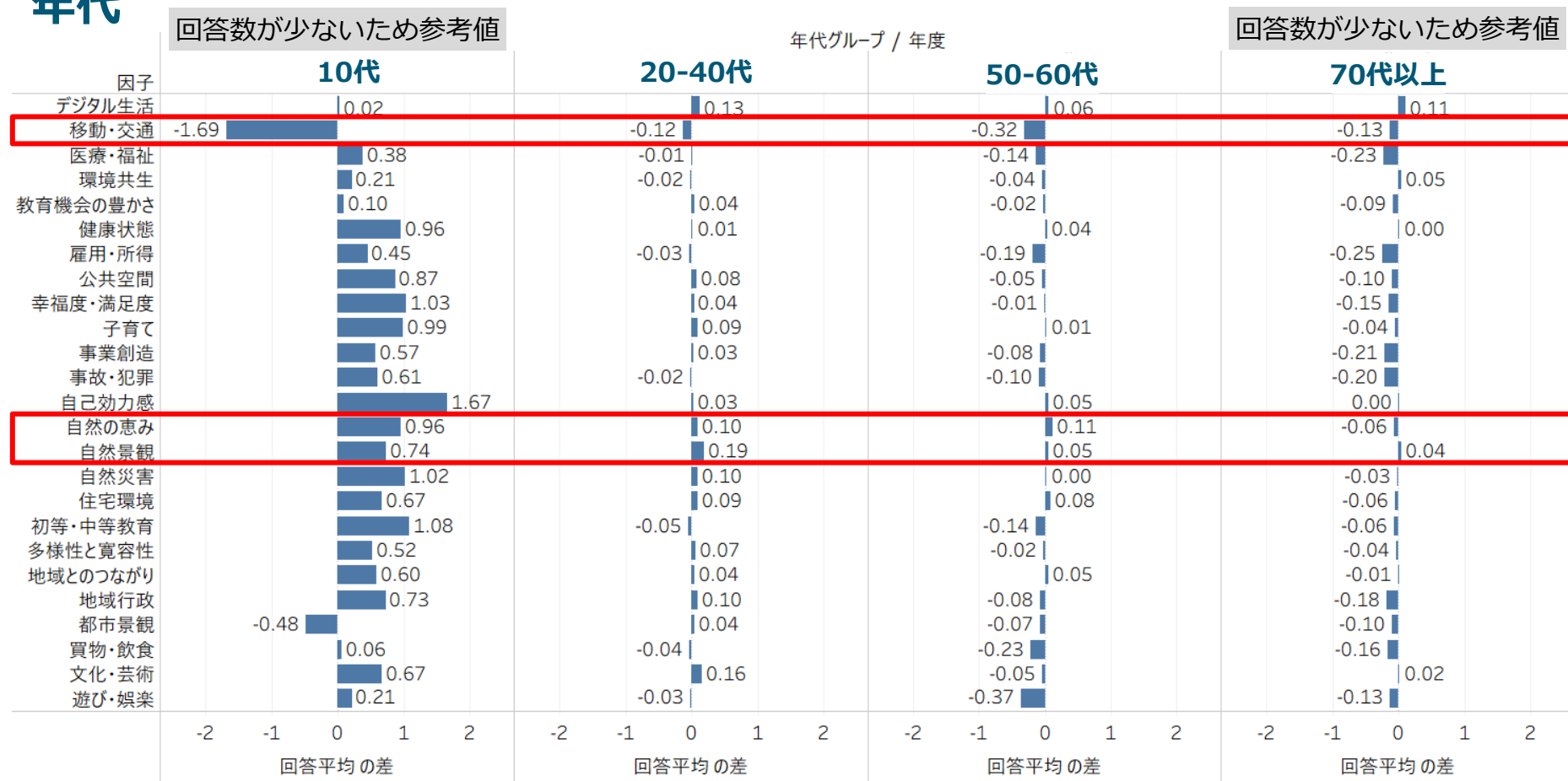
因子別の昨年度比較



2024年度の平均に対する2025年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

20-40代は「自然景観」、50-60代は「自然の恵み」が最もプラスになり、自然環境の改善がうかがえる。
一方で「移動・交通」は全年代でマイナスとなった。

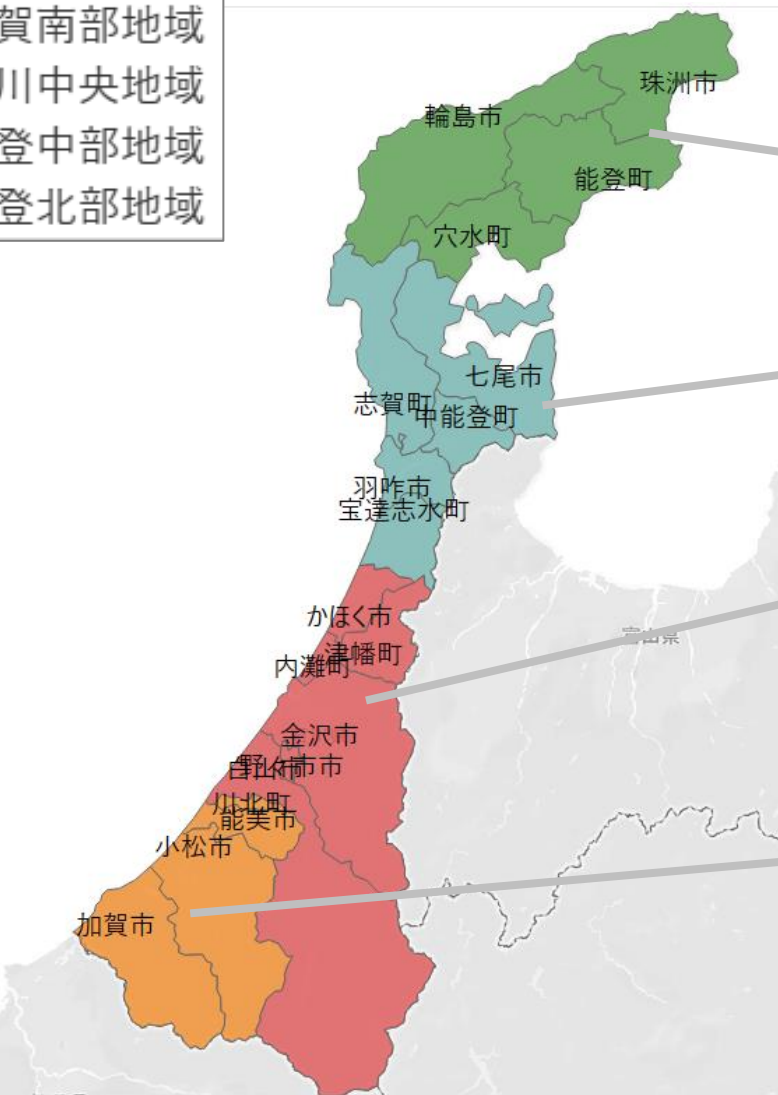
年代



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

4エリアの区分けによる因子別の昨年度比較

- 加賀南部地域
- 石川中央地域
- 能登中部地域
- 能登北部地域



4エリアの構成地域	
4エリア	地域
能登北部地域	穴水町
	珠洲市
	能登町
	輪島市
能登中部地域	羽咋市
	志賀町
	七尾市
	中能登町
	宝達志水町
石川中央地域	かほく市
	金沢市
	津幡町
	内灘町
	白山市
	野々市市
加賀南部地域	加賀市
	小松市
	川北町
	能美市

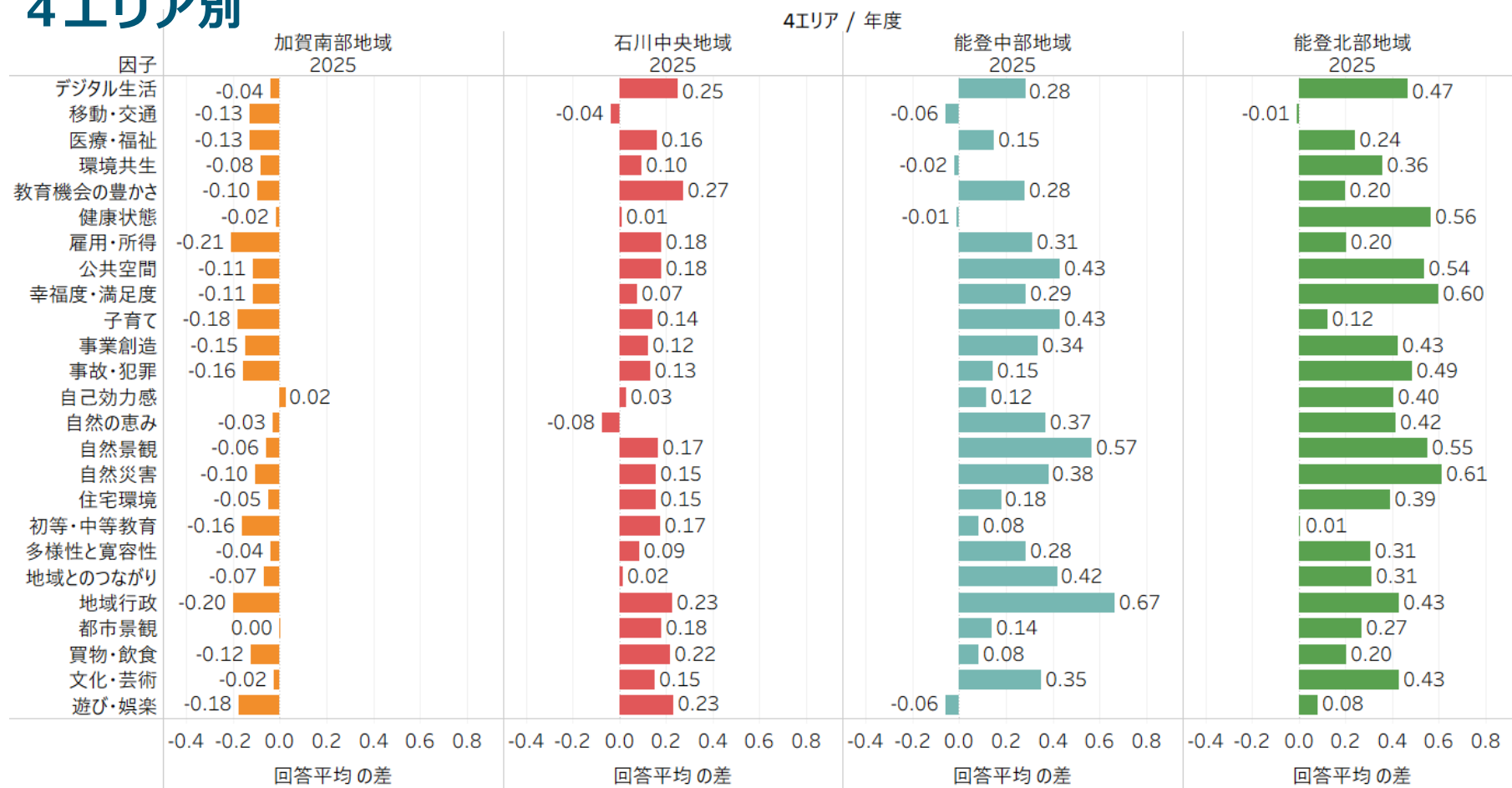
4エリアの区分けによる因子別の昨年度比較

2024年度の平均に対する2025年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

- ・ 加賀南部地域はマイナス、他3地域はプラスになった因子が多い傾向。

※回答者の減少や地域分布の変化による変動も含まれる

4エリア別



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

4. 幸福感（Well-being）の主観・客観の ギャップが大きい因子の把握

令和7年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物																												
<div>■ アンケート</div> <div><div>● 実施期間：令和7年度8月22日～9月21日</div><div>● 対象者：県内に居住する満18才以上の方</div><div>● 実施方法：WEBアンケート (設問数 LWCI標準51問+独自設問15問)</div></div>	<div>カテゴリー別</div> <div><div>主観データ 客観データ</div></div> <div>【出典】2025年度版(令和7年度版) Well-Being 個別調査</div> <div><div>主観指標と客観指標の上位・下位3因子、および主観客観ギャップの上位3因子</div><table><tr><th>No</th><th>主観上位</th><th>主観下位</th><th>客観上位</th><th>客観下位</th><th>客観 > 主観</th><th>主観 > 客観</th></tr><tr><td>1</td><td>文化・芸術</td><td>遊び・娯楽</td><td>地域行政</td><td>事業創造</td><td>移動・交通</td><td>文化・芸術</td></tr><tr><td>2</td><td>地域とのつながり</td><td>移動・交通</td><td>デジタル生活</td><td>買物・飲食</td><td>遊び・娯楽</td><td>地域とのつながり</td></tr><tr><td>3</td><td>自己効力感</td><td>雇用・所得</td><td>健康状態</td><td>地域とのつながり</td><td>雇用・所得</td><td>自己効力感</td></tr></table><div>※客観指標は2024年12月公開のデータ</div></div>	No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観	1	文化・芸術	遊び・娯楽	地域行政	事業創造	移動・交通	文化・芸術	2	地域とのつながり	移動・交通	デジタル生活	買物・飲食	遊び・娯楽	地域とのつながり	3	自己効力感	雇用・所得	健康状態	地域とのつながり	雇用・所得	自己効力感
No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観																							
1	文化・芸術	遊び・娯楽	地域行政	事業創造	移動・交通	文化・芸術																							
2	地域とのつながり	移動・交通	デジタル生活	買物・飲食	遊び・娯楽	地域とのつながり																							
3	自己効力感	雇用・所得	健康状態	地域とのつながり	雇用・所得	自己効力感																							
<div>調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果</div> <div><div>● 全体：昨年度に続き文化・芸術の主観指標が高く、<u>地域とのつながり</u>、<u>自己効力感</u>の主観指標も上がっている。一方で、移動・交通、雇用・所得の主観が客観指標よりも低い傾向にある。</div><div>● 注力指標（女性活躍・デジタル化・防災）： 女性活躍は、<u>男女の家事分担・育児分担について男女間で平等と感じる人の割合の差が小さくなった</u>。一方で介護に対しては差が開き、今後課題になってくる可能性がある。デジタル化は昨年度と同様に肯定派の割合が高く、<u>否定派は「怖いから」よりも「面倒くさいから」と回答した人が多い</u>。防災については県民が取り組みたいと考える対策、取得したい防災関連情報が明らかとなった。</div><div>● 客観>主観 因子： ギャップが大きい移動・交通、雇用・所得、遊び・娯楽因子は特に居住エリアによる差異が大きいことが明確になった。住みやすさにつながる指標であるため、今後も注視および深掘りを検討する。</div></div>																													

分析対象の2因子とLWCI設問



令和7年度のWell-Being指標にて、主観偏差値が客観偏差値よりも特に低かった、「移動・交通」「雇用・所得」の2因子を対象とし、アンケート結果を用いて2因子の特徴を様々な視点から分析した。

【2因子のLWCI設問】

因子	設問番号	設問
移動・交通	13	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
雇用・所得	49	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい
	50	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある

※アンケート回答は設問ごとに以下から選択

非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

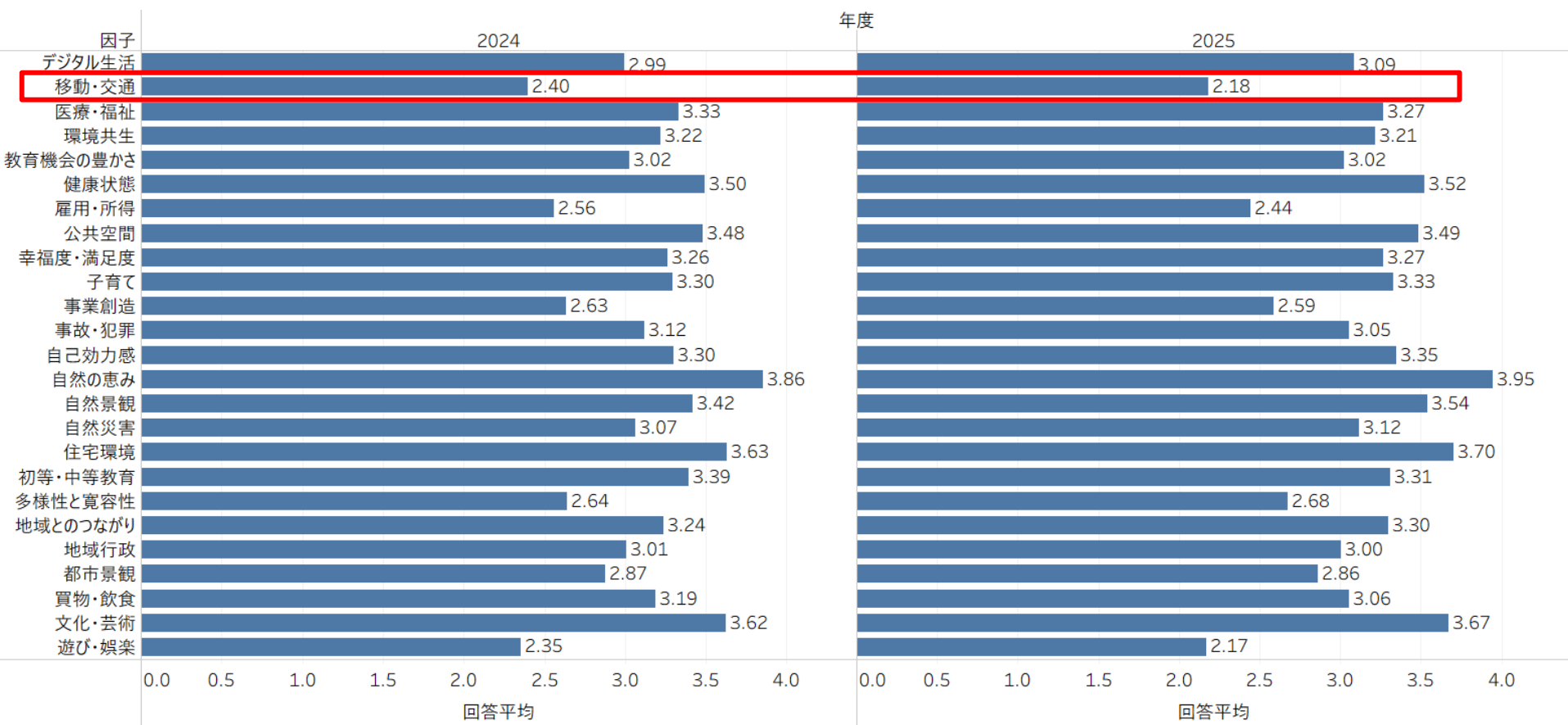
4-1. 移動・交通因子の分析

移動・交通因子



移動・交通因子の回答平均値（2024年度、2025年度）

「移動・交通」因子の平均は、昨年も中間の3を下回る2.4だったが、さらに0.22下がり2.18となった。



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

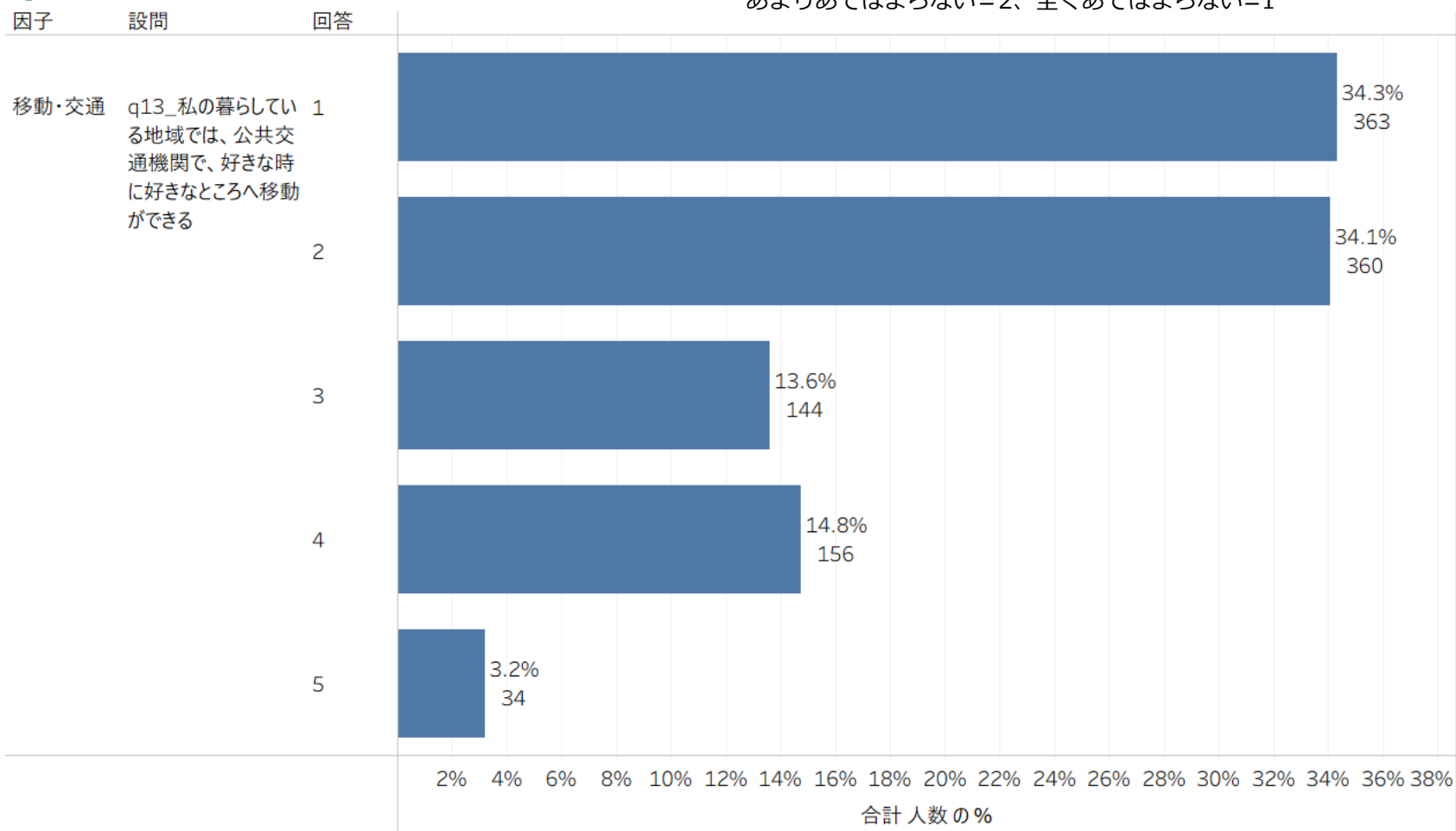
※ 住宅環境因子を除く

選択肢ごとの回答者

1, 2と回答した人の割合が70%近い。県全体で見たとき、公共交通機関では移動が不便な場合もあることが伺える。移動手段が車メインの地域では点数が低くなっていることが考えられる。

全体

非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

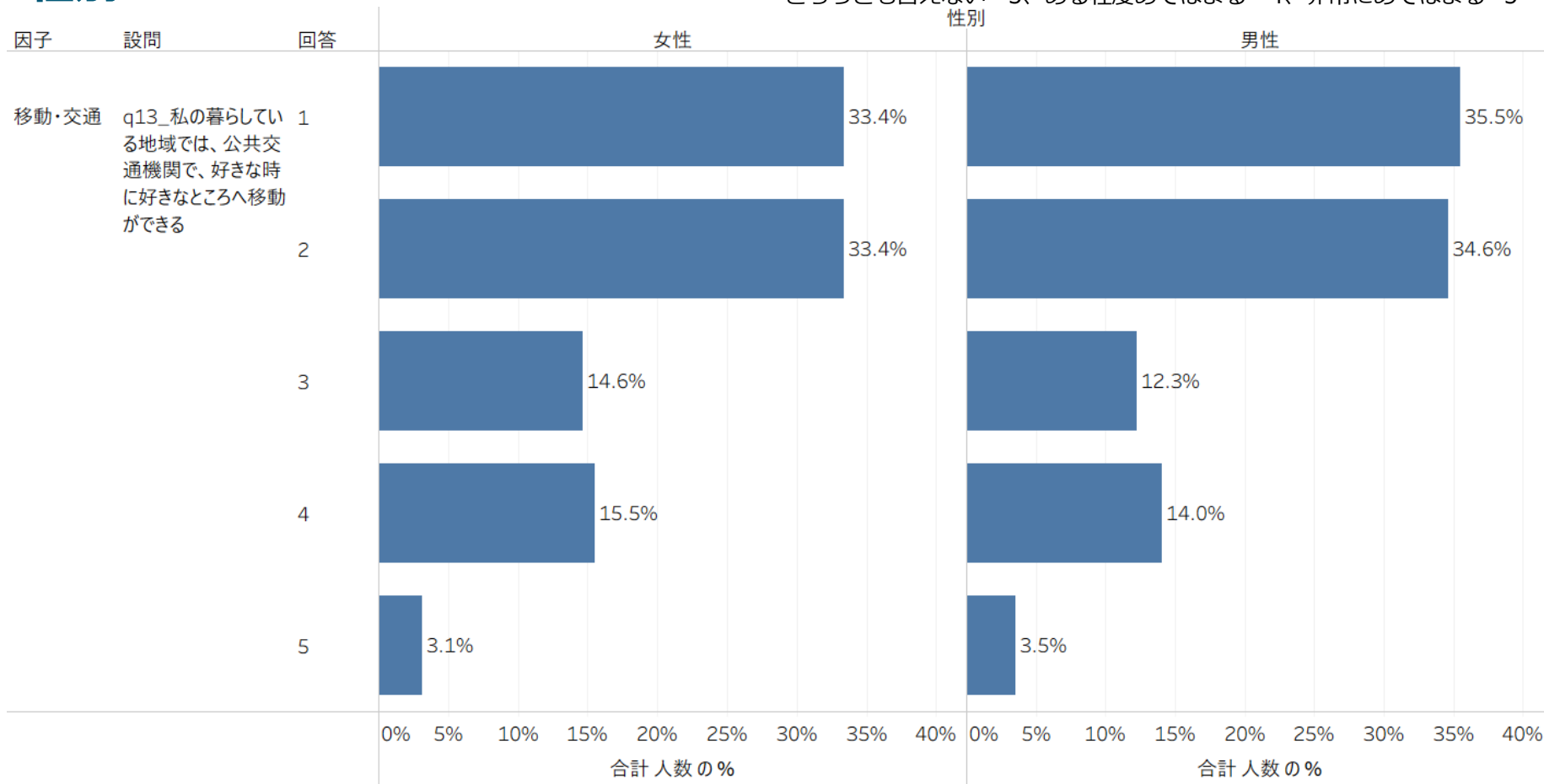


選択肢ごとの回答者

性別による傾向の大きな違いは見られず、男女共に全体と同様の分布である。

性別

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5

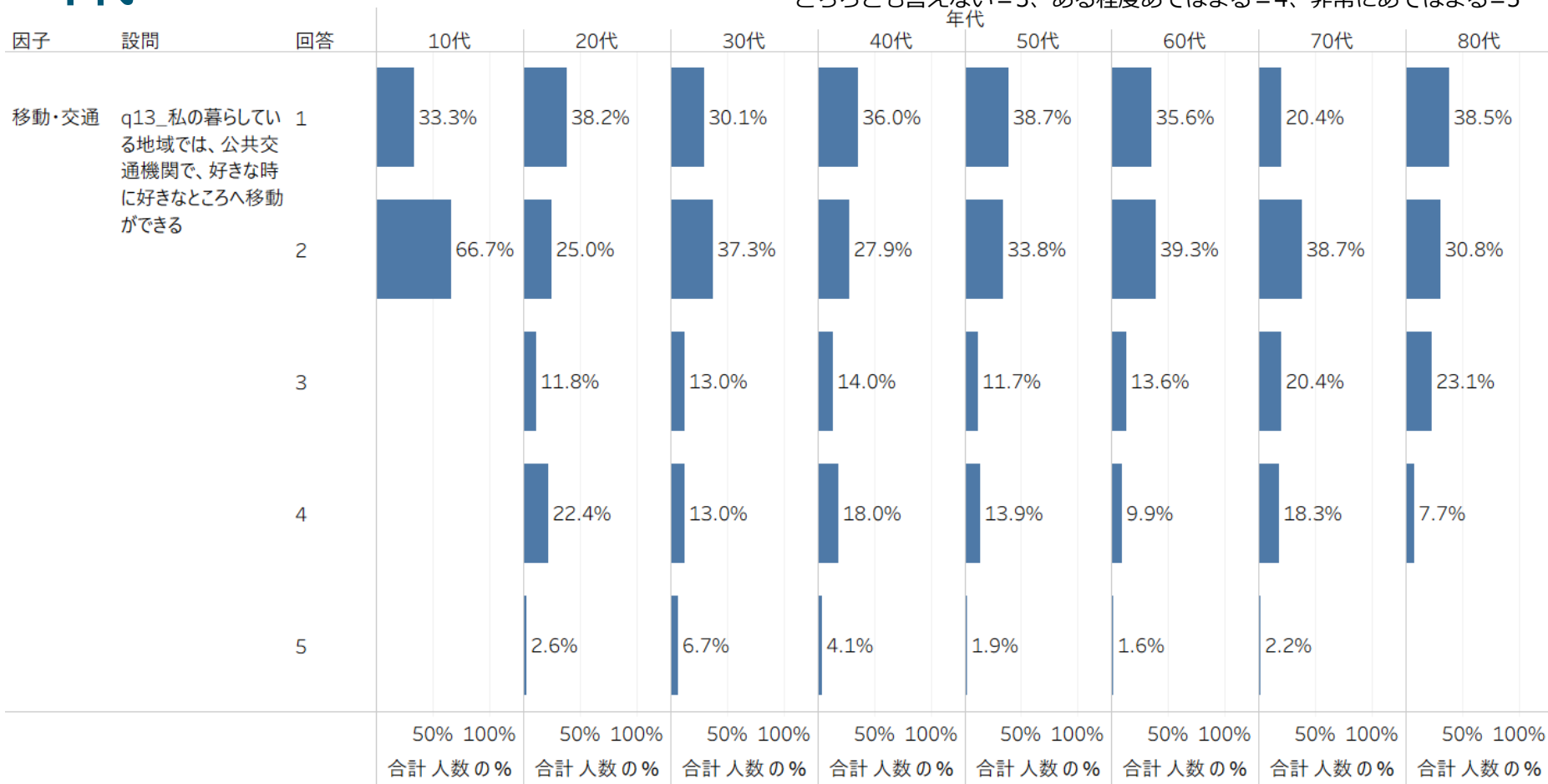


選択肢ごとの回答者

年代ごとでも大きな違いは見られず、全体と同様の傾向となっており、公共交通機関での移動に対する不便さは年代間で大きな差異はないとみられる。

年代

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5



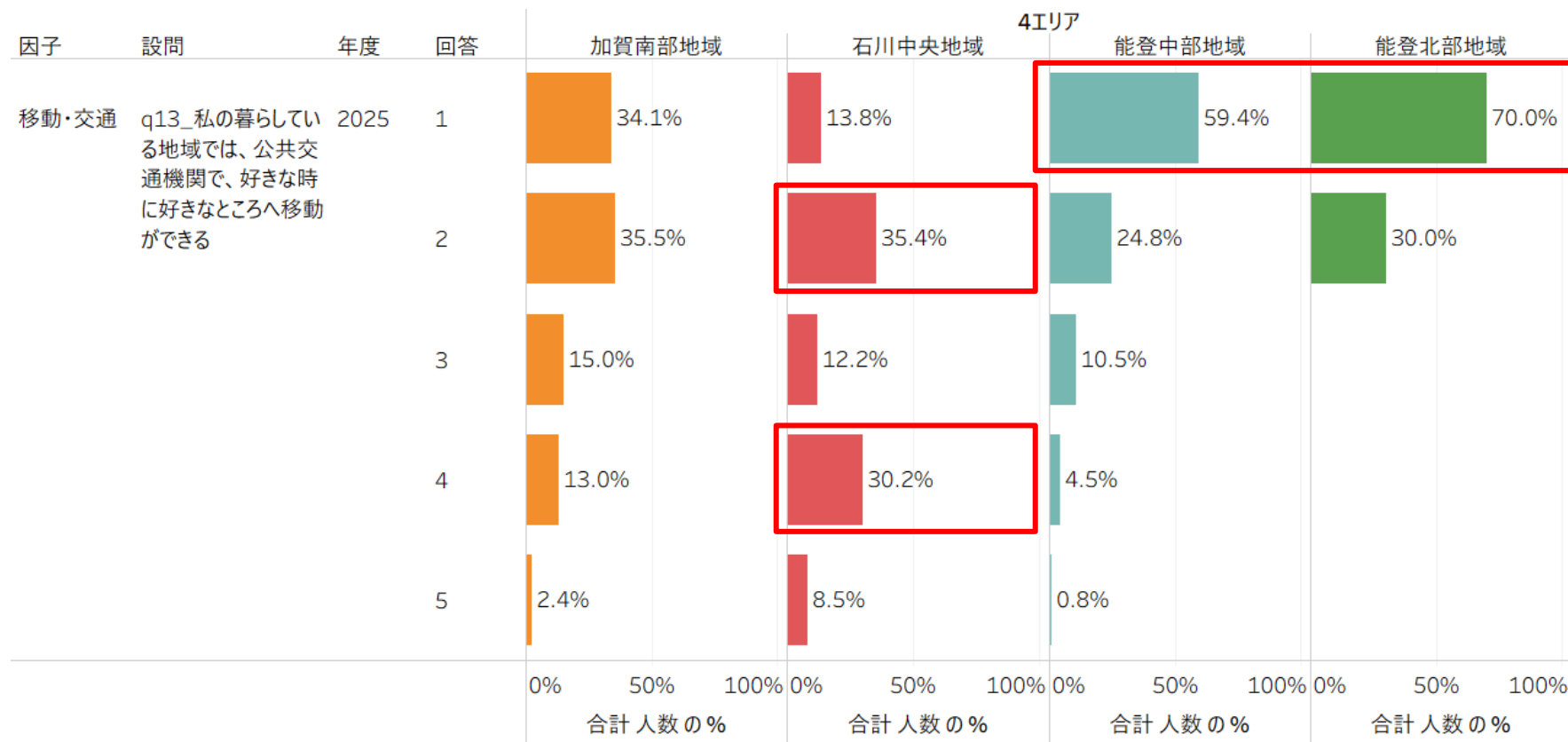
※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

選択肢ごとの回答者

エリアごとに見ると、昨年に続き能登中部地域と能登北部地域で点数が特に低い傾向であり、主観偏差値への影響が大きいことがうかがえる。また、石川中央地域では選択肢2と4で2つの峰ができており、公共交通機関が便利な地域とそうでない地域の両方が存在すると推測される。

4エリア

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5

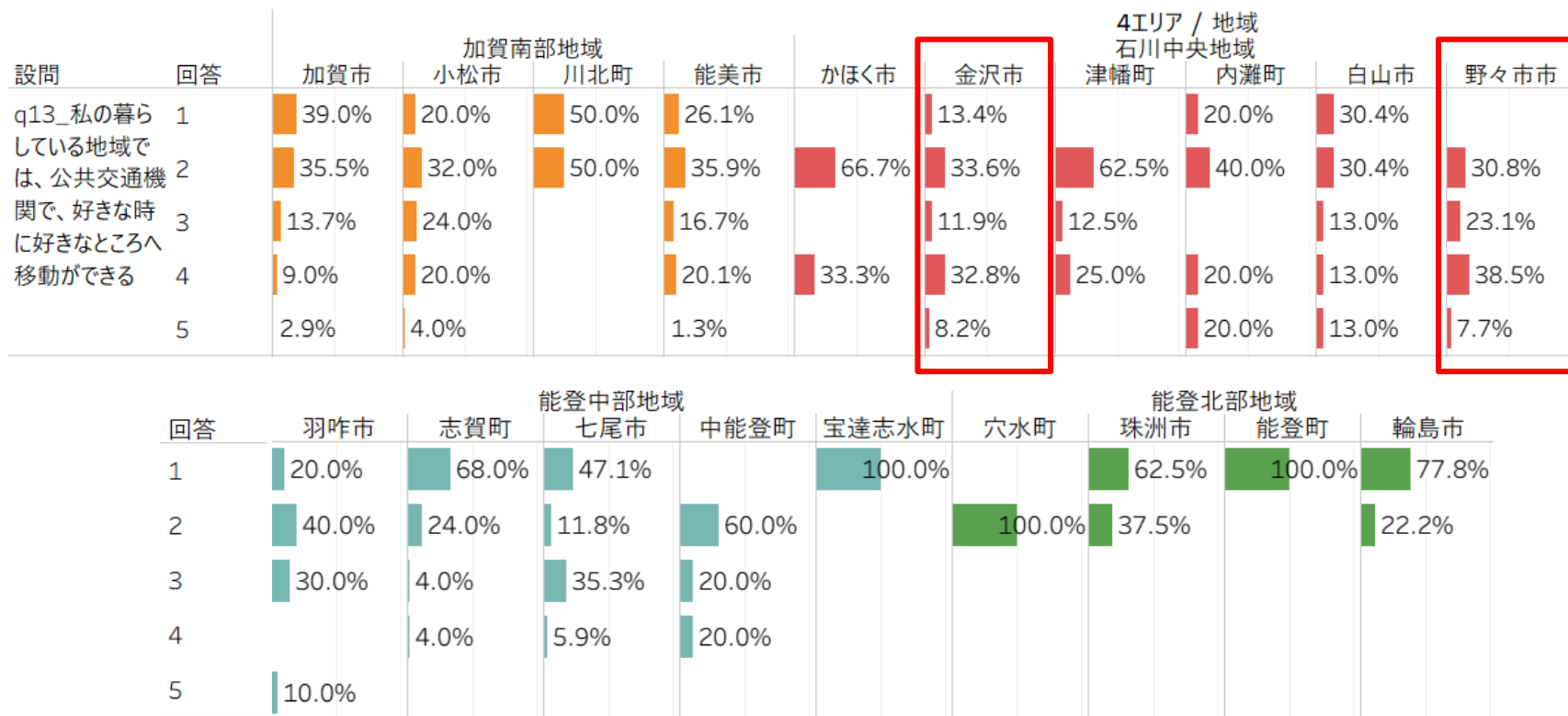


選択肢ごとの回答者

回答の傾向が2峰に分かれていた石川中央地域は、特に金沢市、野々市市で2峰に分かれる傾向がある。1,2に回答が寄る市町が多い中で4の回答も多いということなので、公共交通機関での移動が便利なエリアも含む市だと考えられる。

地域

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5



選択肢ごとの回答者

下図赤枠で囲った市町は昨年の傾向から変化が見られるが、回答者の変動による変化もあるため回答数が増えることでより傾向を捉えやすくなる。

5を回答している人が一定以上いる市町を見ることで、交通機関での移動が便利と感じる要素が見えてくる可能性がある。

地域 2024年度-2025年度比較

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5

設問	年度	回答	4エリア / 地域																		
			加賀市	加賀南部地域 小松市	川北町	能美市	かほく市	金沢市	石川中央地域 津幡町	内灘町	白山市	野々市市	羽咋市	志賀町	能登中部地域 七尾市	中能登町	宝達志水町	穴水町	能登北部地域 珠洲市	能登町	輪島市
q13_私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	2024	1	<div><div></div></div> 35.9%	<div><div></div></div> 25.2%	<div><div></div></div> 75.0%	<div><div></div></div> 25.6%	<div><div></div></div> 12.9%	<div><div></div></div> 14.3%	<div><div></div></div> 19.5%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 7.1%	<div><div></div></div> 42.9%	<div><div></div></div> 71.4%	<div><div></div></div> 49.4%	<div><div></div></div> 60.0%	<div><div></div></div> 57.1%	<div><div></div></div> 64.3%	<div><div></div></div> 83.3%	<div><div></div></div> 94.6%	<div><div></div></div> 67.5%
		2	<div><div></div></div> 37.4%	<div><div></div></div> 35.1%		<div><div></div></div> 34.8%	<div><div></div></div> 45.2%	<div><div></div></div> 26.6%	<div><div></div></div> 41.5%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 30.6%	<div><div></div></div> 17.1%	<div><div></div></div> 28.6%	<div><div></div></div> 22.9%	<div><div></div></div> 29.9%	<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 42.9%	<div><div></div></div> 21.4%	<div><div></div></div> 10.0%	<div><div></div></div> 5.4%	<div><div></div></div> 28.9%
		3	<div><div></div></div> 11.4%	<div><div></div></div> 18.0%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 19.1%	<div><div></div></div> 16.1%	<div><div></div></div> 17.5%	<div><div></div></div> 19.5%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 17.4%	<div><div></div></div> 18.6%	<div><div></div></div> 14.3%	<div><div></div></div> 2.9%	<div><div></div></div> 15.6%	<div><div></div></div> 13.3%			<div><div></div></div> 3.3%		<div><div></div></div> 2.4%
		4	<div><div></div></div> 12.7%	<div><div></div></div> 15.3%		<div><div></div></div> 17.1%	<div><div></div></div> 22.6%	<div><div></div></div> 31.6%	<div><div></div></div> 17.1%	<div><div></div></div> 21.4%	<div><div></div></div> 24.3%	<div><div></div></div> 40.0%	<div><div></div></div> 14.3%	<div><div></div></div> 2.9%	<div><div></div></div> 2.6%	<div><div></div></div> 6.7%		<div><div></div></div> 7.1%	<div><div></div></div> 3.3%		<div><div></div></div> 1.2%
		5	<div><div></div></div> 2.6%	<div><div></div></div> 6.3%		<div><div></div></div> 3.3%	<div><div></div></div> 3.2%	<div><div></div></div> 10.0%	<div><div></div></div> 2.4%	<div><div></div></div> 3.6%	<div><div></div></div> 2.8%	<div><div></div></div> 17.1%			<div><div></div></div> 2.6%			<div><div></div></div> 7.1%			
	2025	1	<div><div></div></div> 39.0%	<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 50.0%	<div><div></div></div> 26.1%		<div><div></div></div> 13.4%		<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 30.4%		<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 68.0%	<div><div></div></div> 47.1%		<div><div></div></div> 100.0%		<div><div></div></div> 62.5%	<div><div></div></div> 100.0%	<div><div></div></div> 77.8%
		2	<div><div></div></div> 35.5%	<div><div></div></div> 32.0%	<div><div></div></div> 50.0%	<div><div></div></div> 35.9%	<div><div></div></div> 66.7%	<div><div></div></div> 33.6%	<div><div></div></div> 62.5%	<div><div></div></div> 40.0%	<div><div></div></div> 30.4%	<div><div></div></div> 30.8%	<div><div></div></div> 40.0%	<div><div></div></div> 24.0%	<div><div></div></div> 11.8%	<div><div></div></div> 60.0%		<div><div></div></div> 100.0%	<div><div></div></div> 37.5%		<div><div></div></div> 22.2%
		3	<div><div></div></div> 13.7%	<div><div></div></div> 24.0%		<div><div></div></div> 16.7%		<div><div></div></div> 11.9%	<div><div></div></div> 12.5%		<div><div></div></div> 13.0%	<div><div></div></div> 23.1%	<div><div></div></div> 30.0%	<div><div></div></div> 4.0%	<div><div></div></div> 35.3%	<div><div></div></div> 20.0%					
		4	<div><div></div></div> 9.0%	<div><div></div></div> 20.0%		<div><div></div></div> 20.1%	<div><div></div></div> 33.3%	<div><div></div></div> 32.8%	<div><div></div></div> 25.0%	<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 13.0%	<div><div></div></div> 38.5%		<div><div></div></div> 4.0%	<div><div></div></div> 5.9%	<div><div></div></div> 20.0%					
		5	<div><div></div></div> 2.9%	<div><div></div></div> 4.0%		<div><div></div></div> 1.3%		<div><div></div></div> 8.2%		<div><div></div></div> 20.0%	<div><div></div></div> 13.0%	<div><div></div></div> 7.7%	<div><div></div></div> 10.0%								
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
			合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	合計人数..	

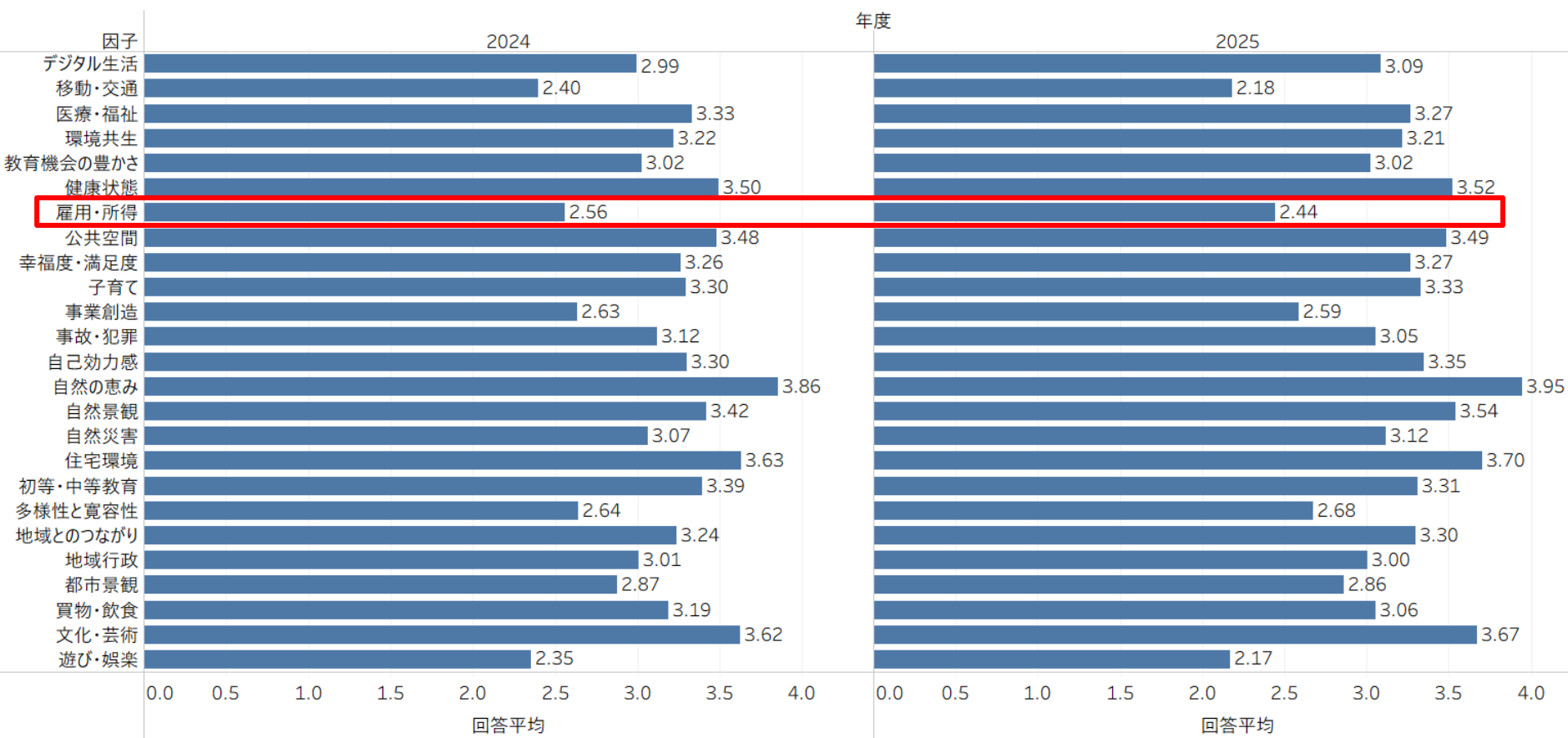
4-2. 雇用・所得因子の分析

雇用・所得因子



雇用・所得因子の回答平均値（2023年度、2024年度）

「雇用・所得」の因子の平均は、昨年も中間の3を下回る2.56であり、今年は少し下がり2.44となった。



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計

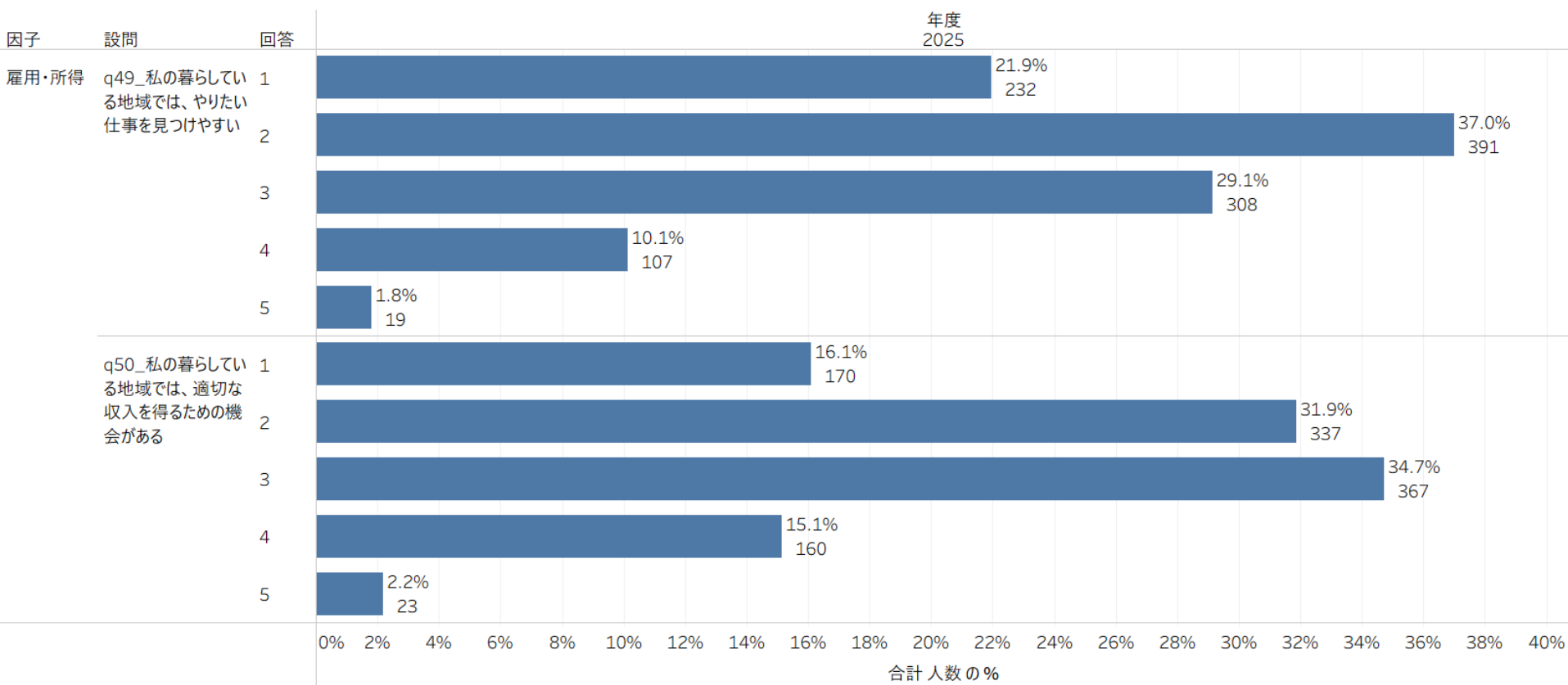
※ 住宅環境因子を除く

選択肢ごとの回答者

因子に含まれる2つの設問どちらも2,3の回答割合が高く、主観の平均が低くなっている。
比較的設問49の方が点数が低いため、収入を得るための機会よりもやりたい仕事を見つける機会が少ない傾向にある。

全体

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5

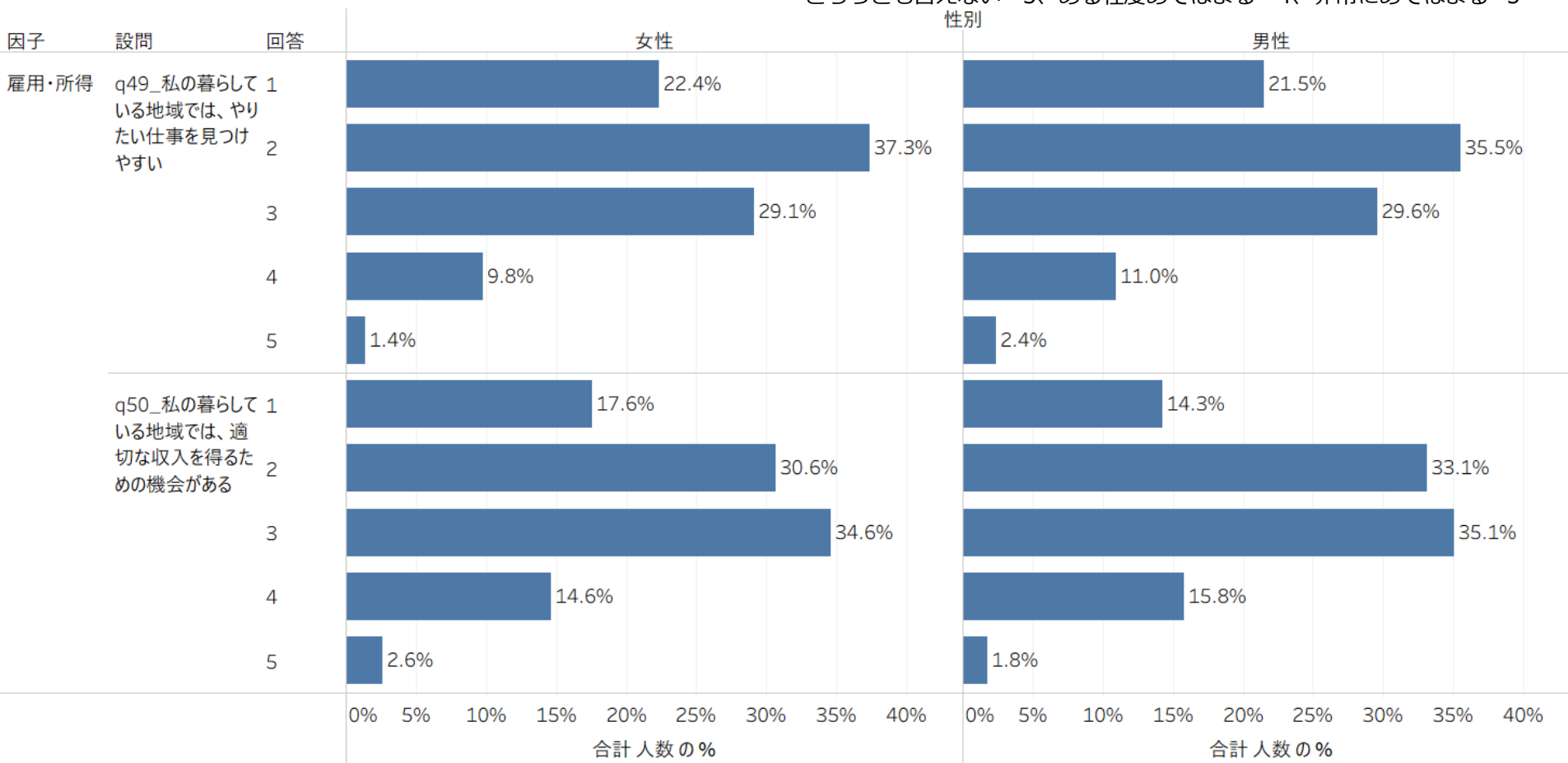


選択肢ごとの回答者

両設問とも男女で大きな差異は見られない。

性別

全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5

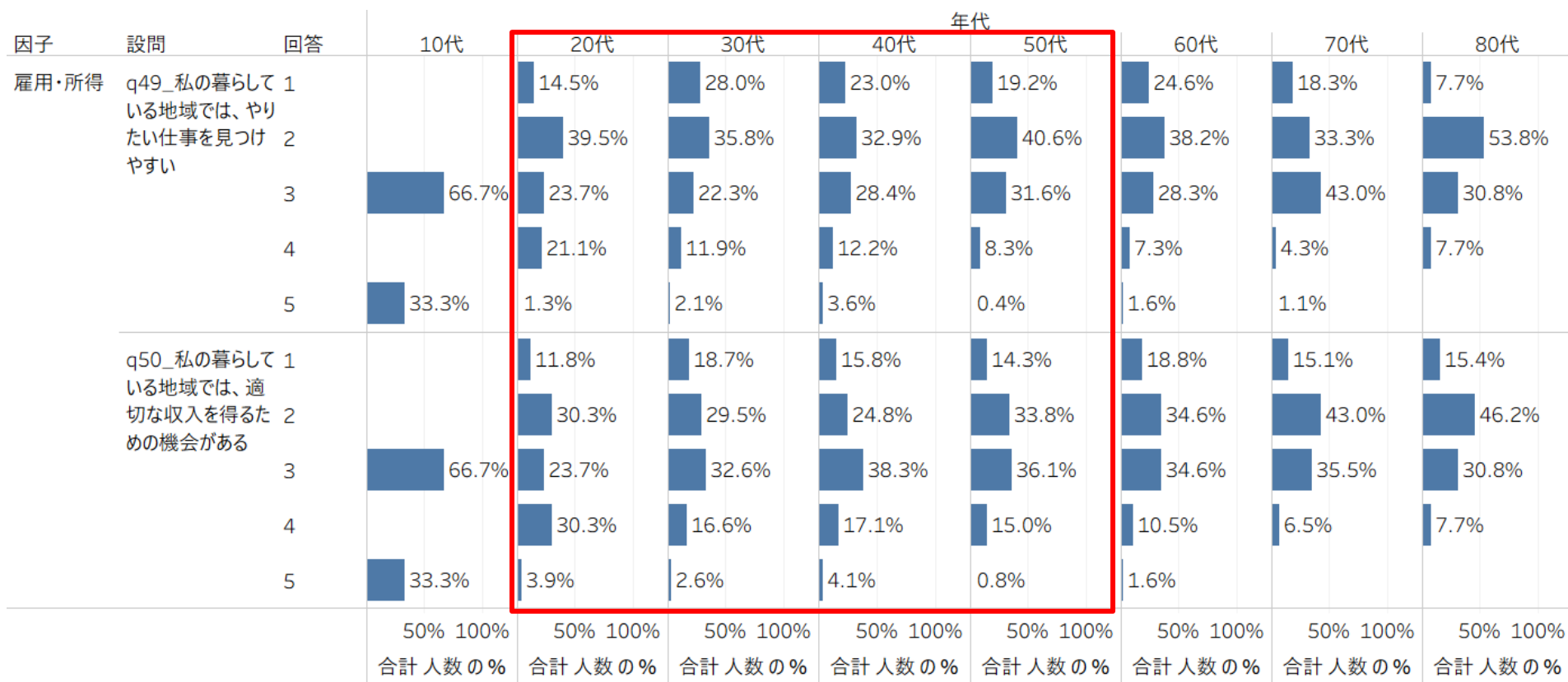


選択肢ごとの回答者

20-50代の働く世代に注目したとき、収入を得るための機会はあるがやりたい仕事が見つけやすいわけではないという傾向にある。また、20-50代であっても40%前後の人が収入を得るための機会があるとい切れない（1,2回答）と感じている。

年代

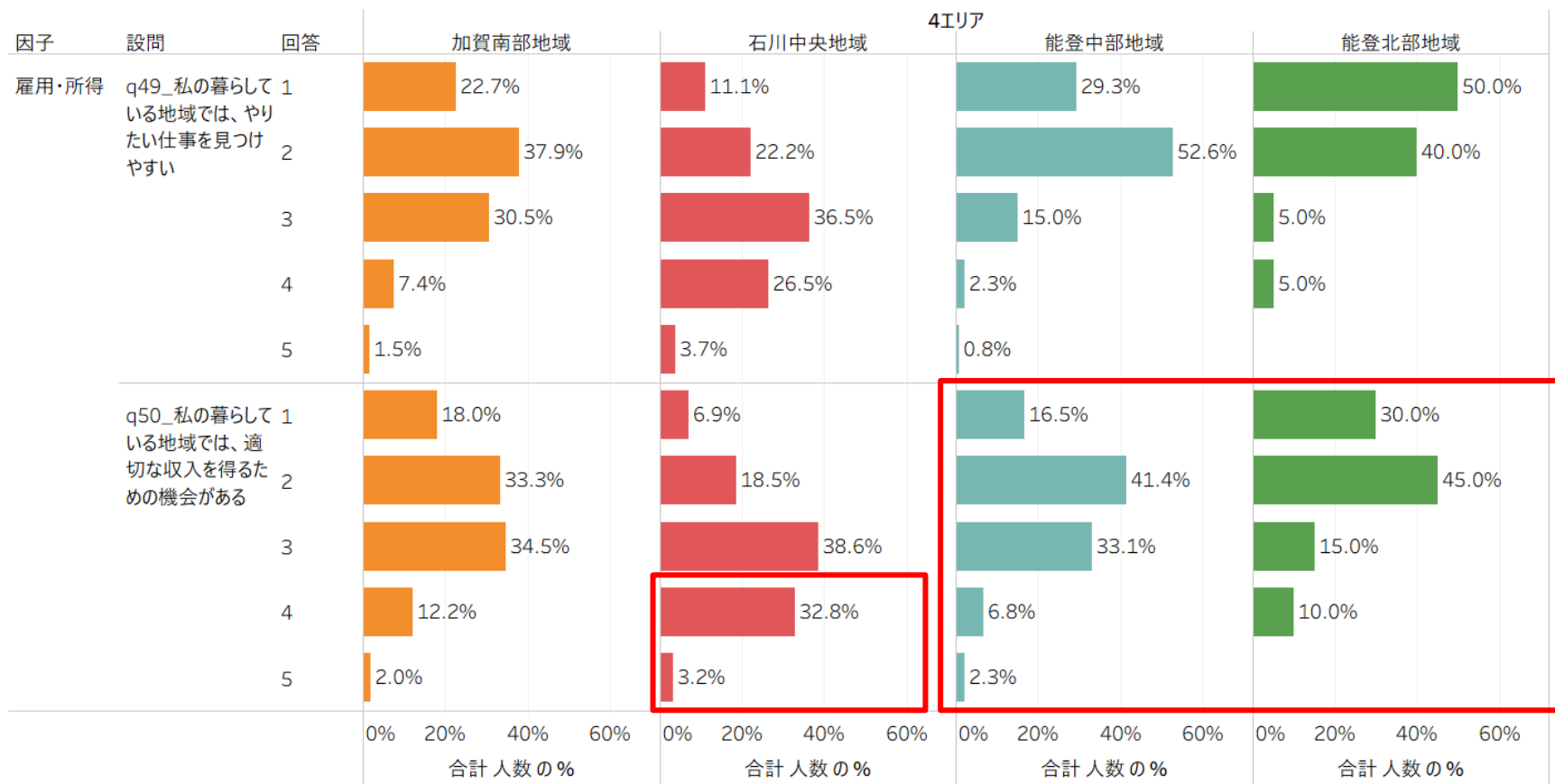
全くあてはまらない=1、あまりあてはまらない=2、
どちらとも言えない=3、ある程度あてはまる=4、非常にあてはまる=5



選択肢ごとの回答者

特に能登中部地域と能登北部地域で点数が低い傾向があり、やりたい仕事以前に適切な収入を得るための機会が少ないと感じている人が50%を超える。逆に石川中央値地域では、収入を得るための適切な機会が少ないと感じる人よりも機会があると感じている人が多く、就労機会の二一ズは能登中部・北部地域の方が高いと考えられる。

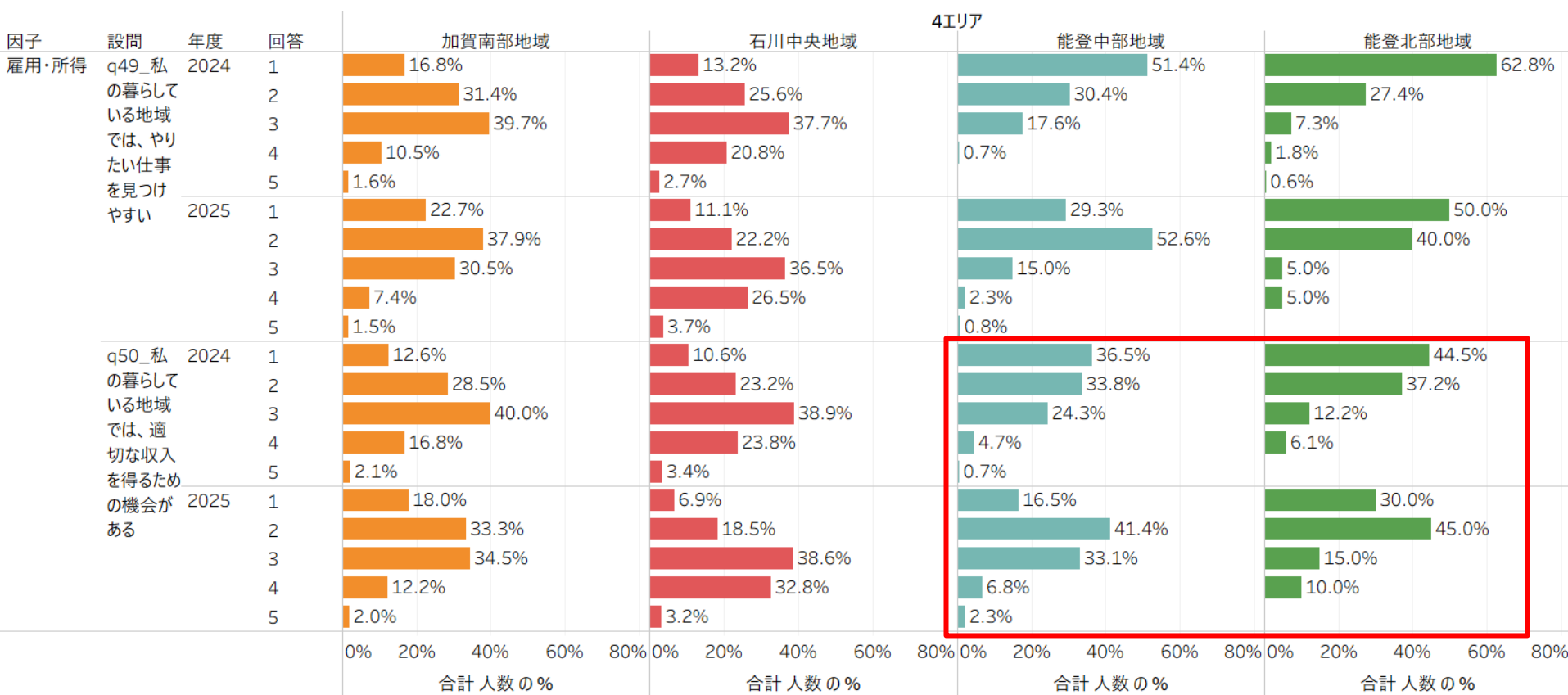
4エリア



選択肢ごとの回答者

2024年度と比較すると能登中部地域、能登北部地域で1,2の回答者割合が逆転しており、収入を得るための適切な機会は少ないものの多少なりとも良い方向に変化があることが伺える。復興状況との関連もあるか。

4エリア 2024年度-2025年度比較



以上